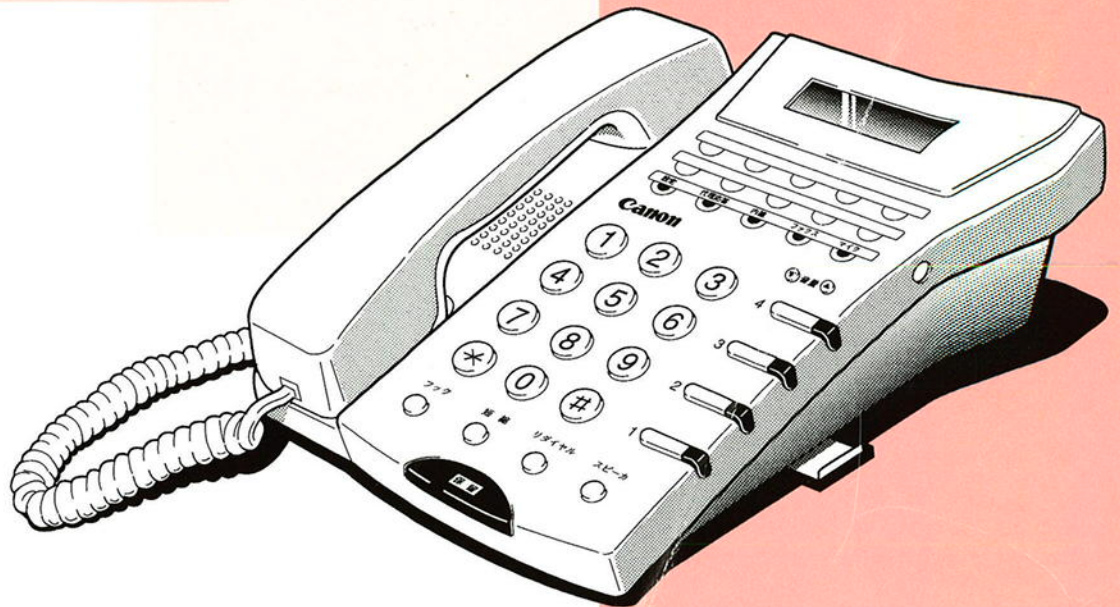
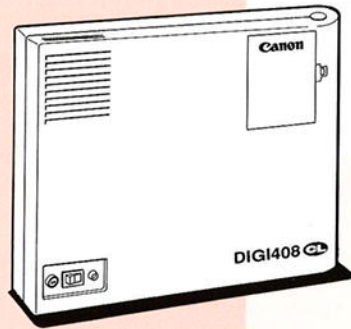


CANON DIGITALPHONE SYSTEM

DIGI 408 CL

使用説明書



お願い

本製品をお使いになる前に、本書を必ずお読みください。
 本文中の注意事項は必ずお守りください。
 この使用説明書は、必要なときにすぐに取り出して読める
 ように、大切に保管しておいてください。

このたびは《キャノン・デジタルホン・システムDIGI 408CL》をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

《キャノン・デジタルホン・システムDIGI 408CL》を正しくご使用いただくために、この使用説明書をよくお読みいただきますようお願い申し上げます。

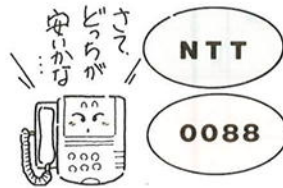
<仕事に強い主な機能>

ワンタッチオートダイヤル
(⇒P.14)



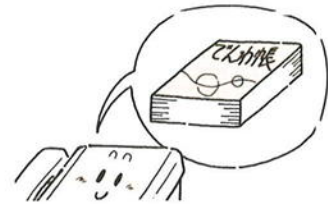
ワンタッチで外線かけられます。

スーパーLCR
(⇒P.60)



NCCを経由して電話をかけられます。

電子電話帳
(⇒P.22)



電話帳メモリカードを使ってかけられます。

メモダイヤル
(⇒P.20)



番号を記憶させてあとでかけられます。

ハンズフリー通話
(⇒P.65)



受話器をとらずに通話できます。

会議通話
(⇒P.66)



三人で同時に通話できます。

オートリピートダイヤル
(⇒P.36)



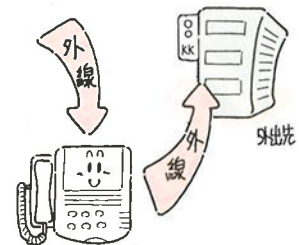
自動的にリダイヤルを繰り返します。

スーパーユーザ
(⇒P.64)



手元の電話機を自分の電話機の設定で使えます。

自動転送電話
(⇒P.104)



外線からの着信をあらかじめ設定した外線に自動的に転送します。

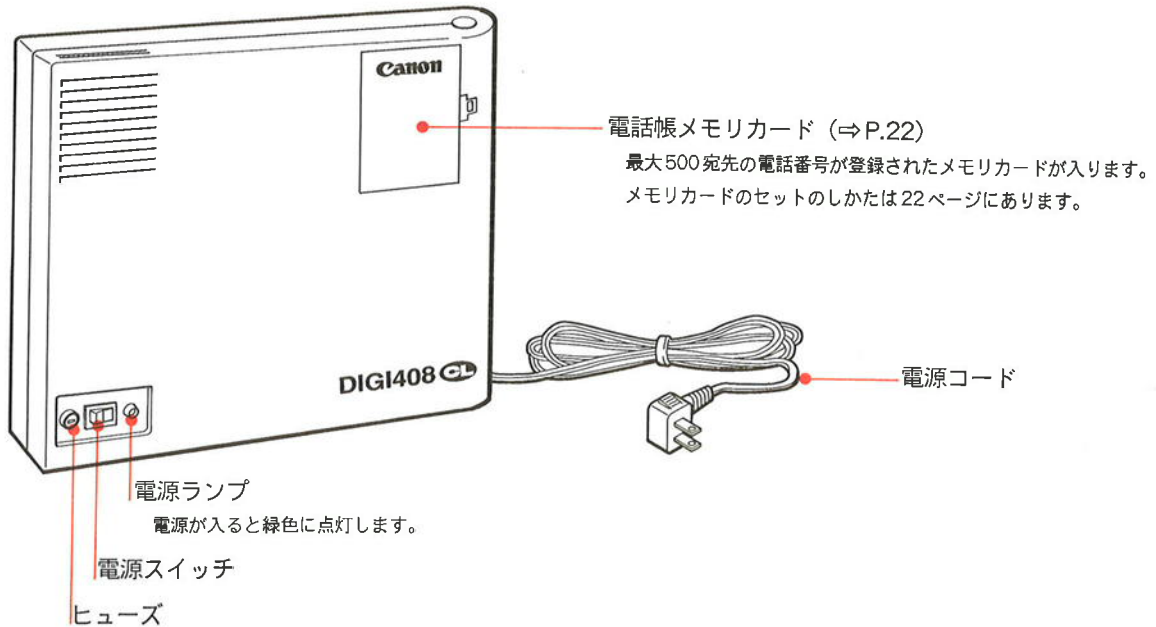
この装置は、第1種情報装置（商工業地域において使用されるべき情報装置）で商工業地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。
従って、住宅地域またはその隣接した地域で使用すると、ラジオ、テレビジョン受信機等に受信障害を与えることがあります。
使用説明書に従って正しい取扱いをしてください。

● ご使用にあたってのお願い

本製品をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります（⇒P.117）。詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

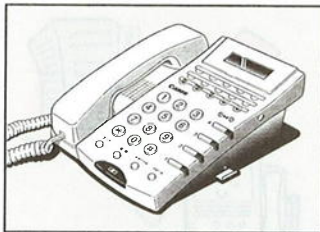
各部の名称とはたらき

主装置



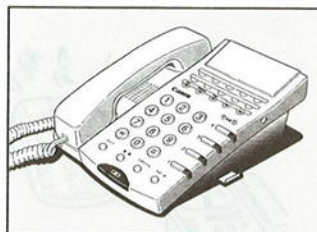
本システムに接続できる電話機の種類

専用電話機
(ディスプレイ付き)



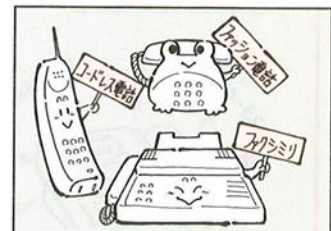
ディスプレイ付き専用電話機には、マスター電話機(システムに1台)や停電用電話機(⇒P.115)があります。また、漢字表示用大型ディスプレイ付きの専用電話機もあります。

専用電話機
(ディスプレイなし)



ディスプレイを使う機能は使用できません。また、高音量ベル(⇒P.70)および **マイク** ボタンは取付けられません。それ以外はディスプレイ付き専用電話機と同じように使用できます。

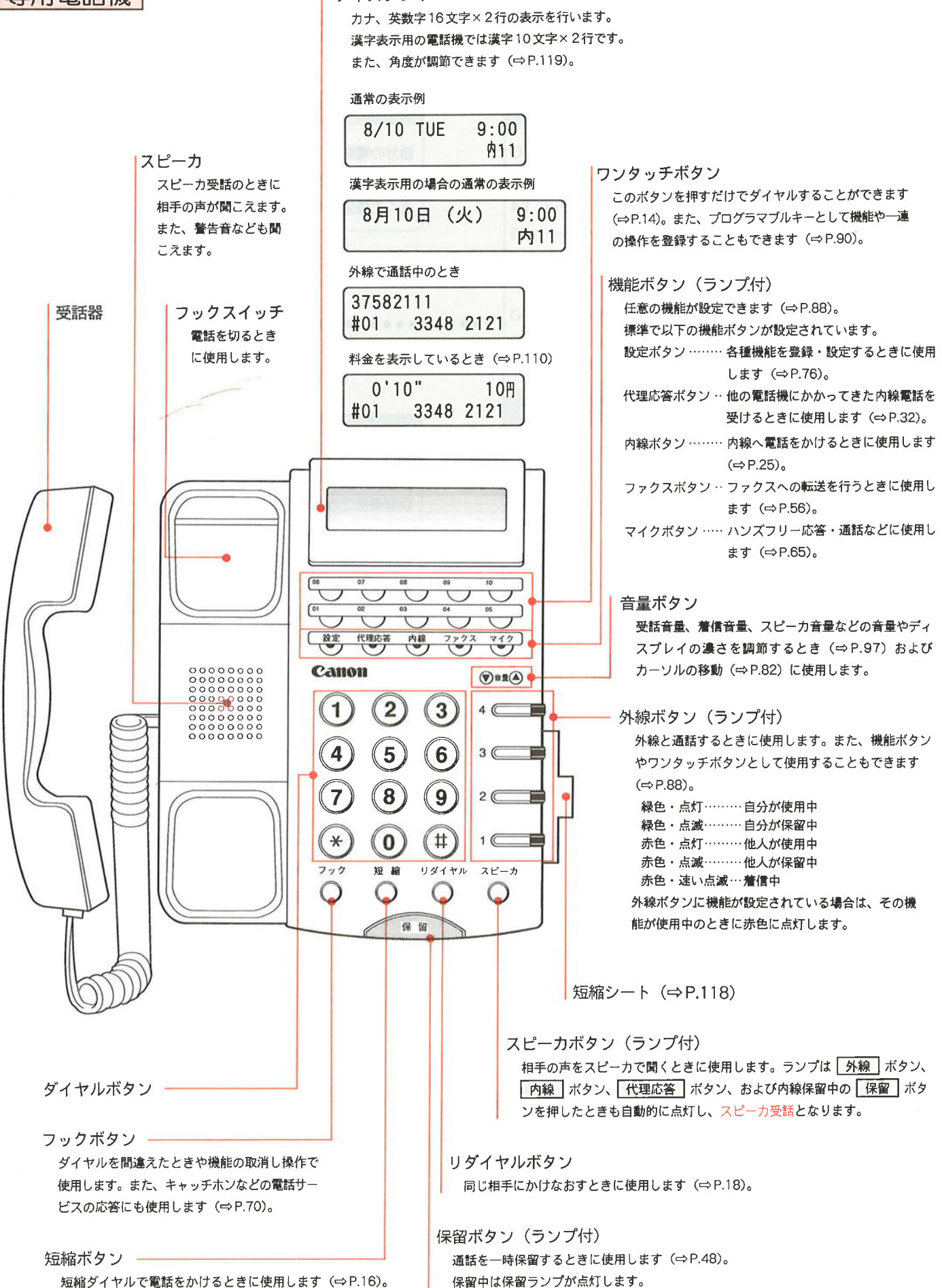
一般の電話機



一般電話機で使える機能は、そのページに ☎ マークで説明しています(⇒P.12)。DP、PB どちらの電話機も使用できます。

この使用説明書は、標準装備のディスプレイ付き専用電話機(⇒次ページ)を中心に説明しています。

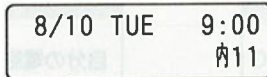
専用電話機



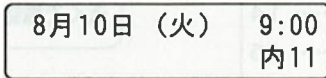
ディスプレイ

カナ、英数字16文字×2行の表示を行います。
漢字表示用の電話機では漢字10文字×2行です。
また、角度が調節できます (⇒P.119)。

通常の表示例



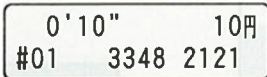
漢字表示用の場合の通常表示例



外線通話中のとき



料金を表示しているとき (⇒P.110)



ワンタッチボタン

このボタンを押すだけでダイヤルすることができます (⇒P.14)。また、プログラマブルキーとして機能や一連の操作を登録することもできます (⇒P.90)。

機能ボタン (ランプ付)

任意の機能が設定できます (⇒P.88)。
標準で以下の機能ボタンが設定されています。
設定ボタン …… 各種機能を登録・設定するときに使用します (⇒P.76)。
代理応答ボタン …… 他の電話機にかかってきた内線電話を受けるときに使用します (⇒P.32)。
内線ボタン …… 内線へ電話をかけるときに使用します (⇒P.25)。
ファクスボタン …… ファクスへの転送を行うときに使用します (⇒P.56)。
マイクボタン …… ハンズフリー応答・通話などに使用します (⇒P.65)。

音量ボタン

受話音量、着信音量、スピーカ音量などの音量やディスプレイの濃さを調節するとき (⇒P.97) およびカーソルの移動 (⇒P.82) に使用します。

外線ボタン (ランプ付)

外線と通話するときに使用します。また、機能ボタンやワンタッチボタンとして使用することもできます (⇒P.88)。
緑色・点灯 …… 自分が使用中
緑色・点滅 …… 自分が保留中
赤色・点灯 …… 他人が使用中
赤色・点滅 …… 他人が保留中
赤色・速い点滅 …… 着信中
外線ボタンに機能が設定されている場合は、その機能が使用中のときに赤色に点灯します。

短縮シート (⇒P.118)

スピーカボタン (ランプ付)

相手の声をスピーカで聞くときに使用します。ランプは **外線** ボタン、**内線** ボタン、**代理応答** ボタン、および内線保留中の **保留** ボタンを押したときも自動的に点灯し、**スピーカ受話** となります。

リダイヤルボタン

同じ相手にかけなおすときに使用します (⇒P.18)。

保留ボタン (ランプ付)

通話を一時保留するときに使用します (⇒P.48)。
保留中は保留ランプが点灯します。

ダイヤルボタン

フックボタン

ダイヤルを間違えたときや機能の取消し操作で使用します。また、キャッチホンなどの電話サービスの応答にも使用します (⇒P.70)。

短縮ボタン

短縮ダイヤルで電話をかけるときに使用します (⇒P.16)。



Part 1 電話をかける、受ける

外線にかける

受話器を置いたままかける (外線発信 1)	10
受話器をとってかける (外線発信 2)	12
ワンタッチでかける (ワンタッチオートダイヤル)	14
短縮でかける (短縮ダイヤル)	16
同じ相手にかけなおす (リダイヤル)	18
通話中に番号を記憶させ、あとでかける (メモダイヤル)	20
電話帳メモリカードを使ってかける (電子電話帳)*	22
* 電子電話帳はオプション機能です。	

内線にかける

受話器を置いたままかける (内線発信 1)	25
受話器をとってかける (内線発信 2)	26
代表番号でかける (内線代表)	27
近くの内線にかけなおす (内線ステップコール)	28
ワンタッチで内線にかける (内線呼出)	29

話し中・応答がない



外線が空いていないので予約する (外線予約)	34
自動的にリダイヤルを繰り返す (オートリピートダイヤル) ..	36
スピーカで呼びかける (内線音声呼出)	37
グループごとに音声で呼びかける (グループ一斉呼出) ...	38
内線が話し中なので予約する (内線予約)	40
通話中の内線を呼出す (話中呼出)	42
電話を待っていることを相手に伝える (メッセージウェイト) ..	44

電話を受ける

自分の電話機が鳴っている (応答)	30
外線ボタンが赤色で速く点滅している (任意外線応答) ...	31
近くで電話が鳴っている (内線代理応答)	32

相手と通話



保留・転送する

通話中の相手を保留する (システム保留)	48
保留番号で外線を保留する (パーク保留)	50
自分の電話機だけで保留する (外線自己保留)	51
近くの内線に声をかけて転送する (簡易転送)	52
離れている内線に転送する (保留転送)	54
通話中の外線を別の外線へ転送する (外線転送)	55
ファクスへ転送する (ファクス転送)	56

不在にする



着信を一時的に拒否する (不在設定)	45
行く先の内線へ転送させる (不在転送)	46

Part 2 LCR 機能

NCCを経由して電話をかける (スーパーLCR)*	60
---------------------------------	----

* スーパーLCRはオプション機能です。

Part3 その他の便利な機能

手元の電話機を自分の電話機の設定で使う（スーパーユーザ）	64
受話器をとらずに応答する（ハンズフリー応答・通話*）	65
3人で同時に通話する（会議通話）	66
口頭で相手の方から通話に参加させる（秘話解除）	67
ドアホンに反応する（ドアホン）*	68
外部スピーカを使って放送する（構内放送）*	69
着信音を高音量で鳴らす（高音量ベル）*	70
トーン信号で各種の電話サービスを受ける（PB信号送出）	70
NTTのキャッチホンサービスに反応する（フッキング送出）	70
ダイヤラを使ってかける（オートダイヤラ発信）	71
ヘッドセットで通話する（ヘッドセット通話）*	72
マスター電話機をさがす（マスターコール）	73
内線番号や特番を変更する（ナンバリングフリー）	73
自分の電話機の内線番号やテナント番号を確認する（自己情報表示）	74

*印はオプション機能です。

Part4 登録と設定

ワンタッチオートダイヤルの登録のしかた	76
短縮ダイヤルの登録のしかた	79
略称の入力	82
メモした電話番号をそのまま登録する（セーブダイヤル）	86
機能ボタンを設定する（フレキシブルキーアサイン）	88
ワンタッチボタンに機能や操作を登録する（プログラマブルキー）	90
外線ボタンの割付けを変更する（外線ボタン割付）	92
日時を合わせず（時計表示）	94
時報やアラームを鳴らす（アラーム）	95
内線の名称を表示する（内線名称表示）	96
音量を調節する（音量調節）	97
ディスプレイの濃さを調節する（LCD表示濃度調節）	97
ボタンを押すと音が鳴る（キーイントーン）	98
発信できない番号を設定する（ダイヤル発信規制）	98
発信できる区域を設定する（サービスクラス）	99
電話機ごとに通話予算を設定する（予算管理発信規制）	100
設定特番一覧	102

Part5 着信方式と料金表示

着信方式の種類	104
着信モードを一時的に切替える（着信モード個別切替）	107
夜間／休日用に着信モードを切替える（夜間／休日切替）	108
曜日、時刻によって全外線の着信モードを自動的に切替える （週間自動着信モード切替）	109
自分の電話機の集計料金を表示する（自己通話料金表示）	110
すべての電話機の集計料金を表示する（料金集計表示）	111
内線ごとの集計料金を表示する（内線別料金集計表示）	111
発信テナントごとの集計料金を表示する（テナント別料金集計表示）	112

Part6 こんなときには

使用上のご注意	114
停電のとき	115
接続のしかた	116
短縮シートの取付けかた	118
ワンタッチシート、ファンクションシートの取外しかた	118
壁かけ用アクセサリの取付けかた	118
電話機の角度を調節する	119
ディスプレイの角度を調節する	119
エラーメッセージ	120
故障かなと思ったら	122

Part7 仕様、その他

主な仕様	124
システム構成図	125
一般電話機で使える機能	126
漢字一覧	127
索引	131

外線発信状態と内線発信状態	8
クイック発信	11
長時間通話警報	11
フラッシュ機能	21
内線ダイレクトコール	28
話中着信	30
内線グループ（着信テナント）	33
発信テナント	33
長時間保留警報	48
保留メロディ選択	49
ファクス通信終了通報	57
カーソルの表示について	82
通話料金表示	110

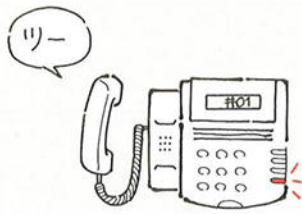
あなたの電話機はどのタイプ？

電話機には外線用と内線用の2つのタイプがあります。受話器をとって電話をかける場合は、タイプによって電話のかけかたが異なりますので、まず、自分の電話機がどちらのタイプか受話器をとって確かめてください。2つのタイプは受話器をとったときの音や表示で見分けることができます。

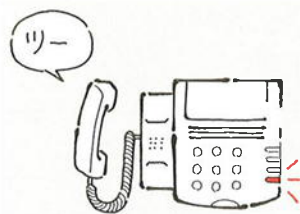
外線用の電話機

外線用の電話機とは、受話器をとったとき外線につながるように設定されている電話機です。

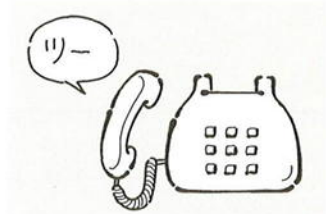
専用電話機
(ディスプレイ付き)



専用電話機
(ディスプレイなし)



一般の電話機



受話器をとると「ツー」という音が聞こえ、**外線** ボタンのランプが緑色に点灯します。また、ディスプレイ付きの場合は **外線** ボタンの番号や外線番号が表示されます。

「ツー」という音が聞こえます。

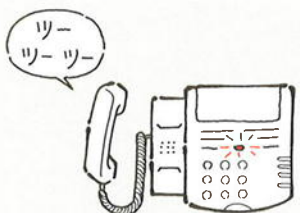
内線用の電話機

内線用の電話機とは、受話器をとったとき内線につながるように設定されている電話機です。

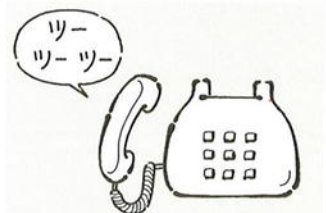
専用電話機
(ディスプレイ付き)



専用電話機
(ディスプレイなし)



一般の電話機



受話器をとると「ツーツーツー」という音が聞こえ、**内線** ボタンのランプが点灯します。また、ディスプレイ付きの場合は「内」が表示されます。

「ツーツーツー」という音が聞こえます。

外線発信状態と内線発信状態

- 受話器をとったとき「ツー」という音は外線にかけられる状態（外線発信状態）、「ツーツーツー」という音は内線にかけられる状態（内線発信状態）であることを意味します。
- 外線発信状態から内線にかけられる場合は **内線** ボタンを押して「ツー」から「ツーツーツー」にします。内線発信状態から外線にかけられる場合は0発信（⇒P.13）、またはランプが消えている **外線** ボタンを押して「ツーツーツー」から「ツー」にします。
- ☎ 一般の電話機でも、内線用に設定されている場合は0発信で外線にかけられます。また、外線用に設定されている場合はフッキング（⇒P.49）すると内線発信状態となり、内線にかけられます。

注意

- システムがPBXに接続されている場合は、受話器をとったときの音は異なります。工事保守店におたずねください。

PART 1

電話をかける、受ける

ここでは、電話機としての最も基本的な機能、すなわち

- 外線にかける
- 内線にかける
- 電話を受ける
- 話し中・応答がない
- 不在にする
- 保留・転送する

などについて説明します。

なお、外線用の電話機と内線用の電話機では操作が異なりますので、「あなたの電話機はどのタイプ？」(⇒P.8)を読んで、ご自分の電話機がどのタイプかを確認してください。

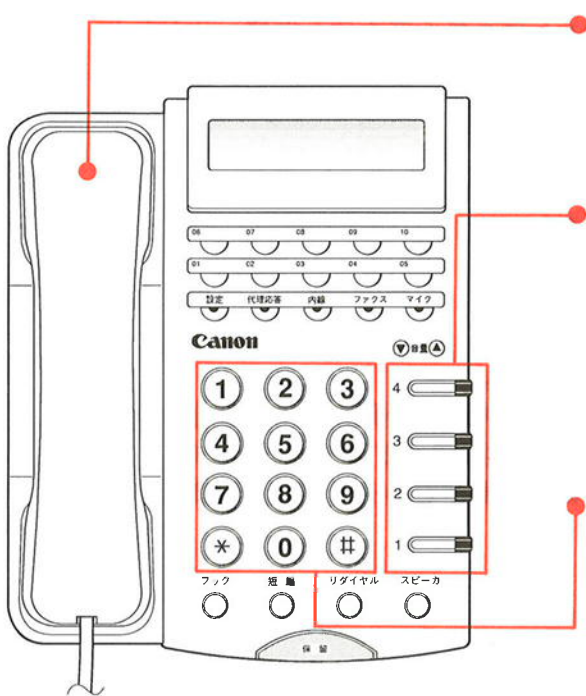


受話器を置いたままかける

外線発信 1



受話器を置いたまま外線にかけられます。



1 受話器を置いたまま

8/10 TUE 9:00
内11

2 ランプが消えている ボタンを押す

外線

#01 3348 2121

- 外線ランプ: 緑色に点灯
- スピーカランプ: 点灯

外線ボタン番号を示します。
外線1の電話番号を示します。

3 相手の番号をダイヤルする

3758-2111をダイヤルしたときの例

37582111
#01 3348 2121

間違えてダイヤルしたときは、**フック** ボタンを押してダイヤルしなおしてください。

■ 相手が出たら、受話器をとってお話してください



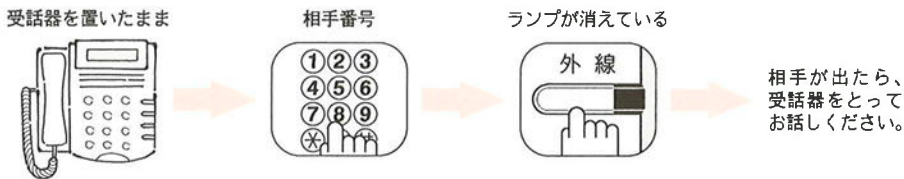
NOTE

- 相手が話し中または応答がないなどで電話を切りたいときは、**スピーカ** ボタンを押してください。また、外線用の電話機(⇒P.8)の場合はステップ2で**外線** ボタンの代わりに**スピーカ** ボタンを押すと自動的に空いている外線を選んでくれます。
- クイック発信(⇒次ページ)が設定されている場合、ステップ2で**外線** ボタンの代わりにダイヤルボタンの**0**を押すと、電話機が空いている外線を選んでくれます。
- あらかじめデータ設定をしておくことにより、自動的にNCC回線を使用して電話をかけることができます。また、オプションのLCRボードを搭載することにより、最も通話料金の安いNCC回線を自動的に選択して発信できます(⇒P.60)。詳しくは工事保守店にご相談ください。

ダイヤルした番号を確認してから発信する（プリセット発信）

データ設定

プリセット発信は「外線」ボタンを押す前に番号をダイヤルします。データ設定が必要ですので工事保守店にご相談ください。この機能を設定すると、システム内のすべての電話機がプリセット発信になります。



注意

- 16桁以内の電話番号を入力してください。
- ダイヤルしてから10秒以内に「外線」ボタンを押さないとダイヤルはキャンセルされます。



NOTE

- 「外線」ボタンの代わりに「スピーカ」ボタンを押すと自動的に空いている外線を選んでくれます。
- 相手番号は「リダイヤル」ボタン（⇒P.18）、「メモダイヤル」ボタン（⇒P.20）でダイヤルすることもできます。
- プリセット発信が設定されていても、「外線」ボタンを押してからダイヤルする、または受話器をとってダイヤルすることもできます。

クイック発信

データ設定



クイック発信とは、受話器を置いたまま「リダイヤル」（⇒P.19）、「メモダイヤル」（⇒P.21）、「ワンタッチ」（⇒P.15）ボタンを押すだけで発信できる、または0発信（⇒P.13）できる機能です。ただし、データ設定が必要ですので工事保守店にご相談ください。

長時間通話警報

データ設定

外線と通話を初めてから2分30秒後にスピーカから警告音が鳴り、その後3分間隔で鳴ります。長電話を防ぎ、通信費の節約ができます。警告音を出すようにするには、データ設定が必要ですので工事保守店にご相談ください。

○発信で外線にかける

内線用の電話機からは○発信で外線にかけます。ダイヤルボタンの **○** を押すと自動的に空いている外線を選びます。



- クイック発信 (⇒P.11) が設定されているときは、受話器を置いたまま○発信で外線にかけられます。
- ☎ 一般の電話機が内線用に設定されている場合は、この○発信で外線にかけられます。

外線ボタンを押してかける

内線用の電話機の場合、**外線** ボタンを押してからダイヤルすることもできます。

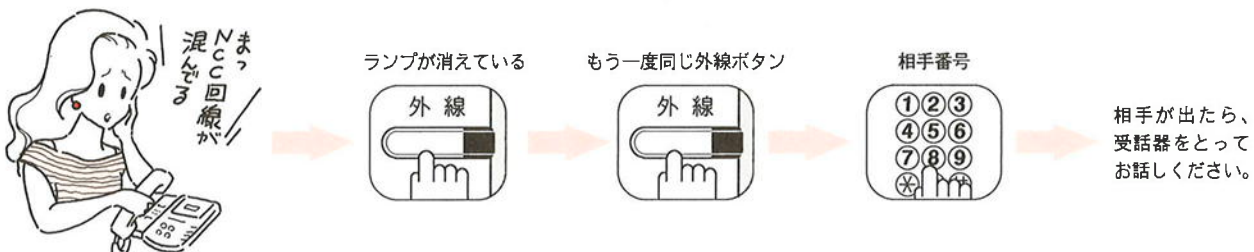


- ☎ 一般の電話機が内線用に設定されている場合は、以下のようにすれば **外線** ボタンを指定して外線にかけられます (**指定外線捕捉**)。



NCC回線が混んでいるときは

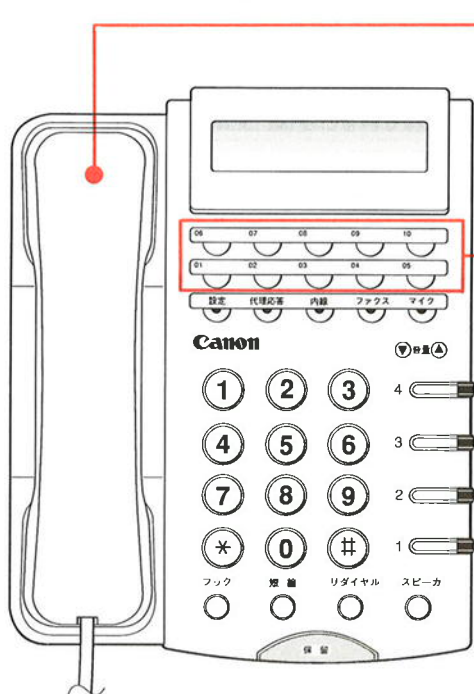
NCC回線でかけたときに回線が混んでいてかからないときは、NTT回線に切替えて電話をかけることができます。



ワンタッチでかける ワンタッチオートダイヤル



頻繁にかける電話番号はワンタッチボタンに登録しておけば、このボタンを押すだけでダイヤルできます。登録のしかたは76ページをご覧ください。



1 受話器をとる



発信音が「ツーツー」のときは、内線用の電話機です(⇒P.8)。次ページの『内線用の電話機からワンタッチでかける』をご覧ください。

#01 3348 2121

● 外線ランプ：緑色に点灯

2 ワンタッチボタンを押す

3758-2111 が設定されているときの例

37582111
#01 3348 2121

■ 相手が出たら、お話しください

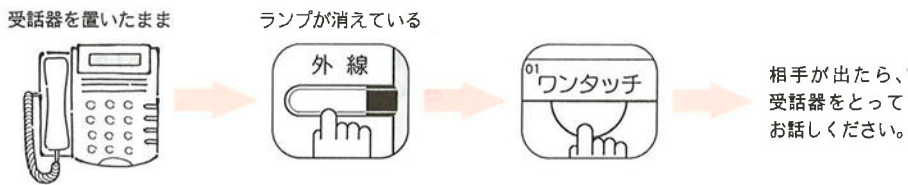


- すべての **外線** ボタンが点灯しているときは、いずれかのランプが消えるまで待つか、外線を予約(⇒P.34)することもできます。

内線用の電話機からワンタッチでかける



受話器を置いたままワンタッチでかける



- 外線用の電話機の場合は **外線** ボタンの代わりに **スピーカ** ボタンを押すと自動的に空いている外線を選んでくれます。

クイック発信が設定されているときは

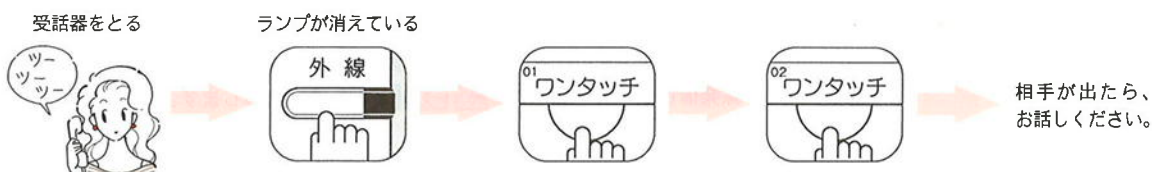
クイック発信 (⇒P.11) は、データ設定が必要ですので工事保守店にご相談ください。

データ設定



複数のワンタッチボタンを使ってかける

17桁以上の長い電話番号を複数の **ワンタッチ** ボタンに分けて使う、または国際電話の国別番号や市外局番号だけの **ワンタッチ** ボタンを作って組み合わせて使うと便利です。

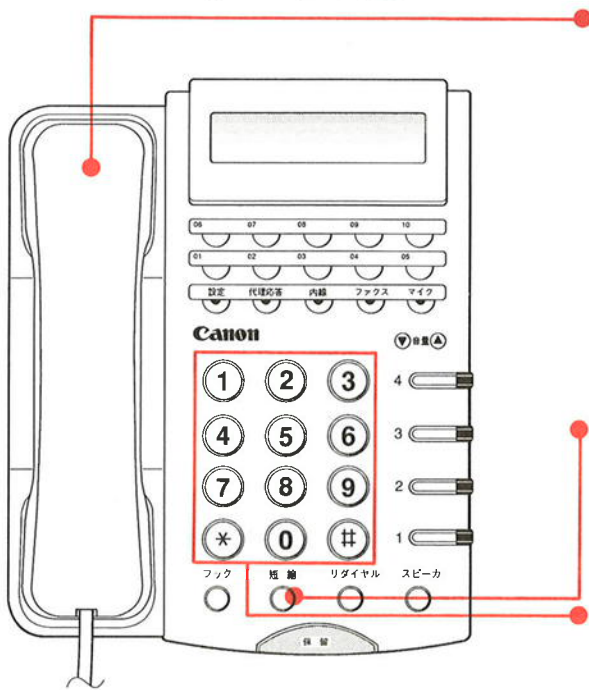


短縮でかける

短縮ダイヤル



短縮番号は00~99の2桁の番号です。00~89は、すべての電話機で共通して使えるシステム短縮ダイヤルです。90~99は電話機ごとに登録して使える電話機別短縮ダイヤルです。登録のしかたは79ページをご覧ください。



1 受話器をとる



発信音が「ツーツーツー」のときは、内線用の電話機です (⇒P.8)。次ページの『内線用の電話機から短縮ダイヤルでかける』をご覧ください。

#01 3348 2121

● 外線ランプ：緑色に点灯

2 短縮 ボタンを押す

タンシユク
#01 3348 2121

3 短縮番号をダイヤルする

短縮番号15 (3758 - 2111) をダイヤルしたときの例

タンシユク 15
#01 3348 2121



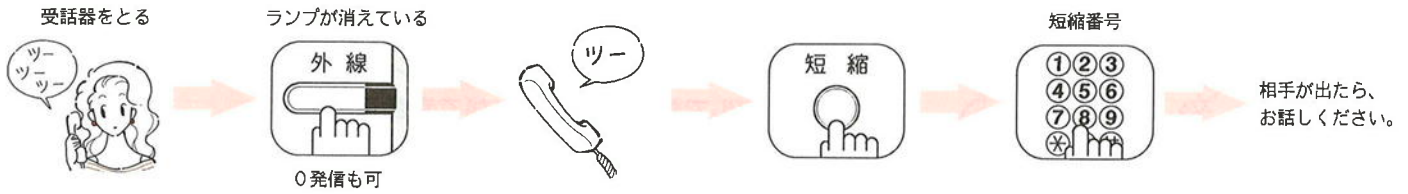
37582111
#01 3348 2121

■ 相手が出たら、お話しください

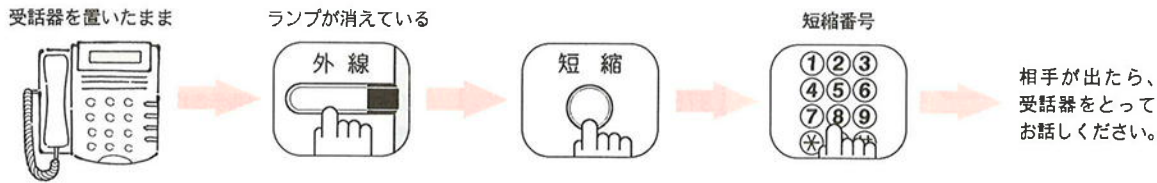


- 受話器を置いたまま **短縮** ボタンを押すと短縮検索発信 (⇒次ページ) ができます。
- ☎ PB信号が発信できる一般の電話機の場合、システム短縮ダイヤル (00~89) を使って電話をかけることができます。例えば、短縮番号15を使うときは、外線発信状態 (⇒P.8) で **※** **1** **5** とダイヤルします。

内線用の電話機から短縮ダイヤルでかける



受話器を置いたまま短縮ダイヤルでかける

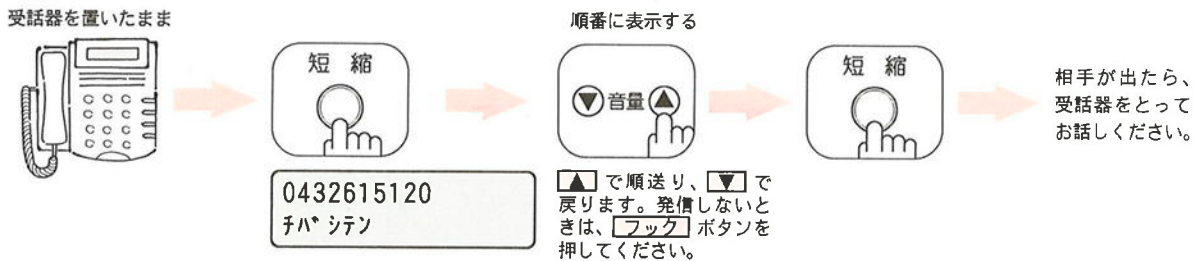


NOTE

- 外線用の電話機の場合は「外線」ボタンの代わりに「スピーカ」ボタンを押すと自動的に空いている外線を選んでくれます。

短縮番号を順番に表示してかける（短縮検索発信）

電話機ごとに、使用した短縮番号から頻度の高いものの順に20個まで記憶します。表示する順番は、記憶した20個のうち最近に使用した順番です。その後に登録済みの電話機別短縮番号（90～99）に続いてシステム短縮番号（00～89）を表示します。



注意

- 目的の短縮番号を表示させてから10秒以内に「短縮」ボタンを押さないとダイヤルはキャンセルされます。



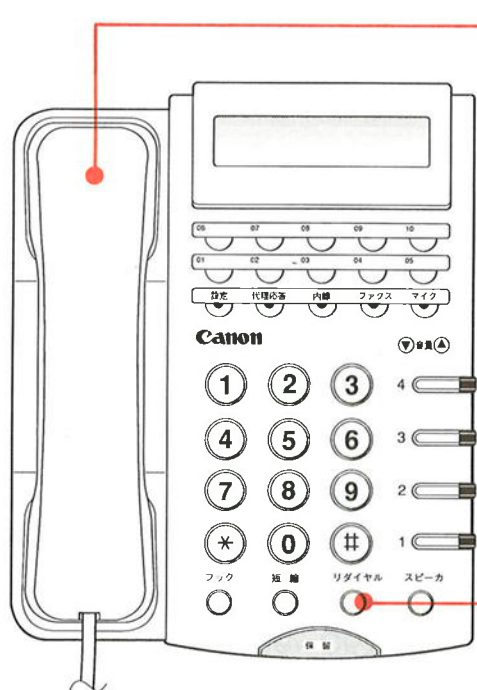
NOTE

- 電話番号を表示中に短縮番号を入力すると、その内容を表示します。また、表示中に着信があった場合は、赤色で点滅している「外線」ボタンを押すと応答できます。

同じ相手にかけなおす リダイヤル



最後にダイヤルした外線番号は自動的に記憶されます。ワンタッチオートダイヤル、短縮ダイヤルでかけた電話番号もリダイヤルでかけなおすことができます。



1 受話器を置いたまま

2 リダイヤル ボタンを押す

37582111
リダイヤル

リダイヤルする番号が表示されますので番号が確認できます。

注意

- 番号を表示しているときに着信音が鳴った場合は、フック ボタンを押してから受話器をとると応答できます。

3 もう一度 リダイヤル ボタンを押す

37582111
#01 3348 2121

● 外線ランプ：点灯
リダイヤル ボタンの代わりにランプの消えている 外線 ボタンを押すこともできます。

注意

- 番号を表示してから10秒以内に リダイヤル ボタンを押してください。

■ 相手が出たら、
受話器をとってお話してください



NOTE

- リダイヤルに記憶される電話番号は16桁までです。
- クイック発信 (⇒P.11) が設定されているときは、受話器を置いたまま リダイヤル ボタンを押すだけで発信できます。
- 外線用の電話機 (⇒P.8) の場合は、受話器をとって リダイヤル ボタンを押すだけで発信できます。



リダイヤルの番号を消去する

受話器を置いたまま



通話中に番号を記憶させ、あとでかける

メモダイヤル

キーアサイン



電話を切ったあと、**メモダイヤル** ボタンを押すだけで通話中に記憶させた番号の相手にかけられます。あらかじめ機能ボタンに **メモダイヤル** ボタンを設定してください(⇒P.88)。

1 外線と通話中に

2 **メモダイヤル** ボタンを押す

メモダイヤル トウク

● メモダイヤルランプ: 点灯

3 記憶させる電話番号を入力する

3758-2111 を記憶させたときの例

37582111
メモダイヤル トウク

間違えて入力したときは、再度 **メモダイヤル** ボタンを押してから入力しなおしてください。

4 通話が終わったら受話器を置く

8/10 TUE 10:00
内11

5 ランプが消えている **外線** ボタンを押す

#01 3348 2121

● 外線ランプ: 緑色に点灯
● スピーカランプ: 点灯

6 **メモダイヤル** ボタンを押す

37582111
#01 3348 2121

■ 相手が出たら、
受話器をとってお話してください





- **フラッシュ** ボタンがある場合は、ステップ4で受話器を置かずに **フラッシュ** ボタンを押し、続けて **メモダイヤル** ボタンを押すと待たずにメモダイヤルできます。
- クイック発信 (⇒P.11) が設定されている場合は、ステップ5は省略できます。
- 記憶できるのは外線の電話番号だけで、16桁までの番号です。消去するまで記憶されます。
- メモダイヤルで記憶した番号をそのままワンタッチオートダイヤルや短縮ダイヤルに登録することができます (セーブダイヤル (⇒P.86))。

メモした電話番号を表示し、確認してから発信する

受話器を置いたまま



記憶されている電話番号が表示されます。表示は10秒間で自動的に消えます。

ランプが消えている



相手が出たら、受話器をとってお話しください。

メモした電話番号を消去するには

受話器を置いたまま



○ メモダイヤルランプ：消灯

フラッシュ機能

キーサイン



フラッシュとは、電話を切る操作が省略できる機能です。

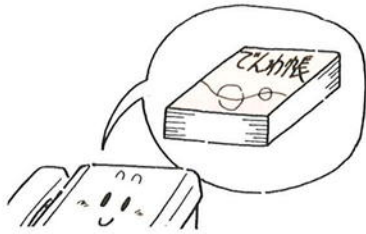
- (1) 電話番号を間違えて入力したときは **フック** ボタンを押せば、電話を切ることなく入力なおすことができます。
- (2) 外線を切ると同時にそのまま同じ外線を捕捉して発信できます。外線との通話が終り、すぐに外線にかけるときは、受話器を置かずに **フラッシュ** ボタンを押せば、そのまま外線に発信できる状態になります。電話を切ったり、外線が空くの待つ必要ありません。ただし、あらかじめ機能ボタンに **フラッシュ** ボタンを設定 (⇒P.88) する必要があります。

電話帳メモリカードを使ってかける

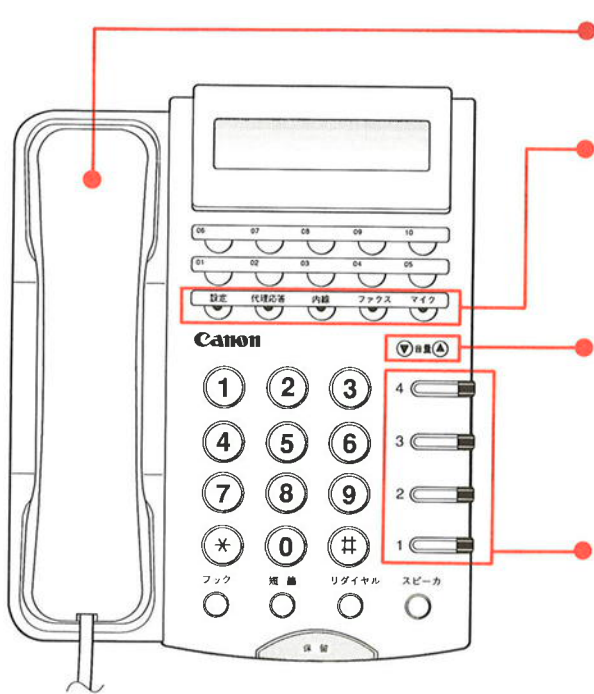
電子電話帳

オプション

キーサイン



電話番号が記憶されたオプションの電話帳メモリカードを主装置にセットすることにより、記憶された電話番号を検索、表示し、発信することができます。メモリカードには最大500宛先の電話番号が登録できます。登録のしかたは24ページをご覧ください。あらかじめ機能ボタンに「電話帳」ボタンを設定してください(⇒P.88)。



1 受話器を置いたまま

2 「電話帳」 ボタンを押す

011-728-0615
サッホ°ロシテン

電話番号が表示されます。使用頻度の高い電話番号ほど早く表示します。

3 ▼/▲ ボタンで電話番号を探す

▲ で順送り、▼ で戻ります。発信しないときは、「フック」ボタンを押してください。

4 発信するときはランプの消えている「外線」ボタンを押す

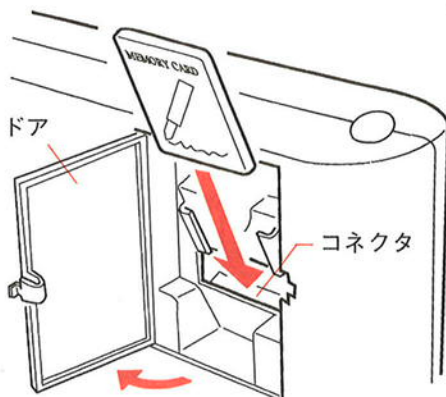
0117280615
#01 3348 2121

注意

- 目的の番号を表示させてから10秒以内に、ランプの消えている「外線」ボタンを押してください。

■ 相手が出たら、受話器をとってお話してください

NOTE



- ステップ4で、「外線」ボタンの代わりに「スピーカ」ボタンを押して発信することもできます。
- 電話番号を表示中に着信音が鳴ったときは、赤色に点滅している「外線」ボタンを押すと応答できます。
- 外線と通話中のときでも「電話帳」ボタンを押して検索することができます。
- 電話帳メモリカードのセットのしかたは、左図のように主装置右上のドアを開け、電話帳メモリカードをコネクタに差込みます。

注意

- 電話帳メモリカードを抜き差しするときは、必ず主装置の電源を「OFF」にしてください。「ON」のままでは誤動作の原因となります。

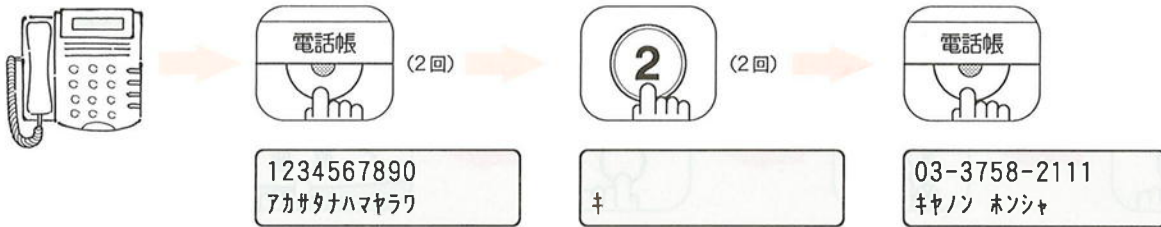
略称の読みから電話番号をさがして発信する



電話番号とともに記憶されている略称の読みから目的の電話番号を表示させ、ダイヤルすることができます。メモ리카ードに登録されている電話番号だけでなく、略称が入力されていればワンタッチオートダイヤルや短縮ダイヤルなども表示されます。以下は、略称が「キヤノン」と登録されている電話番号をさがす操作例です。

受話器を置いたまま

「キ」を表示させる



目的の番号をさがす

ランプが消えている

相手が出たら、受話器をとってお話しください。



- 途中でやめたいときや発信しないときは **フック** ボタンを押してください。
- 略称が英数字のときは **電話帳** ボタンを2回押したあと、**スピーカ** ボタンを押してください。**スピーカ** ボタンが点灯時は英数字、消灯時はカナでの検索となります。

スピーカ ボタン消灯時はカナ文字

スピーカ ボタン点灯時は英数字

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
①	ア	ァ	イ	ィ	ウ	ゥ	エ	ェ	オ	ォ		
②	カ	カ	キ	キ	ク	ク	ケ	ケ	コ			
③	サ	サ	シ	シ	ス	ス	セ	セ	ソ			
④	タ	タ	チ	チ	ツ	ツ	ッ	ッ	テ	ト		
⑤	ナ	ナ	ニ	ニ	ヌ	ヌ	ネ	ネ	ノ			
⑥	ハ	ハ	ヒ	ヒ	フ	フ	ヘ	ヘ	ホ			
⑦	マ	マ	ミ	ミ	ム	ム	メ	メ	モ			
⑧	ヤ	ヤ	ァ	ァ	ユ	ユ	ヨ	ヨ	ョ			
⑨	ラ	ラ	リ	リ	ル	ル	レ	レ	ロ			
⑩	ワ	ワ	ヲ	ヲ	ン							
ⓧ	”	°	()	+	-	=	/	¥	\$	%	&
ⓧ	空白	-	.	,	·	'	:	<	>	?	!	

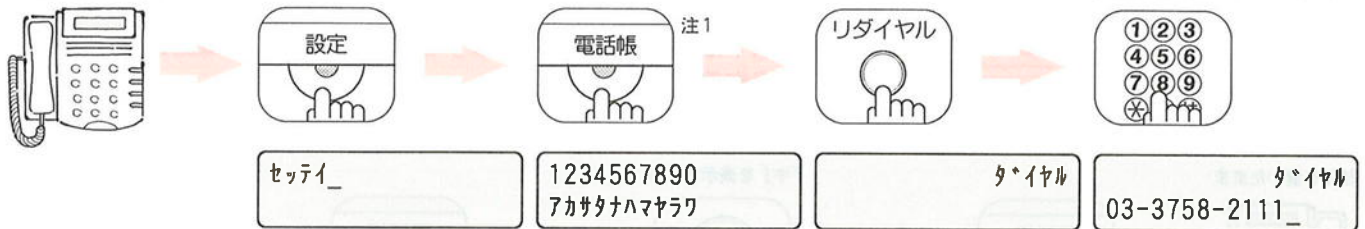
ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数						
	1	2	3	4	5	6	7
①	1	A	B	a	b		
②	2	C	D	c	d		
③	3	E	F	e	f		
④	4	G	H	g	h		
⑤	5	I	J	i	j		
⑥	6	K	L	k	l		
⑦	7	M	N	m	n		
⑧	8	O	P	o	p		
⑨	9	Q	R	q	r		
⑩	0	S	T	s	t		
ⓧ	*	U	V	W	u	v	w
ⓧ	#	X	Y	Z	x	y	z

電話帳メモリカードに電話番号を登録する

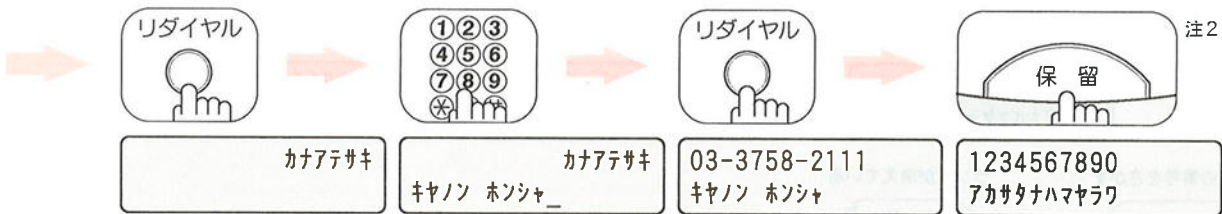
「03-3758-2111 キヤノン ホンシャ」と登録する例です。略称は略称入力(⇒P.82)の方法で入力してください。

受話器を置いたまま

登録する電話番号を入力する



略称を入力する



注1：ここで、略称の読みによる電話番号の検索ができます。方法は前ページと同じです。ただし、英数字とカナの切替えは「スピーカ」ボタンで行います。また、検索した番号や略称を変更することができます。変更したい部分まで「▼/▲」ボタンでカーソルを移動し、文字を入れなおします。

注2：このあと「リダイヤル」ボタンを押すと続けて電話番号が登録できます。

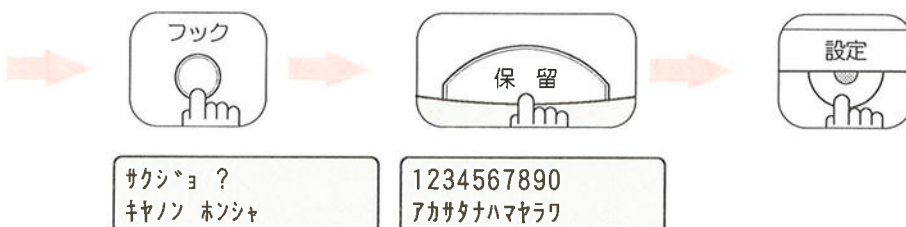
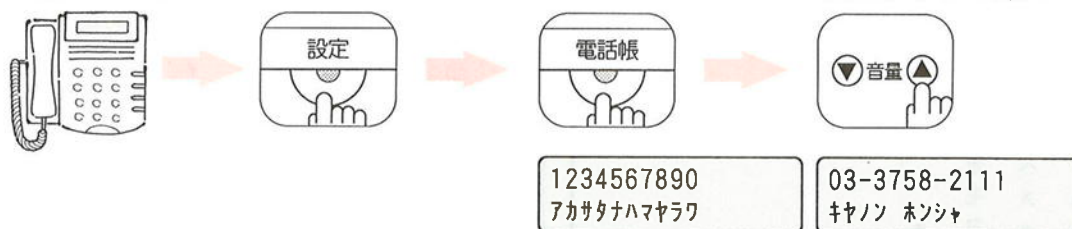


- 漢字表示機能がついた専用電話機では、略称に10桁までの漢字を入力することができます。漢字の入力のしかたは84ページをご覧ください。
- 操作を途中で中止したいときは「設定」ボタンを押してください。「保留」ボタンを押す前であればいつでも中止できます。
- 登録中は着信に 응답できません。中止すると応答できます。

電話帳メモリカードから電話番号を削除する

受話器を置いたまま

削除する電話番号を検索する



受話器を置いたままかける

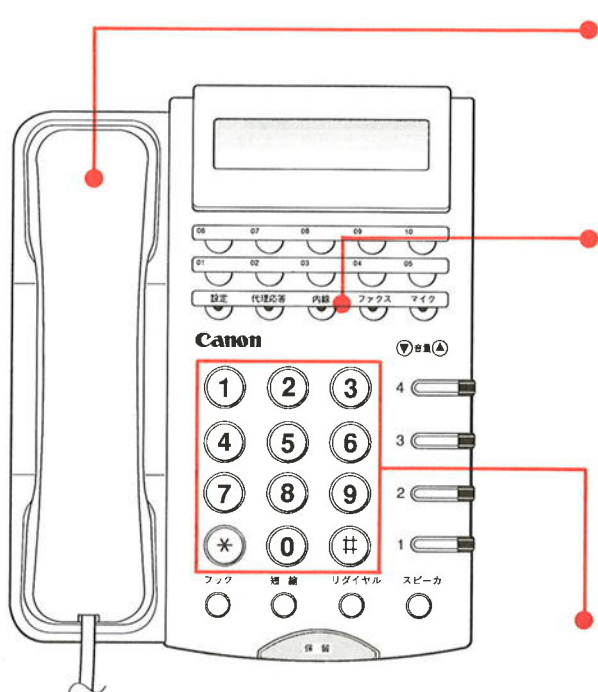
内線発信 1

Part 1

電話をかける、受ける

内線にかける

受話器を置いたまま内線にかけられます。



1 受話器を置いたまま

8/10 TUE 9:00
内11

2 内線 ボタンを押す

内

- 内線ランプ: 点灯
- スピーカランプ: 点灯



3 相手の内線番号をダイヤルする

12をダイヤルしたときの例

内12

間違えてダイヤルしたときは、**フック** ボタンを押してダイヤルしなおしてください。

■ 相手が出たら、受話器をとってお話してください



- 相手が話し中または応答がないなどで電話を切るときは **スピーカ** ボタンを押してください。

受話器をとってかける

内線発信 2



受話器をとって内線にかける場合は、「ツーツーツー」という発信音が聞こえる内線発信状態(⇒P.8)でダイヤルする必要があります。

1 受話器をとる

#01 3348 2121



2 内線 ボタンを押す

内線 ボタンのランプが点灯し、「ツーツーツー」という発信音にかわります。

内



3 相手の内線番号をダイヤルする

内12

間違えてダイヤルしたときは、**フック** ボタンを押してダイヤルなおしてください。

■ 相手が出たら、お話しください

内線用に設定されている電話機で内線にかける

電話機が内線用に設定されている場合は、受話器をとるだけで内線に発信できます。また、受話器をとる代わりに **スピーカ** ボタンを押してダイヤルすることもできます。相手が出たら受話器をとってお話しください。



NOTE

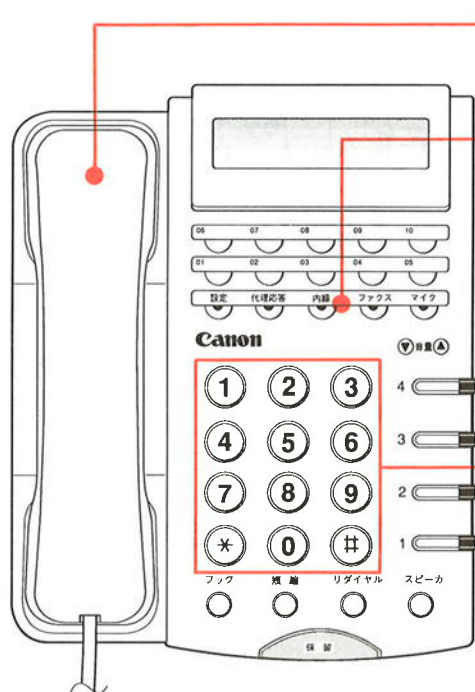
☎ 一般の電話機からでも、内線用に設定されている場合は受話器をとるだけで内線に発信できます。また、外線用に設定されている場合はフッキング(⇒P.49)すれば内線に発信できます。

代表番号でかける

内線代表

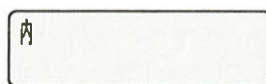


人事課は10番台(10~19)、総務課は20番台(20~29)のように内線を分けておけば、例えば、内線11番が話し中の場合は一度電話を切り **1** ***** を押すと10番台の空いている内線を呼出します。30番台であれば、**3** ***** と押します。



1 受話器を置いたまま

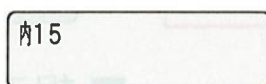
2 **内線** ボタンを押す



- 内線ランプ：点灯
- スピーカランプ：点灯

3 内線番号の頭1桁と ***** を押す

1 ***** を押したときの例



← 空いている内線を表示

間違えてダイヤルしたときは、**フック** ボタンを押してダイヤルしなおしてください。
空いている内線がない場合は、話中音「ツー・ツー・ツー」が聞こえます。しばらく待ってからかけなおしてください。

■ 相手が出たら、
受話器をとって話してください



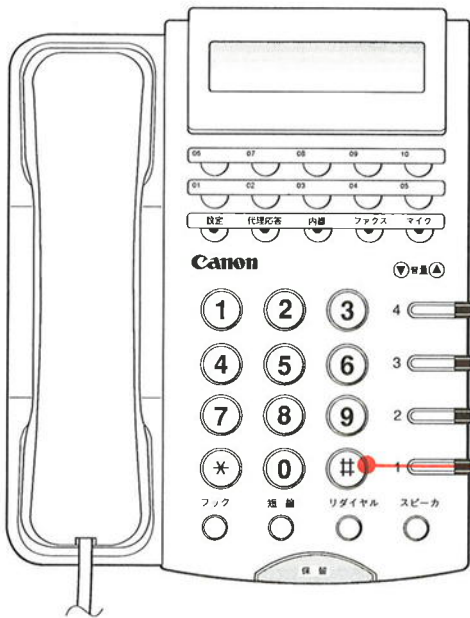
☎ PB信号が発信できる一般の電話機の場合は、受話器をとり、内線発信状態(⇒P.8)でステップ3の操作を行うと空いている内線を呼出すことができます。

近くの内線にかけなおす

内線ステップコール



ダイヤルした内線が話し中またはなかなか出ないときは、**#** ボタンを押すだけでかけなおすことができます。



1 呼出し中または話し中のとき

内12



2 **#** ボタンを押す

内15

← 内線15が空いていたとき

■ 相手が出たら、お話しください



NOTE

- **#** ボタンを押して呼出すことのできる内線は、呼出している、または話し中になっている内線番号の次の番号で空いている内線を呼出します。呼出す電話機は同じ内線グループ (⇒P.33) の電話機に限ります。
- ☎ PB信号が発信できる一般の電話機でも同様の操作で内線ステップコールを行うことができます。

内線ダイレクトコール

データ設定



内線番号をダイヤルしなくても受話器をとるだけであらかじめ決められた内線を呼出することができます。ただし、データ設定が必要ですので工事保守店にご相談ください。



NOTE

- この機能が設定されている電話機で他の内線にかけるときは受話器をとる前に **内線** ボタンを押してください。また、外線にかけるときは受話器をとる前にランプの消えている **外線** ボタンを押してください。
- ☎ この機能が設定されている一般の電話機からは、外線にかけられません。

ワンタッチで内線にかける

内線呼出

キーサイン

Part 1

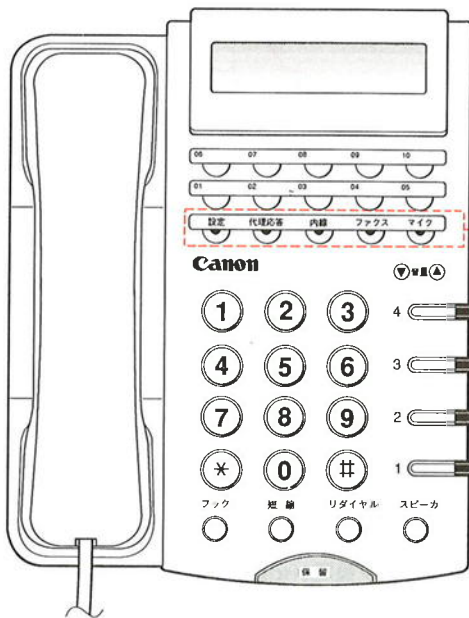
電話をかける、受ける

内線にかける



頻繁にかける内線番号は機能ボタンまたは外線ボタンに登録しておけば(⇒P.88)、ボタンを押すだけで、その内線にかけることができます。また、その内線が通話中のときはボタンのランプが点灯しますので、その内線の使用状態が一目でわかります(内線状態表示)。

例えば、**外線** ボタンの4番に **内線呼出** ボタンを登録したとき



1 登録した **内線呼出** ボタンのランプが消えていることを確認する

2 受話器を置いたまま **内線呼出** ボタンを押す

内線番号10番を登録したときの例

内10

● 内線呼出ランプ: 点灯

■ 相手が出たら、受話器をとってお話してください



● **内線呼出** ボタンのランプが点灯しているときに押すと、登録した内線への話中呼出(⇒P.42)になります。

ワンタッチで通話中の相手を内線に転送する

内線または外線と通話中に **内線呼出** ボタンを押すと、通話中の相手を保留してその内線にワンタッチで転送することができます。

自分の電話機が鳴っている 応答

自分の電話機で着信音が鳴っているときは、外線、内線に関係なく特別な操作は必要ありません。そのまま受話器をとってお話してください。また、着信音の鳴りかたで外線からの電話か内線からの電話かなどがわかります（着信音識別）。



NOTE

- 外線からかかってきた場合は、赤色で速く点滅している **外線** ボタンを押してから受話器をとることで電話を受けられます。
- 外線ごとに、どの電話機で着信音を鳴らすか設定できます（着信鳴動指定）。また、着信音の音色を変えることができます（外線別着信音色）。音色は3種類のうちから選択できます。ただし、データ設定が必要ですので工事保守店にご相談ください。
- 着信音を鳴らさないように設定することもできます。詳しくは工事保守店にご相談ください。
- オプションのLCRボードを搭載している場合、メンテナンスのため日本テレコムから電話がかかってくる場合があります（⇒P.60）。

話中着信

データ設定



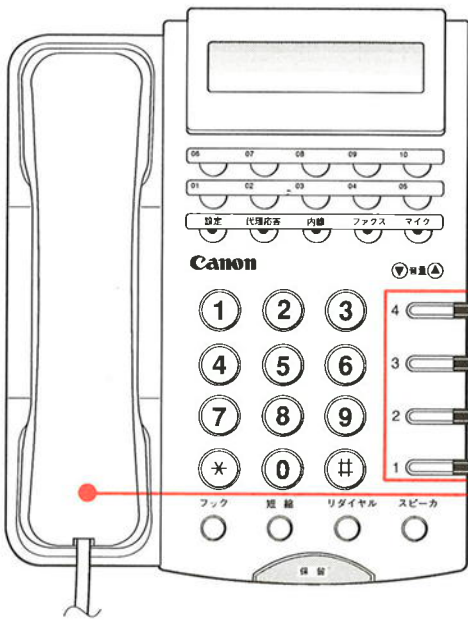
通話中に鳴動指定のある外線から着信があると、スピーカから話中着信音「ピー・ピー」を鳴らします。ただし、データ設定が必要ですので工事保守店にご相談ください。ハンズフリー通話中（⇒P.65）および登録操作中でも話中着信音は鳴ります。

外線ボタンが赤色で速く点滅している

任意外線応答



着信鳴動指定または集中着信が設定されている場合、着信音が鳴る電話機と鳴らない電話機があります。



1 **外線** ボタンのランプが赤色で速く点滅しているとき

2 点滅している **外線** ボタンを押す

#01 3348 2121

ランプが緑色の点灯に変わります。

3 受話器をとる

#01 3348 2121

■ 相手と、お話しください



● 自分の電話機に呼出しが行われているときでも他の電話機への着信に応答することができます。

☎ 一般の電話機で近くの電話にかかってきた外線を受ける場合、次の操作を行ってください。



内線発信状態
(⇒P.8) で



近くの電話機で点滅している
外線ボタンの番号 (1~4)



⇒ 相手とお話しください。

近くで電話が鳴っている

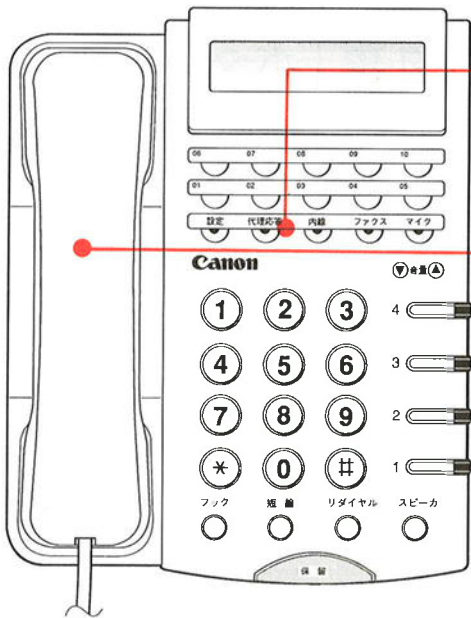
内線代理応答

キーサイン

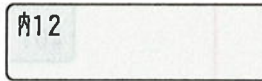


近くの電話機にかかってきた内線からの電話を自分の電話機で応答することができます。代理応答ができるのは、着信音が鳴っている電話機と同じ内線グループ(⇒次ページ)の電話機に限ります。

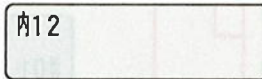
1 近くで内線着信音が鳴っているとき



2 代理応答 ボタンを押す

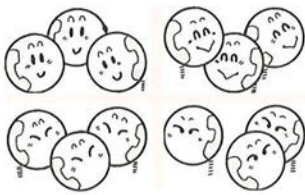


3 受話器をとる



■ 相手と、お話しください

内線グループ（着信テナント）



本システムでは、外線に着信先を4つのグループに分けることができます。ある外線に着信があると、その外線が所属するグループの電話機だけが応答できます。このグループのことを内線グループ（着信テナント）といいます。内線グループはテナント分けを利用した機能です。詳しくは、工事保守店にご相談ください。



- 他の内線グループへの着信は、**外線** ボタンを押しても応答できません。
- 一斉呼出（⇒P.38）のグループとは異なります。

発信テナント

着信テナントとは別に、発信テナントを設定することもできます。発信テナントとは、外線発信のときに使用できる外線によって分けたグループです。詳しくは、工事保守店にご相談ください。

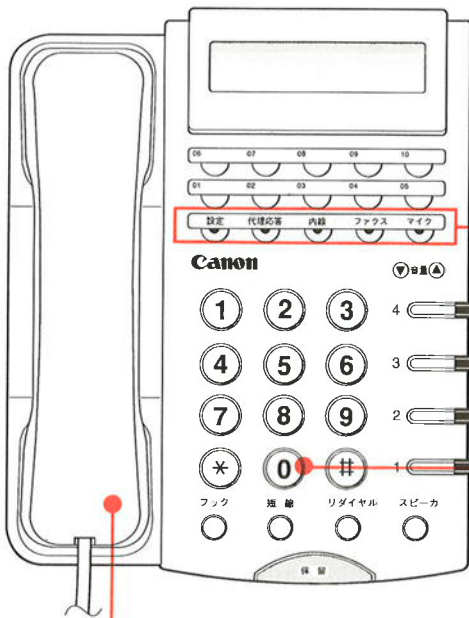
外線が空いていないので予約する

外線予約

キーマシン

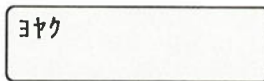


すべての外線が使用中のとき、外線を予約しておけば外線が空きしだい知らせてくれます。あらかじめ機能ボタンに **キャンブオン** ボタンを設定してください (⇒P.88)。

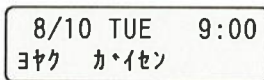


1 すべての **外線** ボタンのランプが赤色に点灯または点滅していたら

2 受話器を置いたまま **キャンブオン** ボタンを押す



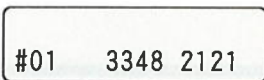
3 **0** を押す



● キャンブオンランプ: 点灯
外線が予約されました。

4 外線が空くと「ポロロ・ポロロ」音が鳴る

1 番の外線が空いたときの例



● キャンブオンランプ: 点滅

注意

- 「ポロロ・ポロロ」音は20秒間鳴ります。20秒以内に受話器をとらないと予約は取消されます。

5 受話器をとってダイヤルする



- ステップ3で **0** の代わりに使いたい **外線** ボタンを押すと、その外線ですべて予約できます。
- 受話器を持ったまま待つこともできます。その場合は、確認音「ツー・ツー」から発信音「ツー」に変わったらダイヤルできます。
- **キャンブオン** ボタンのランプは予約すると点灯、外線が空くと点滅、受話器をとると消灯します。

予約を取消す

受話器を置いたまま



○ キャンブオンランプ: 消灯

自動的にリダイヤルを繰り返す

オートリピートダイヤル



電話機が繰返しダイヤルしてくれます。話し中が多い相手に便利です。

1 話中音または呼出音が鳴っている間に



2 **リダイヤル** ボタンを押す

オートリピート サイソウマチ

3 受話器をもどす

8/10 TUE 10:00
オートリピート サイソウマチ

1分間隔で設定回数(10回単位で最大90回)リダイヤルします。

また、話中音が鳴っている間、またはリダイヤルを待っている間でも **リダイヤル** ボタンを押すとすぐにリダイヤルできます。

■ 相手が出たら、受話器をとってお話しください



NOTE

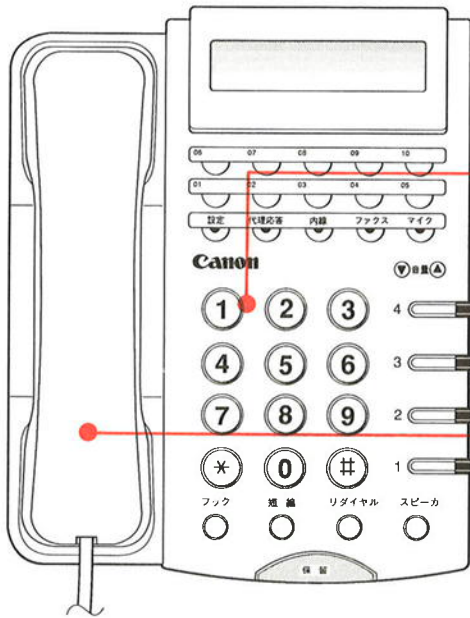
- リダイヤルする回数は変更できます。詳しくは工事保守店にご相談ください。
- リダイヤルを待っている間でも電話をかけることができます。通話が終わるとオートリピートダイヤルが再開します。
- 設定回数をリダイヤルすると自動的にオートリピートダイヤルは解除されますが、途中で解除したい場合次の2通りの方法があります。
 - (1) 話し中または呼出し中のときは、一度受話器をとり、受話器を戻します。
 - (2) リダイヤル待機中のときは、受話器を置いたまま **フック** ボタン、**リダイヤル** ボタンの順に押します。

スピーカから呼びかける

内線音声呼出



ダイヤルした内線がなかなか出ないときは、相手の電話機のスピーカから音声で呼出すことができます。



1 内線を呼出し中に

内12

2 1 を押す

内12

「ポー」という予告音が相手電話機とこちら側の電話機両方で鳴ります。

3 受話器に向って相手を呼出す



■ 相手が受話器をとると、お話しできます



NOTE

- 高音量ベル (⇒P.70) が接続されているときは、呼出す音声は高音量ベルから出ます。
- 音声で呼出されたときは、受話器をとるかまたは **マイク** ボタンが点灯していれば受話器を置いたまま応答できます (⇒P.65)。
- ☎ 一般の電話機からでも、内線を呼出し中にダイヤルボタンの **1** を押すと音声で相手を呼出すことができます。

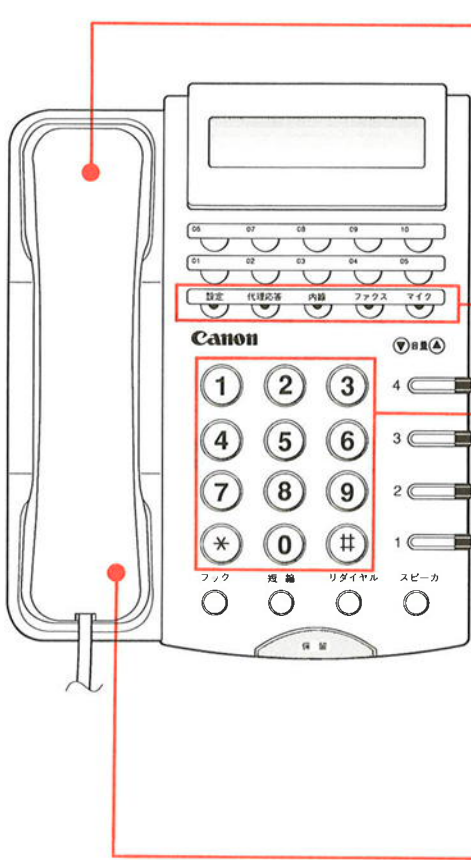
グループごとに音声で呼びかける

グループ一斉呼出

キーサイン テータ設定



相手がどこにいるかわからないときや、お知らせがあるときなど全電話機またはグループごとにスピーカから音声で呼びかけることができます。あらかじめ機能ボタンに **一斉** ボタンを設定してください(⇒P.88)。



1 受話器をとる

#01 3348 2121

2 **一斉** ボタンを押す

グループ°
イッセイビ・タン

● 一斉ランプ: 点灯

3 呼出すグループを指定する

- 9** : 自分と同じグループ内で呼出す
- 1** ~ **4** : 呼出すグループ1~4を指定する
- 0** : すべての専用電話機で呼出す

9 : を押したときの例

グループ°9
イッセイビ・タン

グループ内の空いている電話機のスピーカから「ポー」という予告音が出ます。着信音が鳴っている電話機や通話中の電話機からは予告音は出ません。

4 受話器に向かって話す



NOTE

- グループ内の電話機の **一斉** ボタンのランプが点灯します。
- 呼出すグループがひとつしか設定されていない場合、ステップ3は省略できます。
- ☎ 一般の電話機の場合は、内線発信状態(⇒P.8)で **7** をダイヤルしてからグループ番号を押すと一斉呼出しができます。

一斉に呼出されたときの電話のとりかた

受話器をとる



点灯している



呼出した相手とお話できます。

一斉ボタンのない電話機から応答するとき

受話器をとる



内線発信状態
(⇒P.8)で



呼出した相手とお話できます。



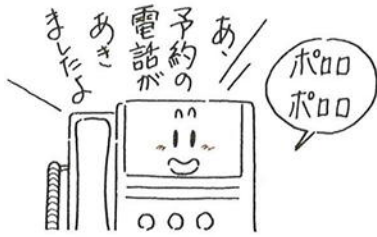
NOTE

☎ 一般の電話機でも、同様の操作で応答できます。

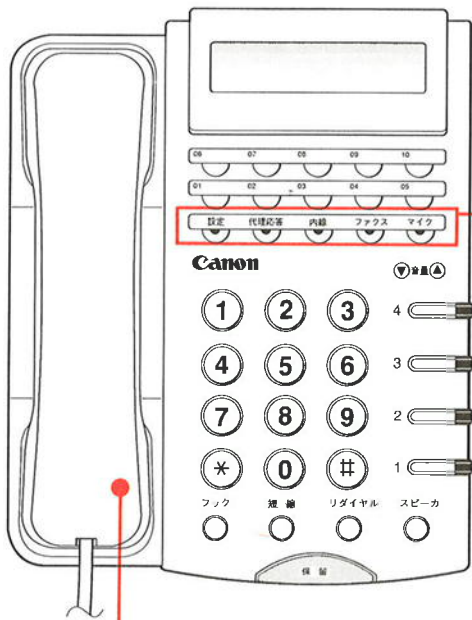
内線が話し中なので予約する

内線予約

キープイン



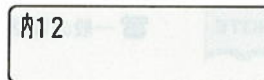
相手が通話を終えて受話器を置くと「ポロポロ・ポロポロ」音が鳴り、受話器をとると自動的に相手を出します。あらかじめ機能ボタンに **キャンプオン** ボタンを設定してください(⇒P.88)。



1 話中音が鳴っている間に

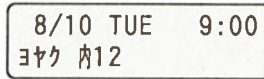


2 キャンプオン ボタンを押す



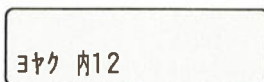
確認音「ツー・ツー」が聞こえます。

3 受話器を置く



● キャンプオンランプ: 点灯

4 相手の話が終わると、「ポロポロ・ポロポロ」音が鳴る



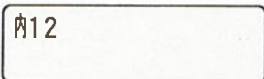
● キャンプオンランプ: 点滅

受話器を持ったまま待つこともできます。この場合、相手が電話を切ると相手を出します。

注意

- 「ポロポロ・ポロポロ」音が鳴ってから15秒以内に受話器をとらないと、予約は取消されます。

5 受話器をとる



○ キャンプオンランプ: 消灯

発信音が聞こえ、相手の電話機を鳴らします。

■ 相手が出たら、お話しください



NOTE

- 1つの電話機で4ヶ所からの予約が受けられます。
- 予約した相手から呼出しがあって応答したときまたは予約中の相手を呼出したときは予約が取消されます。
- **内線呼出** ボタンが点灯しているときは受話器を置いたまま **キャンブオン** ボタンを押し、続けて **内線呼出** ボタンを押すと設定されている内線が予約できます (⇒P.29)。

予約の取消しかた

受話器を置いたまま



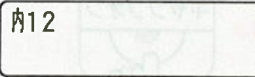
通話中の内線を呼出す

話中呼出

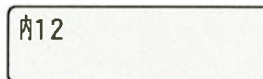


急な要件があるときは、通話中の内線に割り込んで話すことができます。

1 話中音が鳴っている間に

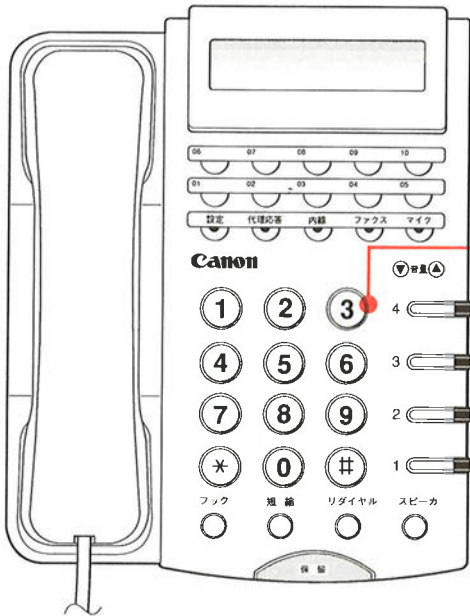


2 3 を押す



相手の電話機のスピーカから話中着信音「ピーピー」が鳴ります。
話中呼出しを受けたときの応答のしかたは、次のページをご覧ください。

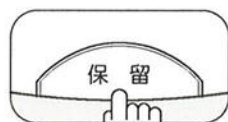
■ 相手が出たら、お話しください



NOTE

- 相手がドアホン (⇒P.68) の応答などでスピーカを使用している場合は、呼出すことはできません。話中音「プープー」が聞こえます。
- ☎ 一般の電話機でも、同様の操作で話中呼出しができます。ただし、話中呼出しを受けることはできません。

外線と通話中に話中呼出しを受けたとき



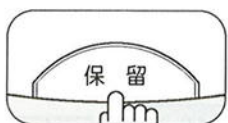
通話中だった「外線」ボタンのランプが点滅し、「保留」ボタンのランプが点灯します。呼出しをした相手と話ができます。今まで話をしてきた相手には保留メロディーを流します。

元の相手と話したいとき
緑色に点滅している



- 通話中の相手と再び話す必要がないときは、「保留」ボタンは押さず話を終わる旨を伝えたら受話器を置いてください。受話器を置くと内線着信音が鳴りますので、受話器をとって応答してください。

内線と通話中に話中呼出しを受けたとき



「保留」ボタンのランプが点灯し、呼出しをした相手と話ができます。今まで話をしてきた相手には保留メロディーを流します。

元の相手と話したいとき



- 通話中の相手と再び話す必要がないときは、「保留」ボタンは押さずに話を終わる旨を伝えたら受話器を置いてください。受話器を置くと内線着信音が鳴りますので、受話器をとって応答してください。

電話を待っていることを相手に伝える

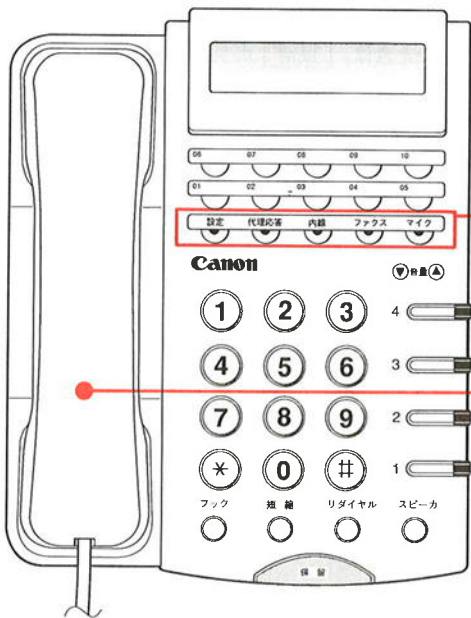
メッセージウェイト

キーマシン

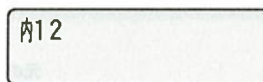


相手が話し中または応答しないときに、相手の電話機に自分の内線番号とかけた時刻を表示させ、電話を待っていることを知らせます。あらかじめ機能ボタンに「伝言」ボタンを設定してください(⇒P.88)。

1 話中音または呼出音が鳴っている間に

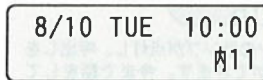


2 「伝言」ボタンを押す



● 伝言ランプ: 点灯

3 受話器をもどす

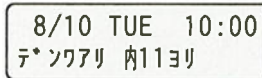


「スピーカ」ボタンを押してかけたときは、もう一度「スピーカ」ボタンを押します。

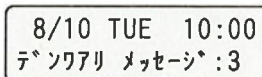


- 伝言できるのは1ヶ所だけです。伝言を取消したいときは、もう一度その内線に電話をかけてください。
- 伝言を受けた側の表示は以下ようになります。

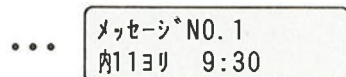
1つのとき



複数のとき



「伝言」ボタンを押したとき



- 受けたメッセージが複数のときは、「伝言」ボタンを押すごとに他のメッセージが表示されます。メッセージは4つまで受取ることができます。ただし、「伝言」ボタンのない電話機の場合はひとつです。
- 受けたメッセージを消すときは、繰返し「伝言」ボタンを押して消したいメッセージ番号を表示させ「フック」ボタンを押します。また、伝言した相手に電話をするとメッセージは消えます。
- ☎ 一般の電話機および「伝言」ボタンを持たない専用電話機でメッセージウェイトを行う場合、ステップ2でダイヤルボタンの「2」を押してください。

着信を一時的に拒否する

不在設定

キーサイン

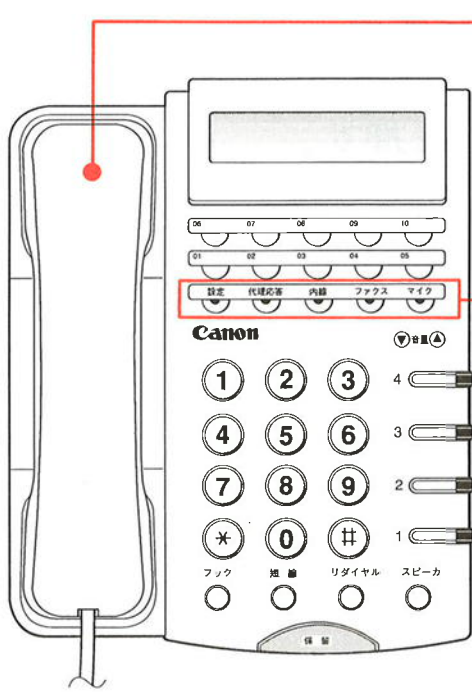
Part 1

電話をかける、受ける

不在にする



重要な打合せをするなど、しばらく電話を受けたくないときに便利です。あらかじめ機能ボタンに **不在** ボタンを設定してください (⇒P.88)。



1 受話器を置いたまま

2 **不在** ボタンを押す

フサイ セッテイ/テンソウ

● 不在ランプ: 5秒後に点灯
かけてきた相手には話中音を出して、着信を拒否します。

内11
フサイ セッテイチュウ

また、相手のディスプレイには「フサイ セッテイチュウ」と表示します。

3 解除したいときは受話器を置いたまま **不在** ボタンを押す

8/10 TUE 10:00
内11

○ 不在ランプ: 消灯



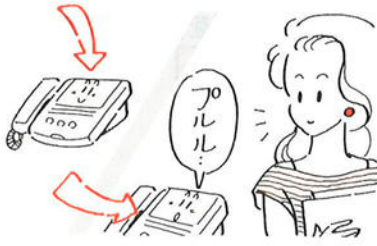
NOTE

- 不在設定中でも発信できます。
- 集中着信 (⇒P.104)、スライド着信 (⇒P.106) が設定されているときは、着信音を出します。

行先の内線へ転送させる

不在転送

キ-アサイン



会議などで席を離れているとき、自分の席にかかってきた電話を自動的に行先の内線電話に転送します。あらかじめ機能ボタンに **不在** ボタンを設定してください (⇒P.88)。

- 1 受話器を置いたまま
- 2 **不在** ボタンを押す
- 3 **1** を押す
- 4 転送先の内線番号をダイヤルする

フサイ セッテイ/テソウ

● 不在ランプ: 点灯

テソウサキナイセン=_

注意

- **不在** ボタンを押してから5秒以内に **1** を押してください。5秒以内に押さないと不在設定 (⇒P.45) となり、転送されません。

12をダイヤルしたときの例

テソウサキナイセン=12



- 不在転送には、自分の電話機から転送先を指定する方法 (**転送先指定**) と、逆に、転送先の電話機から転送元を指定する方法 (次ページの **転送元指定**) があります。
- 外線からの電話はDIL着信 (⇒P.105) とDID着信 (⇒P.105) だけ転送されます。通常着信は鳴動指定のある電話機が鳴動し、話中音は出しません。集中着信 (⇒P.104) は不在転送が設定されていても鳴動します。スライド着信 (⇒P.106) はスライド後に鳴動します。また、ドアホン (⇒P.68) からの着信は転送されません。

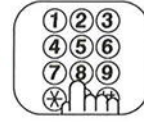
行先の電話機から自席の電話機に不在転送を設定する（転送元指定）

設定のため自分の席にもどる必要がありません。手元の電話機から転送元を指定します。

受話器を置いたまま



転送元の内線番号



注意

- **不在** ボタンを押したあと5秒以内に **2** を押してください。



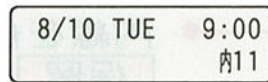
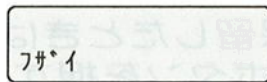
NOTE

- 一般の電話機および **不在** ボタンが設定されていない専用電話機に対しては、この設定はできません。設定を解除する場合は、転送元の電話機の **不在** ボタンを押してください。
- この機能は、不在となっている近くの電話機を自席の電話機に転送させたいとき、自席から不在転送が設定できるので便利です。解除するときは、不在となっている電話機の **不在** ボタンを押します。

不在転送を解除する

受話器を置いたまま

転送元の電話機で



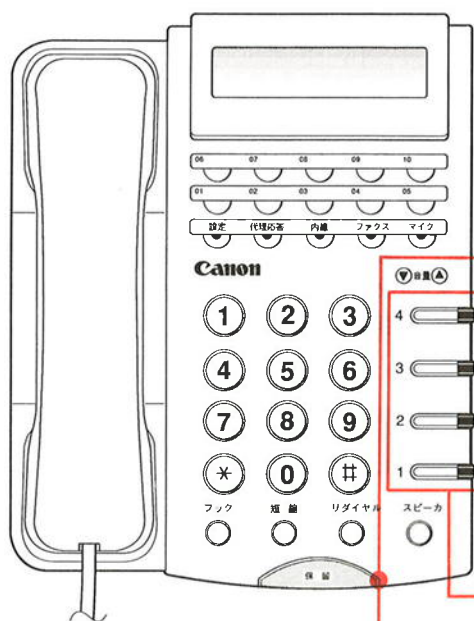
通話中の相手を保留する

システム保留



保留中の電話は同じ内線グループ (⇒P.33) 内の他の電話機から応答することもできます。

1 通話中に



2 保留 ボタンを押す



- 保留ランプ: 点灯
- 外線ランプ: 緑色の点滅 (外線のときのみ)

相手には保留メロディを流します。受話器を置いてもかまいません。

3 再び話すとき

外線を保留したときは緑色に点滅している **外線** ボタンを押す

内線を保留したときは点灯している **保留** ボタンを押す

受話器を置いた場合は、受話器をとってお話してください。

長時間保留警報

データ設定

外線との通話を保留にして一定時間経過すると、スピーカから警告音が4秒間鳴ります。外線を長時間待たせることを防ぎます。警告音はデータ設定により保留してから1分後/2分後/3分後に鳴るように設定できます。また、警告音を出さないようにもできます。詳しくは、工事保守店にご相談ください。



● 外線を保留すると

自分の電話機



緑色に点滅

同じ内線グループの他の電話機



赤色に点滅

赤色に点滅している **外線** ボタンを押せば、他の電話機からでも保留中の相手と話することができます。

● 内線を保留すると

自分の電話機



点灯

同じ内線グループの他の電話機



点灯

点灯している **保留** ボタンを押せば、他の電話機からでも保留中の相手と話することができます。内線の保留は同じ内線グループ (⇒P.33) 内で1通話だけです。

☎ 一般の電話機でも、フッキングで保留できます。受話器は上げたままにしてください。再び話すときは再度フッキングします。外線・外線どちらの場合も同じ操作です。

フッキング



フッキングとはフックスイッチを軽く (0.2~0.8秒) 押すことです。

● 外線と通話中にフッキングする場合、保留にするのかフッキング送出 (⇒P.70) にするのかをデータ設定で以下の3通りの中から選ぶことができます。

- (1) 外線を保留し、内線発信状態 (⇒P.8) にする。フッキング送出はできません。
- (2) 外線にフッキングを送出する。保留はできません。
- (3) 保留かフッキング送出かをダイヤルボタンで選び、どちらでも使えるようにする。

(外線と通話中) ⇒ (フッキング) ⇒ **0** で保留

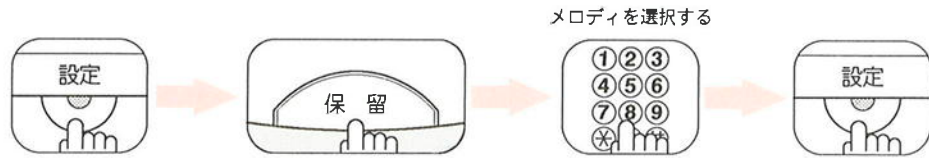
(外線と通話中) ⇒ (フッキング) ⇒ **1** でフッキング送出

● 外線発信状態でフッキングすると内線発信状態になります。

保留メロディ選択



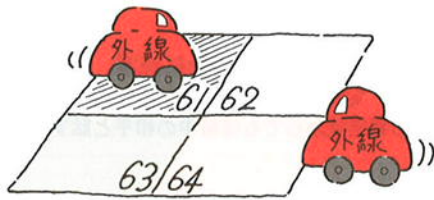
保留したときに相手に流れる保留メロディは、「グリーンスリーブス」と「峠の我家」のどちらかを選ぶことができます。操作は**マスター電話機**で行ってください。



- ① : グリーンスリーブス
- ② : 峠の我家

保留番号で外線を保留する

パーク保留

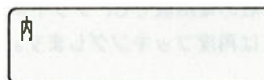


保留番号は、2桁の数字（61～64）で4つあります。

1 外線と通話中に



2 保留 ボタンを押す

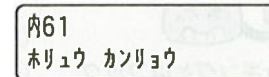


- 外線ランプ：緑色に点滅
- 保留ランプ：点灯

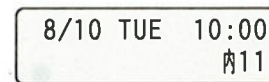
相手には保留メロディを流します。

3 保留番号（61～64）をダイヤルする

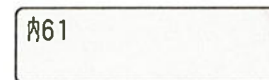
保留番号61をダイヤルしたときの例



4 受話器を置く

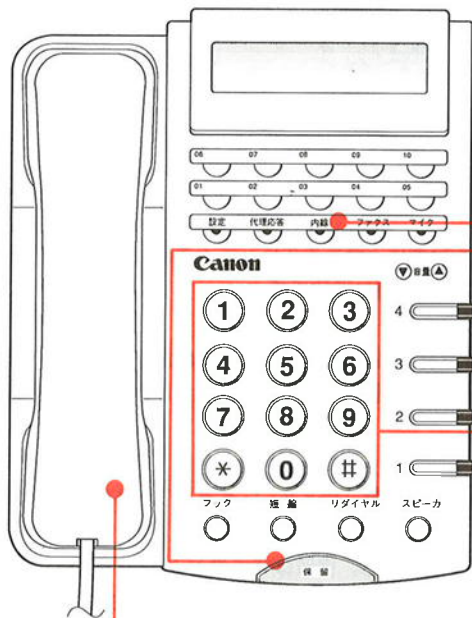


5 相手と再び話すときは 内線 ボタンを押し、同じ保留番号をダイヤルする



内線 ボタンは内線発信状態（⇒P.8）にするために押します。

6 受話器をとって話す



NOTE

- パーク保留が1分以上続くと、通常のシステム保留（⇒P.48）となり、パーク保留をした電話機を呼びます。
- ☎ 一般の電話機でパーク保留にするには、フッキング（⇒P.49）してから保留番号（61～64）をダイヤルし、受話器を置きます。再び話すときは、内線発信状態（⇒P.8）で同じ保留番号をダイヤルしてください。

自分の電話機だけで保留する

外線自己保留

キーサイン

Part
1

電話をかける、受ける

保留・転送する

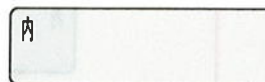


保留した電話は他の電話機でとることができません。あらかじめ機能ボタンに **自己保留** ボタンを設定してください (⇒P.88)。

1 外線と通話中に



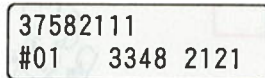
2 **自己保留** ボタンを押す



● 外線ランプ：緑色に点滅

相手には、保留メロディを流します。ここで、受話器を置いてもかまいません。

3 再び話すときは、緑色に点滅している **外線** ボタンを押す

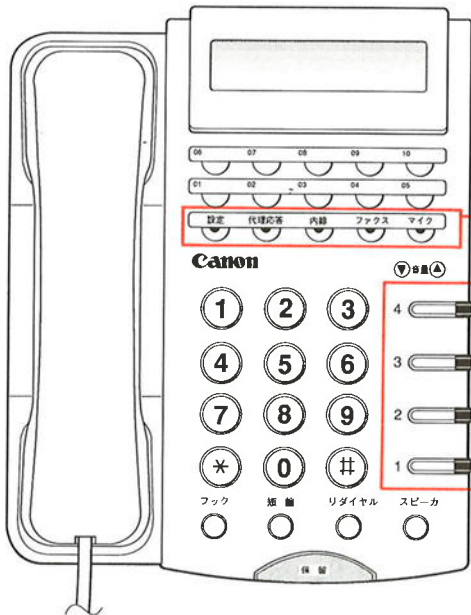


■ 相手と、お話しください

受話器を置いたときは、受話器をとってお話してください。



- **自己保留** ボタンは、話中呼出し応答 (⇒P.43)、保留転送 (⇒P.54)、強制転送 (⇒P.54)、パーク保留 (⇒P.50)、会議通話 (⇒P.66) などで **保留** ボタンの代わりに押して使用できます。



近くの内線に声をかけて転送する

簡易転送



声をかけて同じ内線グループ (⇒P.33) 内の別の内線に転送します。

1 通話中に



2 保留 ボタンを押す



- 保留ランプ: 点灯
- 外線ランプ: 緑色に点滅 (外線のときのみ)

3 転送したい相手に口頭で伝える

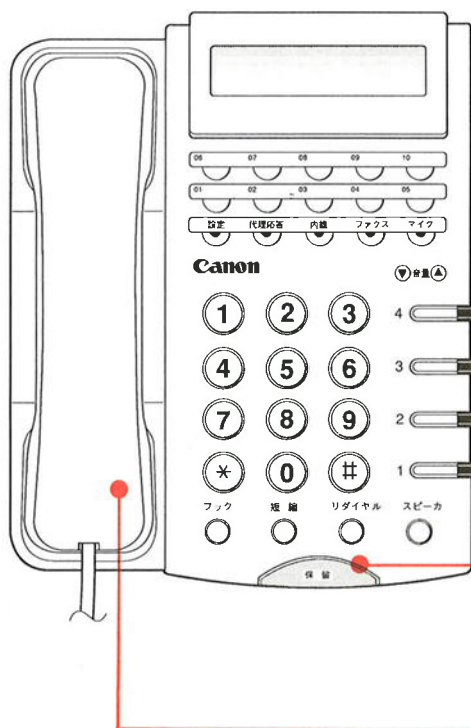
外線のと看



内線のと看



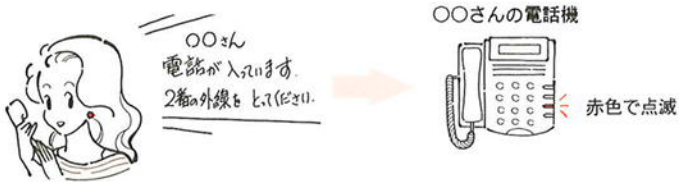
4 受話器を置く



NOTE

☎ 一般の電話機の場合は、フッキングして声をかけます。ただし、通話中の相手が外線のと看の場合はデータ設定すればフッキングして声をかけることができます (⇒P.49)。

外線が転送されてきたとき



赤色で点滅している **外線** ボタンを押せば、転送された相手と話することができます。



☎ 一般の電話機から **外線** ボタンの番号を指定してとることもできます。ただし、データ設定が必要です。



内線発信状態
(⇒P.8) で

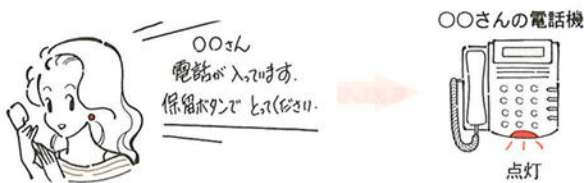


外線ボタンの番号



例：「2番の外線です」と声をかけられたときは、ダイヤルボタンの **2** を押します。

内線が転送されてきたとき



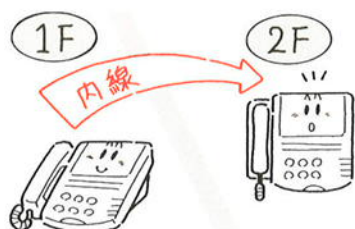
点灯している **保留** ボタンを押せば、転送された相手と話することができます。



☎ 一般の電話機の場合は、受話器をとってフッキング (⇒P.49) すると応答できます。

離れている内線に転送する

保留転送



他のフロアなどの離れている内線へ転送します。

1 通話中に



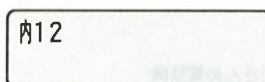
2 保留 ボタンを押す



- 保留ランプ: 点灯
- 外線ランプ: 緑色に点滅 (外線のときのみ)

3 転送先の内線番号をダイヤルする

12をダイヤルしたときの例



転送先が不在または話し中のとき、または間違えてダイヤルしたときは、緑色に点滅している **外線** ボタン (内線を保留したときは **保留** ボタン) を押すともとの相手と通話できます。また、他の内線に転送しなおすときは、**フック** ボタンを押してから他の内線番号をダイヤルします。

4 相手が出たら転送であることを伝え、受話器を置く



NOTE

- 転送先が話し中でなければ転送先の内線番号をダイヤルした後、相手を確認しないで受話器を置くことができます (**強制転送**)。このとき、30秒以内に転送先が応答しないと呼返し音が鳴ってもどってきます。受話器をとると、待たせている相手と話ができます。
- ☎ 一般の電話機の場合は、フッキング (⇒P.49) してから、転送先の内線番号をダイヤルしてください。相手が出たら転送であることを伝え、受話器を置いてください。また、転送先が不在または話し中のときはもう一度フッキングすると元の相手と話することができます。

通話中の外線を別の外線へ転送する

外線転送

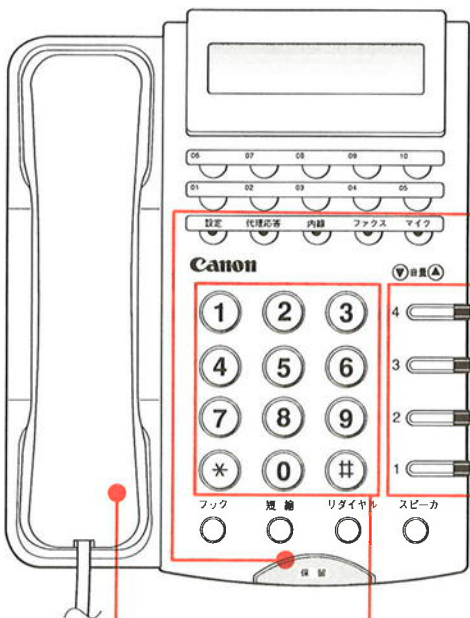
Part 1

電話をかける、受ける

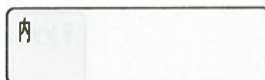
保留・転送する



1 外線と通話中に



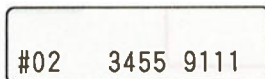
2 保留 ボタンを押す



- 外線ランプ：緑色に点滅
- 保留ランプ：赤く点灯

「ツ・ツ・ツ」音が聞こえます。待たせている相手には保留メロディが流れます。

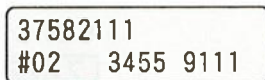
3 ランプが消えている 外線 ボタンを押す



- 外線ランプ：緑色に点灯

4 転送先の電話番号をダイヤルする

3758-2111 をダイヤルしたときの例



転送先が不在または話し中のとき、または間違えてダイヤルしたときは、緑色に点滅している 外線 ボタンを押すともとの相手と通話できます。

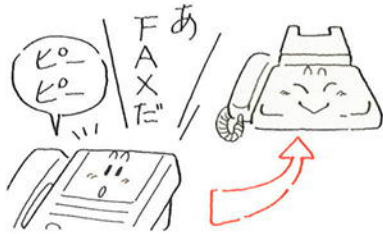
5 相手が出たら転送であることを伝え、受話器を置く



- 転送すると、保留した 外線 ボタンと発信に使用した 外線 ボタンの両方が赤色に点灯します。
- 転送後、赤色に点灯している 外線 ボタンを押すと3者でお話しができます。受話器を置くと元の外線転送の状態になります。
- この通話は30分で切れます。通話が切れる30秒前に警告音「ププー」が鳴ります。
- ☎ 一般の電話機で外線転送する場合はフッキング(⇒P.49)し、外線発信状態(⇒P.8)で外線番号をダイヤルしてください。相手が出たら転送であることを伝え、受話器を置いてください。ただし、外線を保留するにはデータ設定が必要です。

ファクスへ転送する

ファクス転送




かかってきた電話がファクスだった場合、ファクスに転送します。

1 ファクスの通信音が聞こえたら



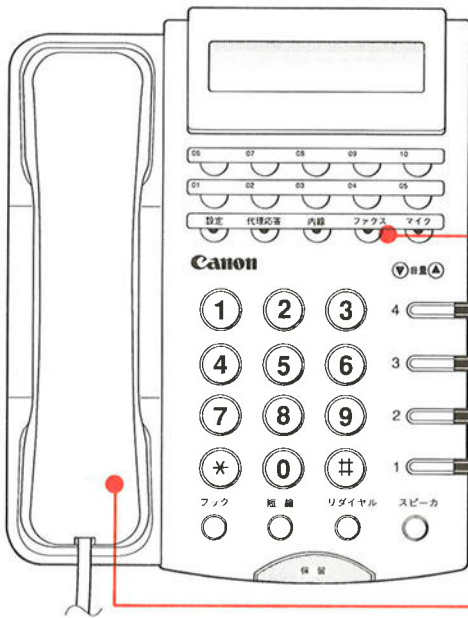
2 **ファクス** ボタンを押す

テンソウチュウ

 ファクスランプ：赤色に点滅
通信が始まると **ファクス** ボタンのランプは点灯に変わります。

3 受話器を置く

8/10 TUE 10:00
内11

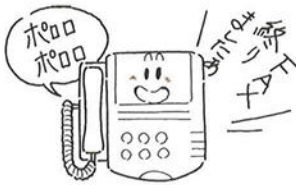


NOTE

- ファクスを使用中（ファクスランプが点灯）のときは、ファクスには転送できません。
- ステップ2で **ファクス** ボタンのランプが点滅している間は、緑色に点灯している **外線** ボタンを押して転送を中止することができます。ただし、**ファクス** ボタンのランプが点灯に変わると、転送を中止することはできません。また、受話器を置いた後も転送を中止することはできません。

ファクス通信終了通報

キーサイン



ファクスの通信が終了したことを知らせます。
あらかじめ機能ボタンに **ファクス** ボタンと **キャンブオン** ボタンを設定してください (⇒P.88)。

受話器を置いたまま



ヨヤク



8/10 TUE 10:00
ファクス シュウリョウマチ

ファクス通信が終了するとスピーカから「ポロロ・ポロロ」が聞こえます。



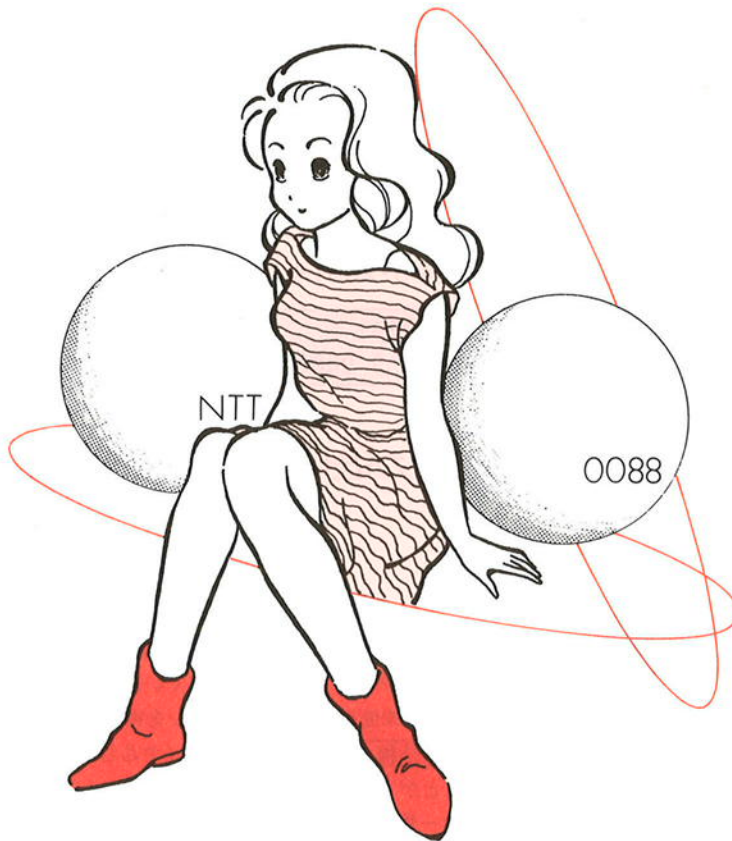
NOTE

- 「ポロロ・ポロロ」音は10秒間鳴ります。途中で止めたときは **▼/▲** ボタン、**外線** ボタン、**ワンタッチ** ボタン以外のボタンを押してください。
- ファクスの通信が終了したとき、この機能を設定した電話機が使用中のときは、操作または通話が終わってから「ポロロ・ポロロ」音と表示を出します。
- 設定を解除するときは、受話器を置いたまま **フック** ボタンのあと **ファクス** ボタンを押してください。

PART 2

LCR機能

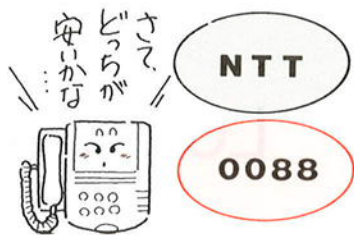
この章では、日本テレコムのスーパ- LCR を利用した通話のしかたを解説しています。



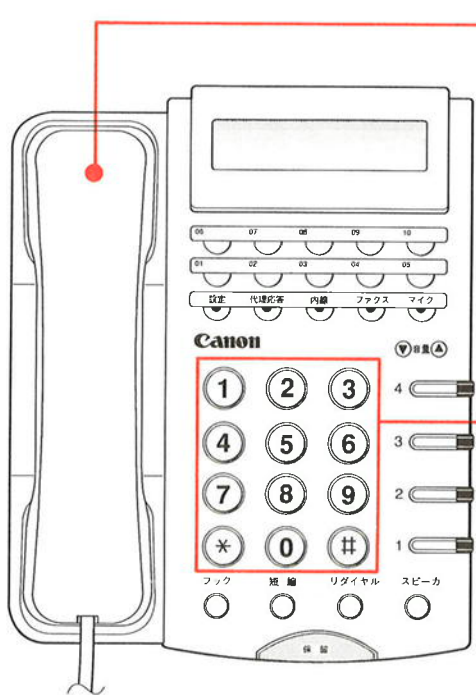
NCCを経由して電話をかける

スーパーLCR

オプション



LCR (Least Cost Routing) とは、通話料金の最も安いルートを選択することをいいます。電話をかける地域や時間帯などによって、システムが自動的にこのルートを選択してくれます。発信のしかたは、通常の外線発信のときと同じです。



1 受話器をとる



#01 3348 2121

● 外線ランプ：緑色に点灯

2 相手の番号をダイヤルする

06-945-2851 をダイヤルしたときの例

069452851
7カハンコウ 0088

間違えてダイヤルしたときは、**フック** ボタンを押してダイヤルしなおしてください。

■ 相手が出たら、お話しください



- 料金が改定された場合は自動的に更新されます。
- LCRの回線が混んでいてかかりにくいときや急いでいるときは、電話をいったん切り、未使用の **外線** ボタンを押して「ツー」音が聞こえたらもう一度同じ **外線** ボタンを押し、ダイヤルしなおすと通常のNTT回線に切替えることができます。電話を切るともとのLCRモードになります。
- マスター電話機にある **LCRオフ** ボタンを押してランプを点灯させるとスーパーLCRが利用できなくなり、システム全体が通常のNTT回線に切替わります。もう一度 **LCRオフ** ボタンを押してランプを消灯させると、スーパーLCRが利用できます。
- LCRボードが搭載されると、あらかじめNCCルートを設定しておく機能は無効になります。

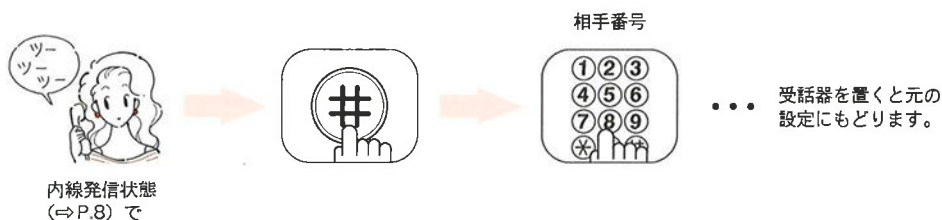
LCRの判定基準時間を変更する

LCRの判定基準時間は通常3分に設定されていますが、3分にするか1分にするかは以下に示す操作で、電話機ごとに変更できます。例えば、常に送信枚数が一枚程度のファクスとあらかじめ通話時間が短いことがわかっている場合は1分にします。



LCRの判定基準時間を逆にする

電話をかけるごとに基準時間を逆（3分から1分または1分から3分）に変更することができます。ただし、ダイヤル方式がDPの一般電話機では変更できません。



注意 ● LCRデータのメンテナンスのため、日本テレコムのオンラインセンターと通信を行います。通信中、外線（契約回線が複数の場合はいずれか1本）が約3分間使用できなくなります。

- (1) 日本テレコムから着信があったとき
通常の着信と同じです。着信音が鳴ったら応答してください。[外線] ボタンのランプが赤色に点灯し、ディスプレイには“センターチャクシン”が表示されます。応答して「ピー」という信号音が聞こえたら、受話器を置いてください。約3分後、ランプが消えたらその [外線] ボタンは使用できます。
- (2) 定期メンテナンスのためにシステムが自動発信したとき
設定された時刻になると、自動的に空き外線を使用して日本テレコムへ発信します。通信中、[外線] ボタンのランプが赤色に点灯します。約3分後、ランプが消えたらその [外線] ボタンは使用できます。自動発信のさいの通話料は無料です。着払いで日本テレコムが負担します。

● メンテナンスが行われる日時は決まっておりません。また、センターと通信時にはセンターからの時計データにシステム内の時計を合わせます。

PART 3

その他の便利な機能

ここでは、ビジネス以外でも便利な機能やオプションとして用意されている機能を説明します。
なお、オプション機能は、別売りの装置などが必要になりますので工事保守店にご相談ください。

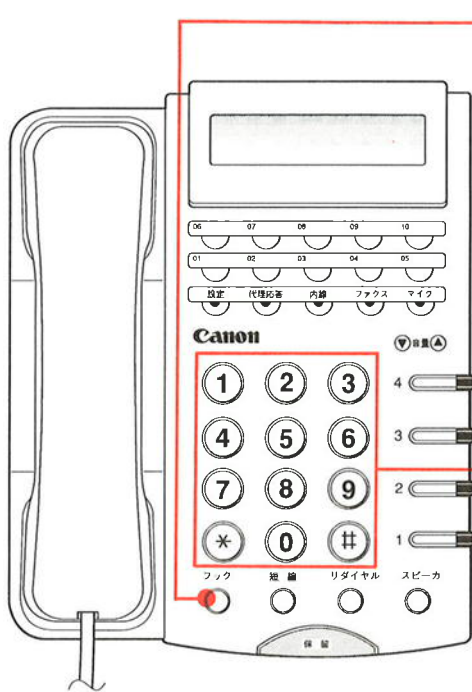


手元の電話機を自分の電話機の設定で使う

スーパーユーザ



会議などで席を移動したときに移動先の電話機を自分の電話機の設定（内線番号、電話機別短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル、フレキシブルキーアサインなどの全機能）で使うことができます。



1 手元の電話機で受話器を置いたまま
フック ボタンを押す

トリケン

2 手元の電話機の内線番号を
ダイヤルする

11

3 自分の電話機の内線番号を
ダイヤルする

13

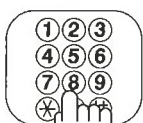
■ 手元の電話機が自分の電話機の設定
で使えます

解除のしかた

スーパーユーザを
設定した電話機



自分の電話機の
内線番号



手元の電話機の
内線番号



- 指定した電話機が使用中のときは、この機能の設定はできません。
- スーパーユーザは同じタイプの専用電話機どうしでのみ利用できます。

受話器をとらずに応答する

ハンズフリー応答



マイク ボタンのランプを点灯させておけば、音声呼出しを受けたとき受話器をとらずに応答できます。また、電話が鳴っているときでも **スピーカ** ボタンと **マイク** ボタンを押せば、受話器を置いたまま応答できます。

注意

- 相手内線がハンズフリー通話の状態にかけてきたときはオプションのハンズフリーカードがないとハンズフリー応答はできません。また、一般の電話機からの音声呼出しにはハンズフリー応答はできません。



NOTE

- **マイク** ボタンはディスプレイ付き専用電話機にのみ付けられます。
- オプションの高音量ベルが接続されている場合、他の内線からの音声呼出しの音声は高音量ベルから聞こえます。

受話器を置いたまま通話する（ハンズフリー通話）

オプション

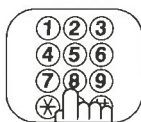


オプションのハンズフリーカードを取付けると、内線どうしがお互いに受話器を置いたまま通話ができます。また、外線の相手と受話器を置いたまま通話ができます。

受話器を置いたまま

相手番号

終了したら



相手が出たら、
お話しください。...



注意

- 通話は交互に行ってください。同時に話すと音がとぎれる場合があります。また、騒音の激しい場所では相手に声が伝わらない場合があります。
- **マイク** ボタンを押したときランプが点灯しない場合は、他の電話機でハンズフリー通話中です。受話器をとってお話してください。
- 外線にかけるときは「ツー」、内線にかけるときは「ツーツー」という発信音を確認してダイヤルしてください(⇒P.8)。



NOTE

- ハンズフリー通話の状態から受話器をとると、受話器を使った通常の通話に切替えることができます。また、通常の通話からハンズフリー通話に切替える場合は、**スピーカ** ボタンを押してから受話器を置き、**マイク** ボタンを押してランプを点灯させてください。
- ハンズフリー通話中に **マイク** ボタンを押してランプを消灯させると、自分の声を相手に聞こえなくすることができます。

Part
3

その他の
便利な機能

3人で同時に通話する

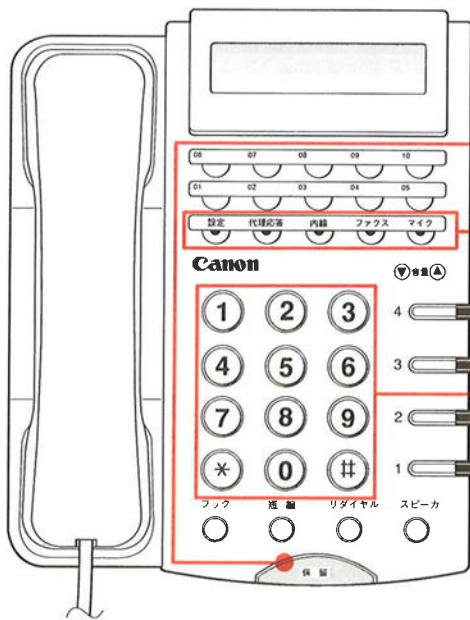
会議通話

キーマン

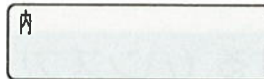


内線・外線を問わず2者間の通話にもう1人加えて3者による通話ができます。3人目の方を参加させるには、ダイヤルして相手を出呼する方法と、次ページの口頭で相手の方から通話に参加させる2通りの方法があります。あらかじめ機能ボタンに**会議通話** ボタンを設定してください(⇒P.88)。

1 通話中に



2 保留 ボタンを押す



- 外線ランプ：緑色に点滅(外線のとき)
- 保留ランプ：点灯(内線のとき)

受話器から「ツ・ツ・ツ」音が聞こえ、相手には保留メロディーが流れます。

3 加えたい相手の番号をダイヤルする

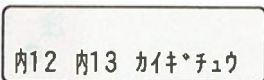
内線13をダイヤルしたときの例



加えたい相手が外線のときは、ランプが消えている**外線** ボタンを押してから番号をダイヤルします。間違えてダイヤルしたときは、**フック** ボタンを押してダイヤルしなおしてください。

4 会議通話 ボタンを押す

内線12、13と通話しているときの例



- 会議通話ランプ：点灯
- 最初の相手ともつながり3人で通話ができます。



NOTE

- 3者のうち1者が電話を切れば、他の2者だけの通話になります。ただし、外線2者と会議通話をしているときに、自分が電話を切ると他の2者の電話も切れてしまいます。
- 会議通話で、他の2者に自分から電話をかけたときの電話料金は、両方の合計額が表示されます。また、通話時間は、他の2者間の通話時間が交互に表示されます。
- ステップ2で**自己保留** ボタンを押すこともできますが、会議通話中は自己保留(⇒P.51)できません。
- 会議通話は、システムで1組だけ行うことができます。
- ☑ 一般の電話機も、会議通話に参加できます。ただし、一般の電話機から3人目の方を出呼することはできません。

口頭で相手の方から通話に参加させる

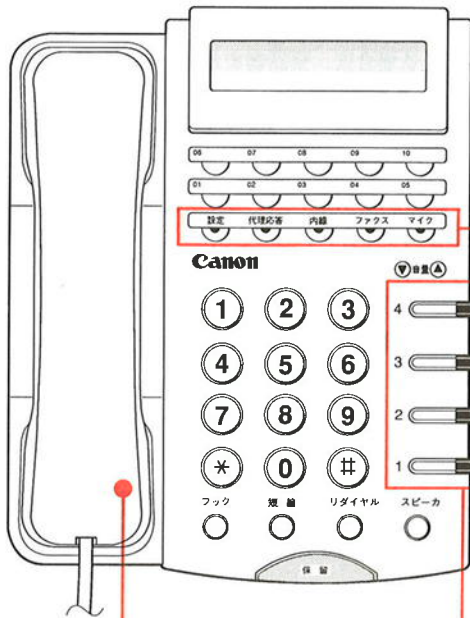
秘話解除

キーマン



通常、通話中は“秘話”機能がはたらくため第三者が通話を聞くことはできません。しかし、この機能を解除すれば通話に参加できるようになります。これを秘話解除といいます。あらかじめ機能ボタンに **会議通話** ボタンを設定してください (P.88)。

1 外線と通話中に



2 **会議通話** ボタンを押す

37582111

ヒワカシ*ヨチュウ

● 外線ランプ: 緑色に点滅

通話中の外線が秘話解除されます。

3 会議通話に参加させたい人に、点滅している **外線** ボタンの番号を口頭で伝える



注意

- 会議に参加できるのは、秘話解除を行った電話機と同じ内線グループ (⇒P.33) 内の電話機に限ります。

4 呼ばれた人は受話器をとる

#01 3348 2121

5 ランプが赤色に点滅している **外線** ボタンを押す

内12 #02 カイキ*チュウ

会議通話に参加できます。



- 秘話解除をしたあとに **フック** ボタンを押すと再び秘話になります。

Part 3

その他の便利な機能

ドアホンに应答する

ドアホン

オプション

キーサイン

アーク設定



ドアホンからの呼出しに電話機で应答したり電話機からドアホンを呼出して通話することができます。ドアホンは2台まで接続できます。詳しくは工事保守店にご相談ください。あらかじめ機能ボタンに「ドアホン」ボタンを設定してください(⇒P.88)。



- 「ピンポーン」と鳴っている電話機では、受話器をとるだけでドアホンに应答できます。
- 近くで「ピンポーン」と鳴っている場合は、受話器をとり、点滅している「ドアホン」ボタンを押すと应答できます。应答すると点灯に変わります。
- 「ドアホン」ボタンのない電話機からドアホンに应答する場合は、内線発信状態(⇒P.8)で「9」「0」とダイヤルしてください。
- ドアホンの着信音が鳴ってから設定した時間(最長1分)内に应答してください。詳しくは工事保守店にご相談ください。
- ドアホンの着信中および通話中は構内放送(⇒P.69)できません。
- ☎ 一般電話機の場合、着信音は「ピンポーン」ではなく、設定した鳴動パターンに従った音となります。应答する場合は、内線発信状態で「9」「0」とダイヤルしてください。

電話機からドアホンを呼出して通話する

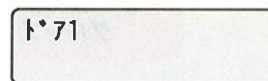
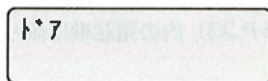
受話器をとる



①または②



相手と、お話しください。



- 構内放送中は、ドアホン呼出しはできません。
- ☎ 一般の電話機でドアホンを呼出すときは、内線発信状態(⇒P.8)で、「9」のあとドアホンの番号(「1」または「2」)を押します。

外部スピーカを使って放送する

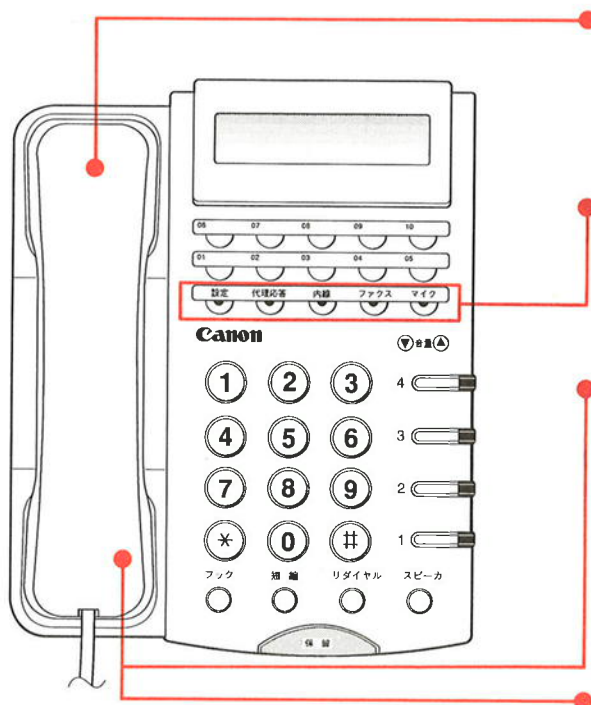
構内放送

オプション

キーサイン



電話機からの音声を外部スピーカを使って放送できます。また、放送で呼出した人との内線通話ができます。外部スピーカの設置については、工事保守店にご相談ください。あらかじめ機能ボタンに **放送** ボタンを設定してください (⇒P.88)。



1 受話器をとる

#01 3348 2121

2 **放送** ボタンを押す

ホウソウ

3 受話器に向かって話す



受話器からの音声が外部スピーカから放送されます。呼ばれた人は近くの電話機から内線発信状態 (⇒P.8) で **9** **4** をダイヤルすると放送している人とお話できます。

4 終了したら受話器を置く



NOTE

- 放送を行うとき、予告音を鳴らすように設定できます。詳しくは工事保守店にご相談ください。
- 放送を行っているときは、ドアホン (⇒P.68) の呼出しはできません。
- ☎ 一般の電話機で放送を行うときは、内線発信状態で **9** **3** をダイヤルすると放送できます。

Part
3

その他の便利な機能

着信音を高音量で鳴らす

高音量ベル

オプション



オプションのローゼットを使用することにより着信音を外部スピーカで鳴らすことができます。音声呼出し(⇒P.37)の音声も外部スピーカから出すことができます。詳しくは、工事保守店にご相談ください。ただし、構内放送用のスピーカを高音量ベルとして使用する場合は、外線からの着信音しか鳴らすことができません。また、高音量ベルはディスプレイ付きの専用電話機にのみ接続できます。

トーン信号で各種の電話サービスを受ける

PB 信号送出



銀行の残高照会、航空券予約、株式売買などのトーン信号による各種サービスが受けられます。通常の電話の要領でサービスセンターに電話をかけ、相手が出たらダイヤルボタンの **[✕]** を押します。以降、トーン(プッシュホン)信号が発信できるようになりサービスが受けられます。ただし、回線がPB回線のときは、**[✕]** を押す必要はありません。また、メモダイヤルを入力しているときは、この機能は使えません。

NTTのキャッチホンサービスに应答する

フッキング送出



外線と通話中に **[フック]** ボタンを押してNTTのキャッチホンサービスに应答することができます。



[電話] 一般の電話機の場合は、データ設定すれば外線と通話中にフッキング(⇒P.49)すると、キャッチホンサービスに应答できます。

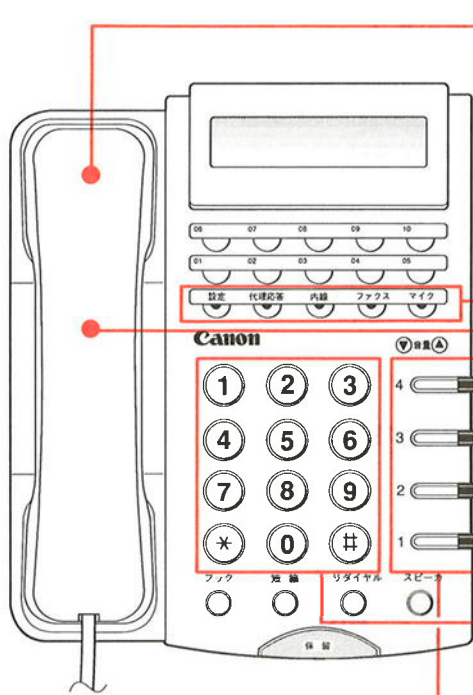

ダイヤラを使ってかける

オートダイヤラ発信

キーマシン



市販のオートダイヤラのPB信号を使って外線にダイヤルします。あらかじめ機能ボタンに「オートダイヤラ」ボタンを設定してください(⇒P.88)。

- 
- 1 受話器を置いたまま
 - 2 「オートダイヤラ」ボタンを押す
オートダイヤラ ● オートダイヤラボタン：点灯
 - 3 受話器をとる
オートダイヤラ
 - 4 ダイヤラを受話器にあてて電話番号を入力する
37582111
オートダイヤラ ● オートダイヤラボタン：点滅


間違えてダイヤルしたときは、「フック」ボタンを押してダイヤルしなおしてください。
 - 5 再度「オートダイヤラ」ボタンを押すかまたはランプの消灯している「外線」ボタンを押す
37582111
#01 3348 2121 ○ オートダイヤラボタン：消灯

注意

- ステップ2からステップ4まで20秒以内で操作してください。

■ 相手が出たら、お話しください

Part
3

その他の便利な機能

ヘッドセットで通話する

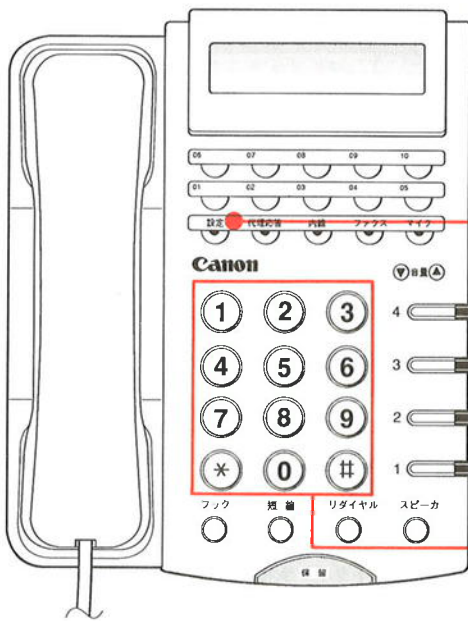
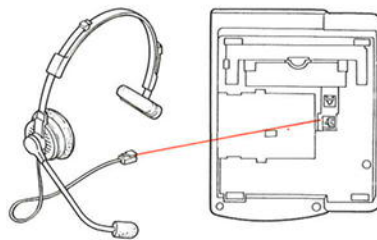
ヘッドセット通話

オプション

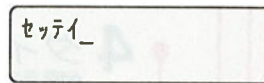


オプションのヘッドセットを使って通話することができます。

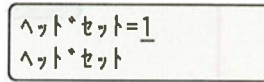
- 1 ハンドセットを外し、ヘッドセットを接続する



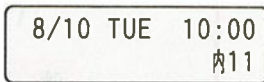
- 2 **設定** ボタンを押す



- 3 **9** **6** **1** と押す



- 4 **設定** ボタンを押す



- ヘッドセットを使って電話をかけるとき、切るときは **スピーカ** ボタンを押します



NOTE

- ヘッドセット通話の設定をするとスピーカ受話 (⇒P.3) はできません。

ヘッドセット通話にもどすとき

ヘッドセットを外し、
ハンドセットを接続
する

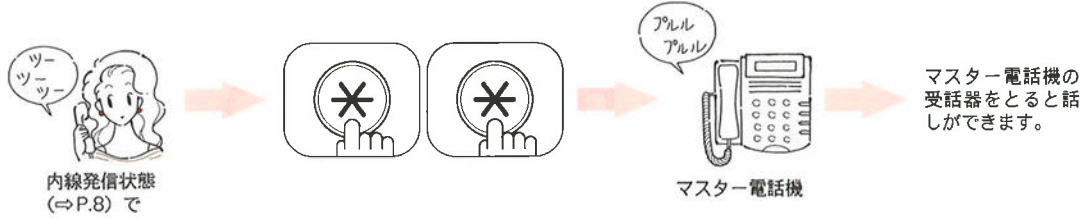


マスター電話機をさがす

マスターコール



マスター電話機がどれか分からないときに便利です。以下に示す操作で着信音が鳴った電話機がマスター電話機です。



Part 3

その他の便利な機能

内线番号や特番を変更する

ナンバリングフリー

データ設定

内线番号や、0発信の“0”のような特番や機能番号が自由に変更できます。ただし、データ設定が必要ですので工事保守店にご相談ください。

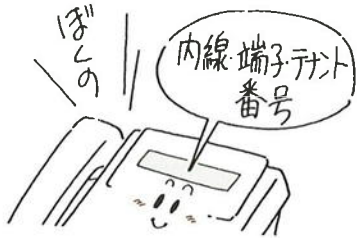
内線特番一覧

サービス名	標準値	備考	参照ページ	
内线番号	1~5	2桁目は0~9の任意	-	
外線自動捕捉	0	-	13	
指定外線捕捉	8	2桁目は1~4	13	
一斉呼出	7	2桁目は 0 (全グループ) 9 (自己のグループ) 1~4 (グループ番号) * (応答)	38	
パーク保留	6	2桁目は1~4	50	
放送	ドアホン呼出	9	2桁目は1または2	68
	ドアホン応答		2桁目は0 (固定)	68
	構内放送		2桁目は3 (固定)	69
	放送応答		2桁目は4 (固定)	69



- 本使用説明書では標準値で説明しています。
- 内线番号は最大9個まで、他のサービスの特番は1個です。

自分の電話機の内線番号やテナント番号を確認する 自己情報表示



ディスプレイ付きの専用電話機の場合、自分の電話機の内線番号、端子番号、テナント番号などの自己情報が表示できます。

受話器を置いたまま



セッテイ_

内11 タンシNo. 01
ハッシソ=1 チャクシソ=1

漢字表示用専用電話機の場合

内線番号11 端子番号01
発信テナント1 着信テナント1



● 10秒間表示します。

PART 4

登録と設定

ここでは、本システムの持っている機能を十分に活用するための各種の登録および設定操作についてを説明しています。



ワンタッチオートダイヤルの登録のしかた

ワンタッチボタンは電話機ごとに10個あります。また、未使用の **外線** ボタンや未定義の機能ボタンにワンタッチオートダイヤルを登録することもできます (⇒P.90)。

例えば、**ワンタッチ** ボタン01に3758-2111を登録します。

1 受話器を置いたまま

2 **設定** ボタンを押す
 セッテイ_ ● 設定ランプ: 点灯

3 **短縮** ボタンを押す
 タンシユク _ 90-99 ← マスター電話機では“00-99”と表示します。

4 ワンタッチボタン01を押す
 A01
 - すでに登録されている場合は、その内容を表示します。

5 電話番号を入力する
 A01
 37582111
 カーソル
 間違っって入力したときは、**▼/▲** ボタンを押して訂正したい桁にカーソルを移動させて入力しなおしてください。略称を入力したいときは、電話番号を入力した後、**リダイヤル** ボタンを押してください (⇒P.82)。

6 **保留** ボタンを押す
 A01
 トウロク カンリョウ
 設定確認音「ビッピー」が鳴ると登録は終了です。続けて他のワンタッチオートダイヤルを登録するときは、操作4~6を繰返してください。

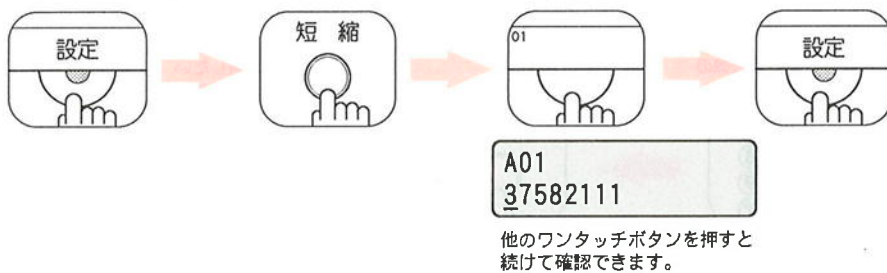
7 **設定** ボタンを押す
 8/10 TUE 10:00
 内11 ○ 設定ランプ: 消灯



- 登録できる桁数は16桁までです。17桁以上の長い番号は複数のワンタッチボタンに分けて登録し、組合わせて使うと便利です(⇒P.15)。市内番号を登録するときは、市外局番は必要ありません。
- 登録を途中で中止したいときは、受話器を上げるか **設定** ボタンを押してください。**保留** ボタンを押す前であればいつでも中止できます。
- 登録中に外線から着信があると、スピーカから話中着信音「ピー」が鳴り **外線** ボタンのランプが赤色に速く点滅します。点滅している **外線** ボタンを押すと登録を中止して応答できます。ただしデータ設定が必要ですので工事保守店にご相談ください。
- ステップ5で、電話番号の間にポーズ(3秒)を入れるときは **外線** ボタンを押してください。ポーズは“-”で表示されます。主装置が構内交換機(PBX)に接続されているときは、ポーズは自動的に入ります。また、スペースを入力するときは **マイク** ボタンを押してください。
- 主装置が構内交換機(PBX)に接続されているときは、電話番号の前に0などの外線呼出番号を付けて設定する必要があります。工事保守店にご相談ください。

登録した内容を確認する

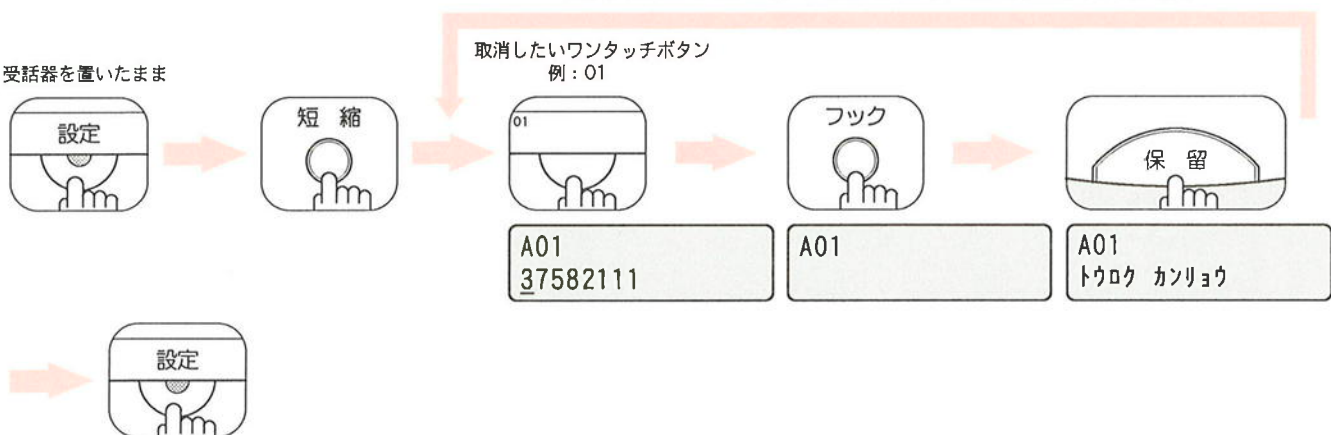
- 受話器を置いたまま



登録した内容を取消す

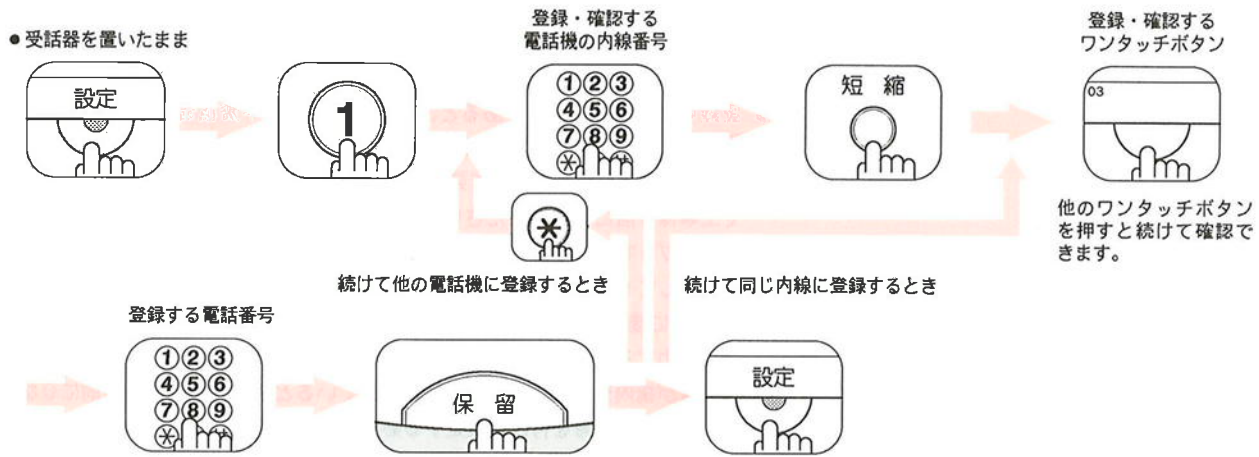
続けて他のワンタッチボタンを取消すときは、この操作を繰り返してください。

- 受話器を置いたまま



- 取消しを途中で中止したいときは、**保留** ボタンを押す前までに受話器を上げるか **設定** ボタンを押してください。

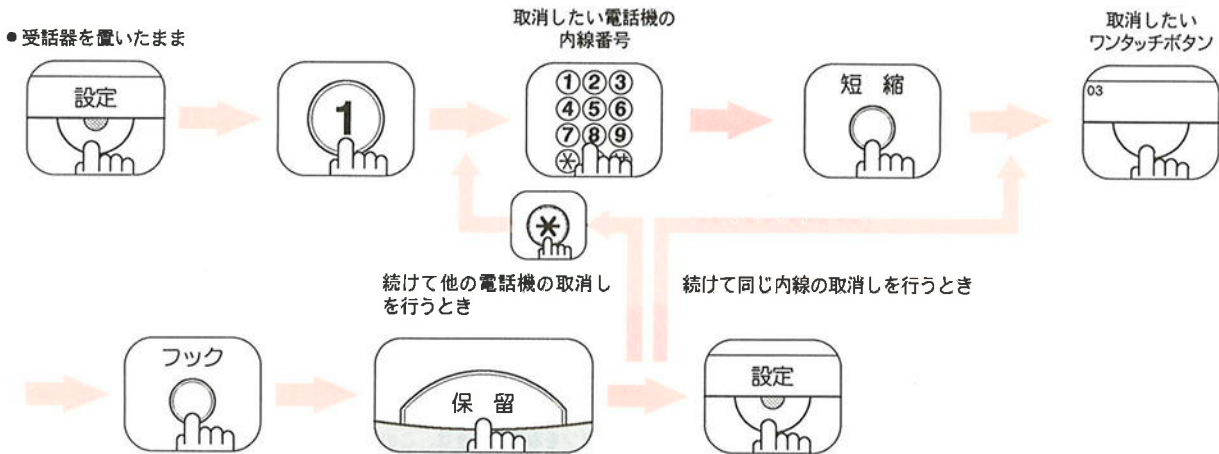
マスター電話機で他の電話機のワンタッチボタンを登録・確認する



注意

- 一般電話機の内線番号には登録できません。

マスター電話機で他の電話機のワンタッチボタンを取消す



短縮ダイヤルの登録のしかた

短縮ダイヤルは2桁（00～99）の番号で登録します。90～99は電話機ごとに登録できる電話機別短縮ダイヤルです。00～89は全電話機共通のシステム短縮ダイヤルで、**マスター電話機**から登録します。

例えば、短縮ダイヤル90に3758-2111を登録します。

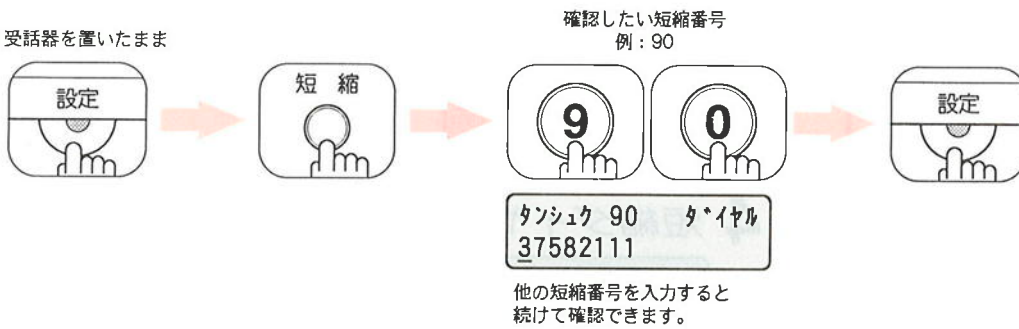
- 1 受話器を置いたまま
- 2 **設定** ボタンを押す
 セッテイ_ ● 設定ランプ: 点灯
- 3 **短縮** ボタンを押す
 タンシユク _ 90-99 ← マスター電話機では“00-99”と表示します。
- 4 短縮ダイヤル番号90を入力する
 タンシユク 90 タイヤル
 すでに登録されている場合は、その内容が表示されます。
- 5 電話番号を入力する
 タンシユク 90 タイヤル
 37582111_
 カースル
 間違って入力したときは、**▼/▲** ボタンを押して訂正したい桁にカーソルを移動させて入力なおしてください。略称を入力したいときは、電話番号を入力した後、**リダイヤル** ボタンを押してください (⇒P.82)。
- 6 **保留** ボタンを押す
 タンシユク 90
 トウク カンリョウ
 設定確認音「ピッピー」が鳴ると登録は終了です。続けて他の短縮ダイヤルを登録するときは、操作4～6を繰返してください。
- 7 **設定** ボタンを押す
 8/10 TUE 10:00
 内11 ○ 設定ランプ: 消灯



- 市内番号を登録するときは、市外局番は必要ありません。
- 登録を途中で中止したいときは、受話器を上げるか **設定** ボタンを押してください。**保留** ボタンを押す前であればいつでも中止できます。
- 登録中に外線から着信があると、スピーカから話中着信音「ピー」が鳴り **外線** ボタンのランプが赤色に速く点滅します。点滅している **外線** ボタンを押すと登録を中止して応答できます。ただしデータ設定が必要ですので工事保守店にご相談ください。
- ステップ5で、電話番号の間にポーズ（3秒）を入れるときは **外線** ボタンを押してください。ポーズは“-”で表示されます。主装置が構内交換機（PBX）に接続されているときは、ポーズは自動的に入ります。また、スペースを入力するときは **マイク** ボタンを押してください。
- 主装置が構内交換機（PBX）に接続されているときは、電話番号の前に0などの外線呼出番号を付けて設定する必要があります。工事保守店にご相談ください。

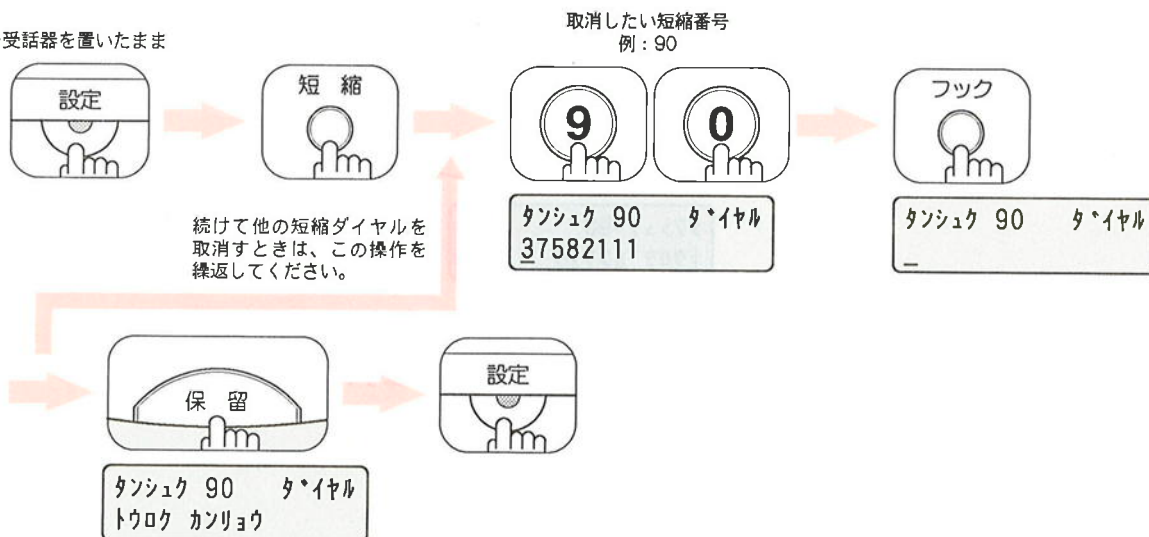
登録した内容を確認する

●受話器を置いたまま



登録した内容を取消す

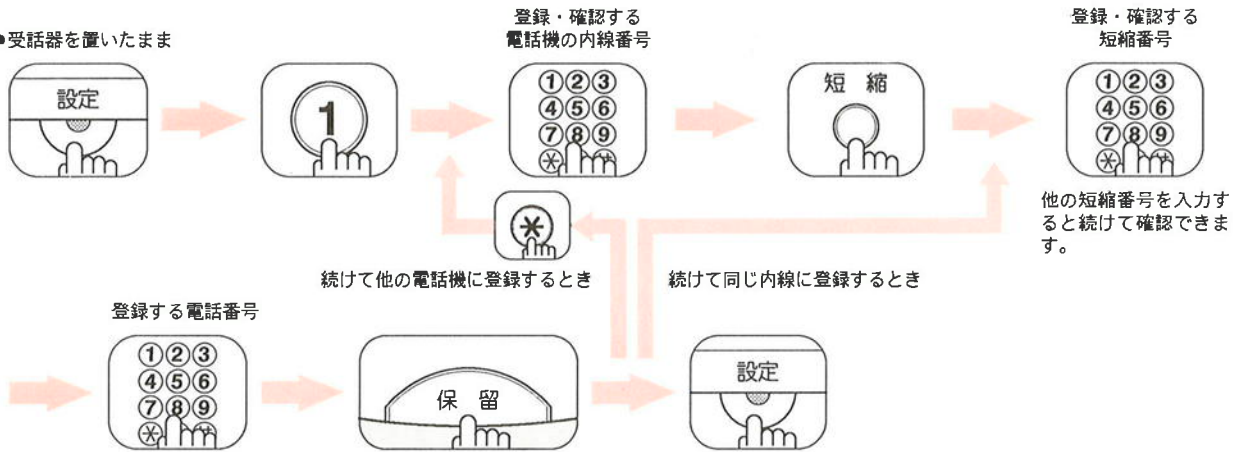
●受話器を置いたまま



- 取消しを途中で中止したいときは、**保留** ボタンを押す前までに受話器を上げるか **設定** ボタンを押してください。

マスター電話機で他の電話機の短縮ダイヤルを登録・確認する

●受話器を置いたまま



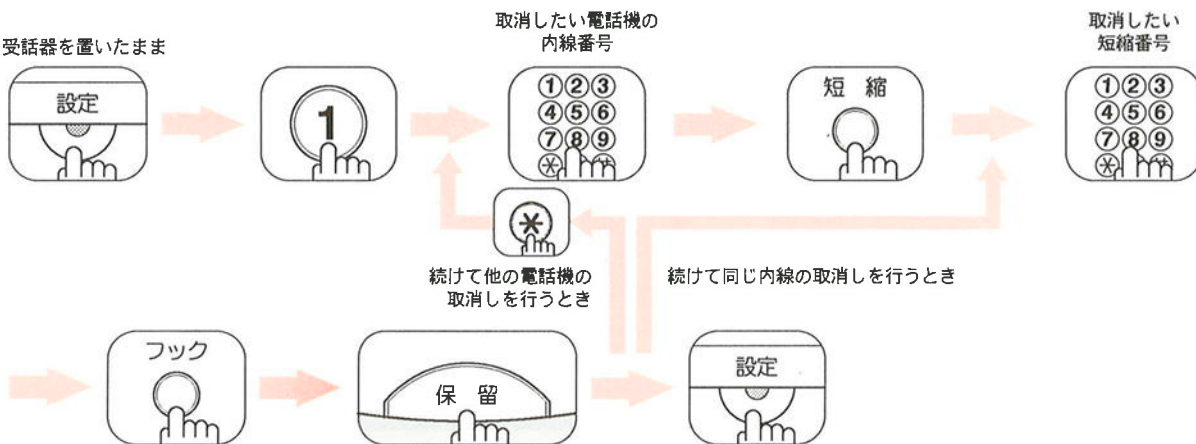
他の短縮番号を入力すると続けて確認できます。

注意

- 一般電話機の内線番号には登録できません。

マスター電話機で他の電話機の短縮ダイヤルを取消す

●受話器を置いたまま



略称の入力

ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルには相手の電話番号とともに16桁までの相手の氏名や会社名などの略称が登録できます。登録された略称は、ワンタッチダイヤルの番号または短縮番号、そしてそれらの電話番号とともに表示されます。

(略称の表示例)

短縮ダイヤル

37582111
キヤノン

相手の氏名・会社名など

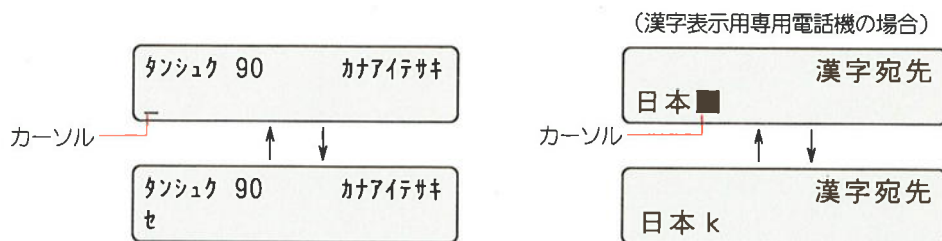
(操作手順の概略)

略称は登録の途中で電話番号を入力したあと **リダイヤル** ボタンを押すことから始めます。

ワンタッチダイヤルの登録	設定 短縮 ワンタッチ 電話番号 リダイヤル 略称入力 リダイヤル 保留 設定
短縮ダイヤルの登録	設定 短縮 短縮番号 電話番号 リダイヤル 略称入力 リダイヤル 保留 設定
略称の取消し	設定 短縮 ワンタッチ または短縮番号 リダイヤル フック 保留 設定

カーソルの表示について

- 文字を入力する位置にはカーソルが点滅で表示されます。また、文字を入力すると、カーソルと文字が交互に表示されます。



- カーソルは **▼/▲** ボタンで移動できます。

(入力文字と入力モード)

入力する文字はダイヤルボタンを押す回数で決めます。また、カナ文字入力モードと英文字入力モードは「スピーカ」ボタンを押して切替えます。

		「スピーカ」ボタンのランプが消灯時は カナ文字入力モード												「スピーカ」ボタンのランプが点灯時は 英文字入力モード							
		ダイヤルボタンを押す回数												ダイヤルボタンを押す回数							
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	
ダイヤル ボタン	①	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	オ			①	1	A	B	a	b		
	②	カ	カ	キ	キ	ク	ク							②	2	C	D	c	d		
	③	サ	サ	シ	シ	ス	ス	セ	セ	ソ				③	3	E	F	e	f		
	④	タ	タ	テ	テ	ツ	ツ	テ	ト					④	4	G	H	g	h		
	⑤	ナ	ナ	ニ	ニ	ヌ	ヌ	ネ	ネ	ノ				⑤	5	I	J	i	j		
	⑥	ハ	ハ	ヒ	ヒ	フ	フ	ヘ	ヘ	ホ				⑥	6	K	L	k	l		
	⑦	マ	マ	ミ	ミ	ム	ム	メ	メ	モ				⑦	7	M	N	m	n		
	⑧	ヤ	ヤ	ユ	ユ	ル	ル	ユ	ヨ	ヨ				⑧	8	O	P	o	p		
	⑨	ラ	ラ	リ	リ	ル	ル	レ	ロ					⑨	9	Q	R	q	r		
	⑩	ワ	ワ	ヰ	ヰ									⑩	0	S	T	s	t		
	ⓧ	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	”	ⓧ	*	U	V	W	u	v	w
	ⓧ	空白	—	.	,	.	'	:	<	>	?	!	ⓧ	#	X	Y	Z	x	y	z	

例えば“セ”は「スピーカ」ボタンのランプが消灯の状態
ダイヤルボタンの「3」を4回押すと入力できます。

(入力例)

短縮ダイヤル90に06-945-2851を入力したあと、略称“ゼロ A”を入力します。

リダイヤル → 3 (4回押す) → * (1回押す) → 9 (5回押す)

タンシュク 90 カナアテサキ
_ タンシュク 90 カナアテサキ
セ タンシュク 90 カナアテサキ
セ* タンシュク 90 カナアテサキ
セ*0

音量 (2回押す) → スピーカ (英文字入力モードにする) → 1 (2回押す) → リダイヤル (終了)

タンシュク 9 カナアテサキ
セ*0_ タンシュク 90 イスウシ*
セ*0_ タンシュク 90 イスウシ*
セ*0 A タンシュク 90
069452851

● スピーカランプ：点灯 ○ スピーカランプ：消灯



- 入力した文字や数字を訂正するときは、 ボタンを押してカーソルを変更したい文字に置き、再び入力してください。
- ダイヤルボタンまたは ボタンを押すと入力した文字が確定します。

漢字を入力する

(イーちてんじやまてん)

漢字表示用の専用電話機では、略称に10桁までの漢字と16桁までのひらがな・カタカナ・英文字を入力することができます。漢字は1文字ずつその読みをひらがなで入力し、漢字に変換します。

(入力例)

短縮ダイヤル92に092-411-9811を入力したあと、略称“日本k”を入力します。

	→		→		→		→
漢字宛先		に	漢字宛先	にち	漢字宛先	1日	
	→		→		→		→
漢字宛先		ほ	漢字宛先	ほん	漢字宛先	1奔2本3翻	
	→		→		→		
漢字宛先		日本	漢字宛先	日本k	漢字宛先	短縮 92	カナ宛先



- 同音語の中に希望する漢字が見つからないときは、再度 **保留** ボタンを押してください。次の同音語が表示されます。前の同音語にもどすときは **▼** を押します。
- 漢字宛先とカナ宛先の切替えは **リダイヤル** ボタンで行います。
- **スピーカ** ボタンを押すごとにランプは点滅→消灯→点灯を繰り返します。点滅時はひらがな文字入力モード、点灯時は英文字文字文字入力モード、消灯時はカタカナ文字入力モードとなります。
- ダイヤルボタンまたは **▲** ボタンを押すと入力した文字が確定します。
- 漢字の読みは漢字一覧 (⇒P.127) を参照してください。
- 間違って入力した漢字は **▼/▲** ボタンでそこまでカーソルを移動し、入力しなおしてください。

(漢字入力時の入力文字と入力モード)

スピーカ ボタンのランプが点滅時はひらがな文字入力モード

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
①	あ	あ	い	い	う	う	え	え	お	お					
②	か	あ	く	け	こ	が	ぎ	ぐ	げ	ご					
③	さ	し	す	せ	そ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ					
④	た	ち	つ	っ	て	と	だ	ぢ	づ	で	ど				
⑤	な	に	ぬ	ね	の										
⑥	は	ひ	ふ	へ	ほ	ば	び	ぶ	べ	ぼ	び	ぶ	べ	ぼ	
⑦	ま	み	む	め	も										
⑧	や	ゃ	ゆ	ゆ	よ										
⑨	ら	り	る	れ	ろ										
⑩	わ	を	ん												
ⓧ	()	+	-	=	/	¥	\$	%	&					
ⓧ	空白	-	.	,	.	'	:	<	>	?	!				

スピーカ ボタンのランプが消灯時はカタカナ文字入力モード

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
①	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	オ					
②	カ	ア	ク	ケ	コ	ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ					
③	サ	シ	ス	セ	ソ	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ					
④	タ	チ	ツ	ッ	テ	ト	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド				
⑤	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ										
⑥	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	バ	ビ	ブ	ベ	ボ	バ	ビ	ブ	ベ	ボ
⑦	マ	ミ	ム	メ	モ										
⑧	ヤ	ャ	ユ	ユ	ヨ										
⑨	ラ	リ	ル	レ	ロ										
⑩	ワ	ヲ	ン												
ⓧ	()	+	-	=	/	¥	\$	%	&					
ⓧ	空白	-	.	,	.	'	:	<	>	?	!				

スピーカ ボタンのランプが点灯時は英文字入力モード

ダイヤルボタン	ダイヤルボタンを押す回数						
	1	2	3	4	5	6	7
①	1	A	B	a	b		
②	2	C	D	c	d		
③	3	E	F	e	f		
④	4	G	H	g	h		
⑤	5	I	J	i	j		
⑥	6	K	L	k	l		
⑦	7	M	N	m	n		
⑧	8	O	P	o	p		
⑨	9	Q	R	q	r		
⑩	0	S	T	s	t		
ⓧ	*	U	V	U	v	w	
ⓧ	#	X	Y	Z	x	y	z

例えば“k”は **リダイヤル** ボタンを押してカナ宛先にし、**スピーカ** ボタンのランプが点灯の状態ダイヤルボタンの **6** を4回押すと入力できます。

メモした電話番号をそのまま登録する

セーブダイヤル



メモダイヤル (⇒P.20) に記憶されている電話番号をそのままワンタッチオートダイヤルや短縮ダイヤルに登録できます。

例えば、**ワンタッチ** ボタン09にメモダイヤルの内容(3758-2111)を登録します。

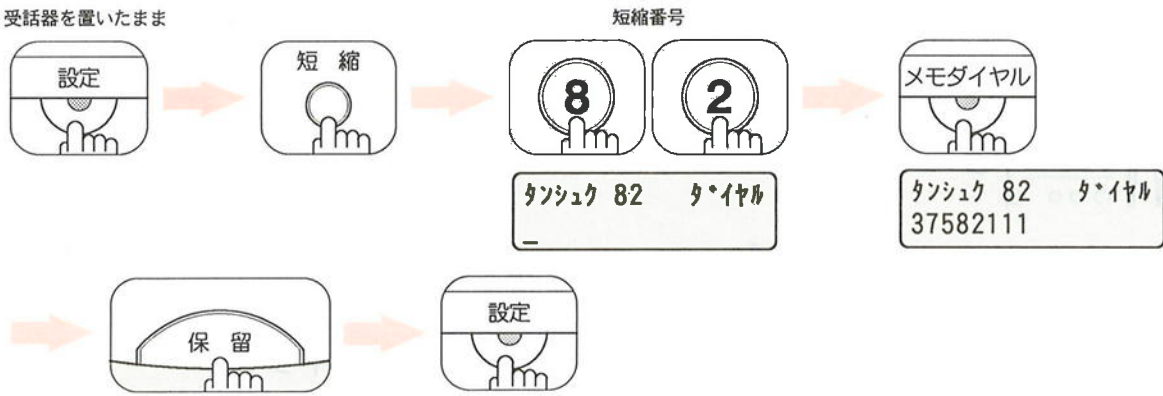
- 1 受話器を置いたまま
- 2 **設定** ボタンを押す
 セッテイ_ ● 設定ランプ: 点灯
- 3 **短縮** ボタンを押す
 タンシユク _ 90-99 ← マスター電話機では“00-99”と表示します。
- 4 **ワンタッチ** ボタン09を押す
 A09 現在設定されている番号や機能があれば、その内容が表示されます。
- 5 **メモダイヤル** ボタンを押す
 A09 37582111 メモダイヤルに記憶されている電話番号が表示されます。
- 6 **保留** ボタンを押す
 A09 トウロク カンリョウ 設定確認音「ビッビー」が鳴ると登録は終了です。
- 7 **設定** ボタンを押す
 8/10 TUE 10:00 内11 ○ 設定ランプ: 消灯



● 登録を途中で中止したいときは、**保留** ボタンを押す前までに受話器を上げるか **設定** ボタンを押してください。

短縮ダイヤル 82 にメモダイヤルの内容を登録するとき

●受話器を置いたまま



機能ボタンを設定する

フレキシブルキーアサイン



業務内容に応じて、電話機を使いやすくするために必要な機能を機能ボタンや外線ボタンに設定することができます。

- 1 受話器を置いたまま
- 2 **フック** ボタンを押す
トリケン
- 3 受話器をとる
キノウ
- 4 設定する機能ボタン
または外線ボタンを押す
ファンクションNo. =105 現在設定されている機能があれば、その内容が表示されます。
アラーム
- 5 **0 0 0** を押す
ファンクションNo. =_ すでに設定されている機能が消去されます。はじめて設定を行うときはこの操作は必要ありません。
- 6 設定する機能の機能コードを入力する
機能コード108（ドアホン）を入力した例
ファンクションNo. =108
ドアホン
- 7 受話器をもどす
8/10 TUE 10:00
内11



- 続けて機能を設定するときは、受話器をもどさずにステップ4~6を繰り返してください。
- 設定した内容を消去する場合は、ステップ5で **0 0 0** のあと受話器をもどしてください。変更する場合は設定するときと同じ操作です。

(機能コード一覧)

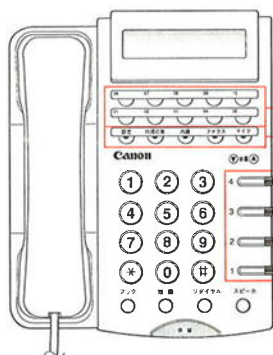
必要に応じて次の中から選ぶことができます。

機能コード	機能ボタンの名称	参照ページ	機能コード	機能ボタンの名称	参照ページ
100	設定	76	114	メモダイヤル	20
101	代理応答	32	115	伝言	44
102	内線	25	116	フラッシュ	21
103	ファクス	56	117	電話帳	22
104	マイク	65	* 118	夜間/休日	108
105	アラーム	95	* 119	夜間発信	99
106	不在	45	* 120	LCR オフ	61
107	自己保留	51	210~299	内線呼出、内線状態表示 (下2桁が内線番号です)	29
108	ドアホン	68			
109	会議通話	66			
110	一斉	38			
111	キャンプオン	34	301~304	外線ボタンの割付け (下2桁が 外線 ボタンの番号です)	92
112	放送	69			
113	オートダイヤラ	71			



- * はマスター電話機にのみ登録できます。また、**マイク** ボタンはディスプレイ付きの専用電話機にのみ設定できます。

(機能が設定できるボタン)



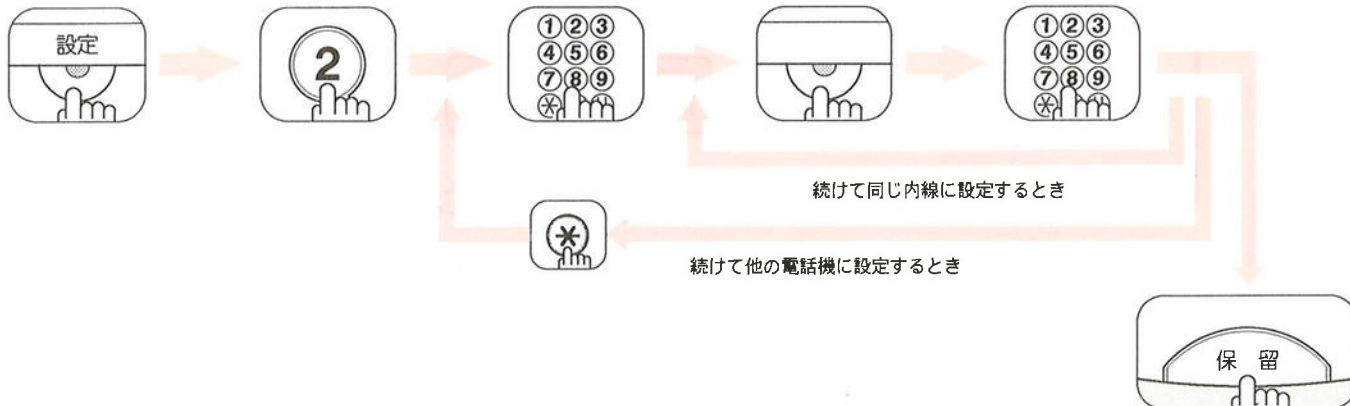
未使用のワンタッチボタン：プログラマブルキー (⇒P.90) として (ランプなし)
機能ボタン (ランプ付き)

機能ボタン (ランプ付き)

未使用の外線ボタン (ランプ付き)

マスター電話機で他の電話機に機能を設定する

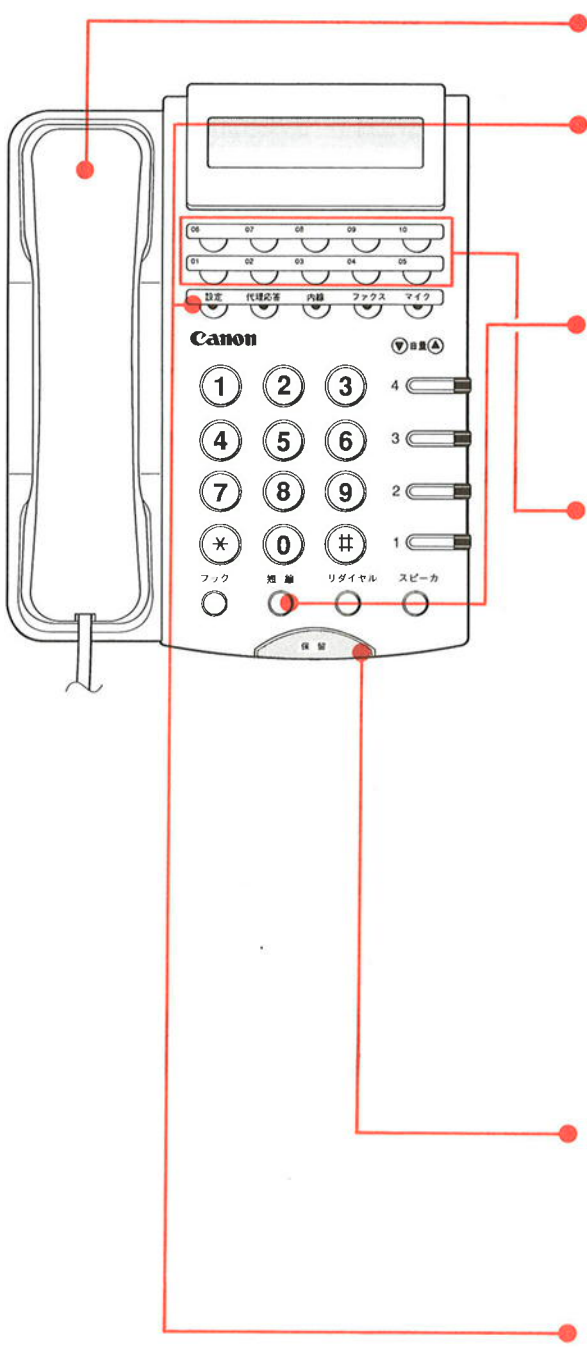
- 受話器を置いたまま



ワンタッチボタンに機能や操作を登録する プログラマブルキー



通常、ワンタッチボタンは本来の機能のワンタッチオートダイヤルとして使用しますが、例えば、会議室の内線に不在転送する操作をワンタッチボタンに登録しておけばワンタッチで不在転送が設定できます。また、機能を登録すれば機能ボタンになります。

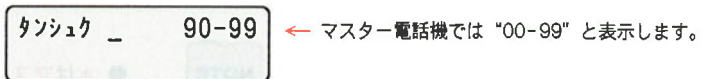


1 受話器を置いたまま

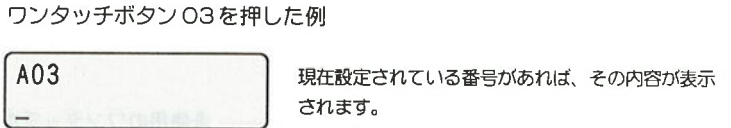
2 設定 ボタンを押す



3 短縮 ボタンを押す

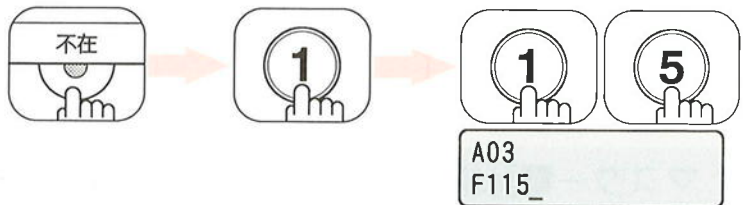


4 登録するワンタッチボタンを押す



5 登録する一連の操作をする

例えば、内線番号15へ不在転送 (⇒P.46) を設定する操作を登録するとき



6 保留 ボタンを押す



7 設定 ボタンを押す





- 登録を途中で中止したいときは受話器を上げるか **設定** ボタンを押してください。**保留** ボタンを押す前であればいつでも中止できます。
- 登録内容の確認を行うと、機能ボタンは“F”とディスプレイに表示されます。また **▼/▲** ボタンで“F”にカーソルを合わせると、その機能名が表示されます。機能コードでも入力できます。入力できる機能コードは100番台だけです。

A01
E

- プログラマブルキーの登録内容の確認、変更、取消しのしかたは、ワンタッチオートダイヤル (⇒P.76) と同じです。
- **設定**、**リダイヤル**、**外線**、**短縮**、**保留**、**フック** および **マイク** ボタンを登録に使用するとき、受話器をとってからそれぞれのボタンを押してください。また、**#** ボタンを使用するときは続けて2回押してください。ただし、**ワンタッチ**、**スピーカ**、**▼/▲**、**内線呼出** ボタン、未使用の **外線** ボタンおよび未設定の機能ボタンは登録できません。

ワンタッチボタンに機能を登録する

● 受話器を置いたまま



登録するワンタッチボタン



機能コード (⇒P.89)



- ワンタッチボタンにランプは付きません。

プログラマブルキーの使いかた

受話器を置いたまま



登録されている



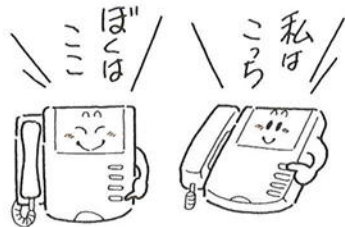
不在設定の操作が登録されている場合の表示例

テソウサキナイセン=15

8/10 TUE 10:00
フサ・イ

外線ボタンの割付けを変更する

外線ボタン割付



外線は電話機ごとに任意の **外線** ボタンに割付けられます。

例えば、外線ボタンの3番を4番の外線に変更するとき

- 1 受話器を置いたまま
- 2 **フック** ボタンを押す
トリケン
- 3 受話器をとる
キノウ
- 4 割付ける **外線** ボタン3を押す
ファンクションNo. =303 現在設定されている外線番号があれば、その内容が表示されます。
- 5 **0** ***** **#** を押す
ファンクションNo. =_ 現在の登録を消去します。
- 6 外線ボタン4の機能コード304を入力する
ファンクションNo. =304
#04
- 7 受話器をもどす
8/10 TUE 10:00
内11

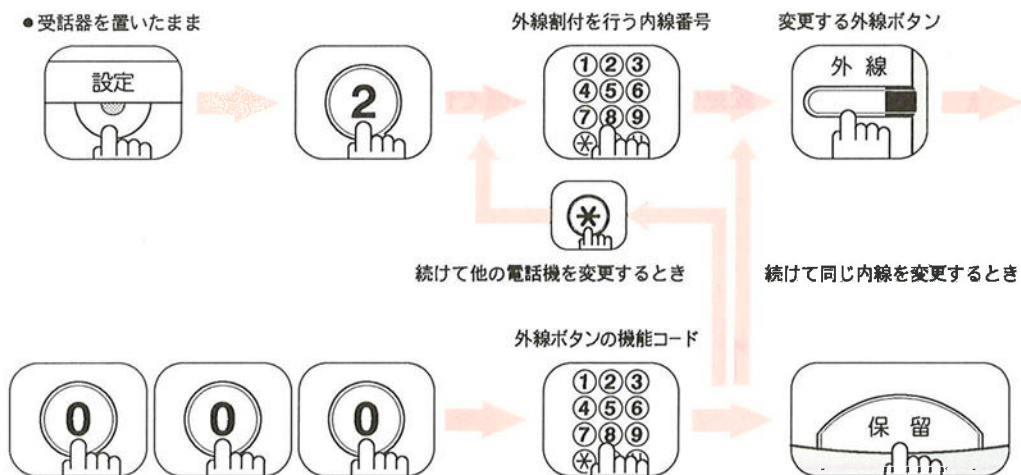


NOTE

- 続けて割付けるときは、受話器をもどさずにステップ4~6を繰返してください。
- 外線ボタンの機能コードは301~304（下2桁が外線ボタンの番号）です。

マスター電話機で他の内線の外線割付を変更する

●受話器を置いたまま

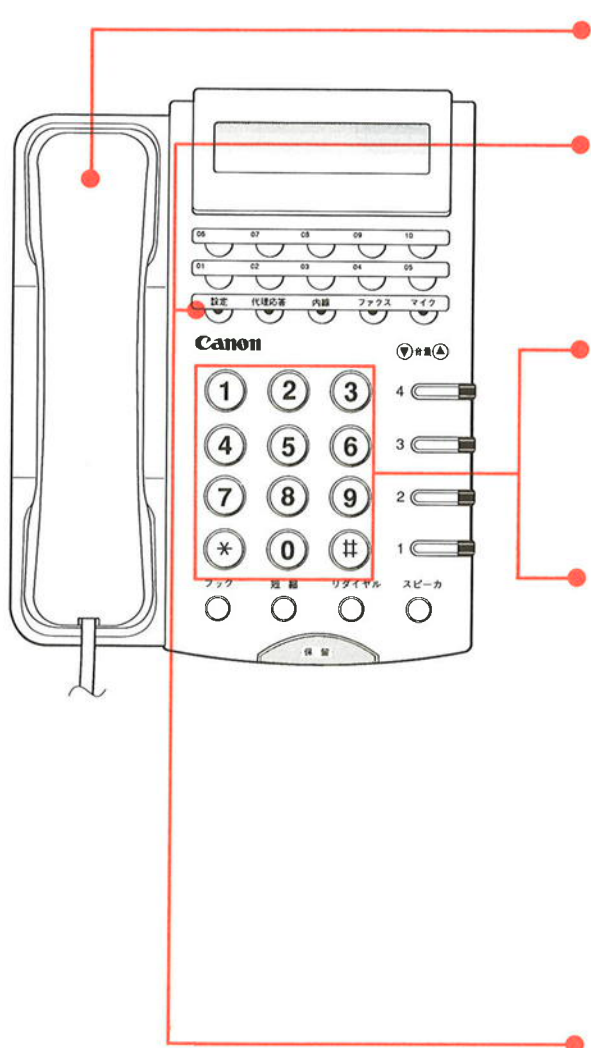


日時を合わせる

時計表示



正しい年月日、時刻を時計にあわせて設定します。設定および変更は**マスター電話機**で行います。



1 受話器を置いたまま

2 **設定** ボタンを押す

セッテイ_

● 設定ランプ: 点灯

3 **#** ボタンを押す

YYMMDDHHmmW ニチシ*
92122411000

(YY:年 HH:時
MM:月 mm:分
DD:日 W:曜日)

現在設定されている日時が表示されます。

4 日時を入力する

年は西暦の末尾2桁を入力します。月日は必ず2桁で入力します。時間は必ず24時間制で入力します。曜日は下表に従って設定します。

W	0	1	2	3	4	5	6
曜日	日	月	火	水	木	金	土

例: 1993年8月10日 午前10時(火)

→ 9 3 0 8 1 0 1 0 0 0 2

YYMMDDHHmmW ニチシ*
93081010002

5 **設定** ボタンを押す

8/10 TUE 10:00
内11

○ 設定ランプ: 消灯



- 時計は12時間制、24時間制どちらでも表示させることができます。ただし、データ設定が必要ですので工事保守店にご相談ください。
- 漢字表示機能がついた専用電話機の場合は、漢字で表示されます。

8月 10日 (火) 10:00
内11

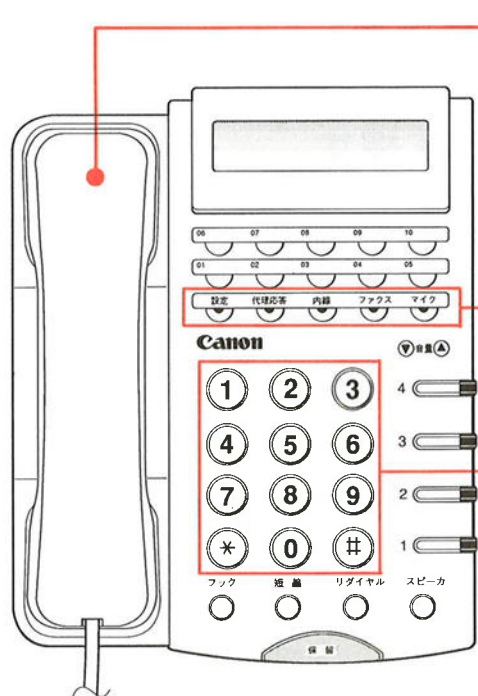
時報やアラームを鳴らす

アラーム

キーサイン

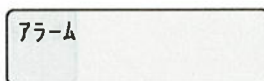


アラームは電話機ごとに設定できます。取消しをするまで毎日指定時刻にスピーカからアラームが鳴ります。あらかじめ機能ボタンに **アラーム** ボタンを設定してください (⇒P.88)。



1 受話器を置いたまま

2 **アラーム** ボタンを押す



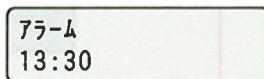
注意

- **アラーム** ボタンを押してから10秒以内に時刻の入力を開始しないと登録はキャンセルされます。

3 時刻を入力する

時刻は24時間制で入力します。

例：午後1時30分 → **1** **3** **3** **0**



- アラームランプ：点灯
5秒後に日時表示にもどります。



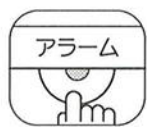
NOTE

- アラーム音は15秒間鳴ります。アラーム音を止めたいときは任意のボタンを押してください。
- ステップ2の時刻の指定で“分”だけ指定すると、毎時、指定した“分”にアラームが鳴ります。

例：時報 → ***** ***** **0** **0**

アラームの設定を取消す

受話器を置いたまま



内容が確認できます



10秒以内に押してください

Part 4

登録と設定

内線の名称を表示する

内線名称表示

自分の電話機に自分の名前を表示したり、かけた相手の名前を表示させることができます。設定は**マスター電話機**で行います。



- 1 受話器を置いたまま
- 2 **設定** ボタンを押す
 セッテイ_ ● 設定ランプ：点灯
- 3 **3** を押す
 内_ ナイセン メイショウ
- 4 名前を登録したい内線番号を入力する
 内15 カナメイショウ
- 5 表示させたい名前を入力する
 内15 カナメイショウ ヤマト 入力のはかたは83ページをご覧ください。最大10桁の文字を入力することができます。
- 6 **設定** ボタンを押す
 8/10 TUE 10:00 内11 ○ 設定ランプ：消灯



NOTE

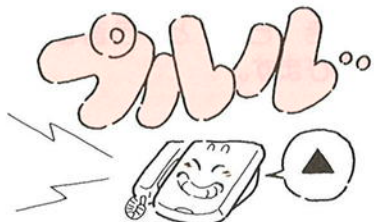
● 受話器を置いた状態での表示は以下ようになります。

8/10 TUE 10:00 ヤマモト 内11	8月10日 (火) 10:00 山本 内11
----------------------------	---------------------------

● 内線へかけたときの表示は以下ようになります。

内12 タカ	内12 田中
--------	--------

音量を調節する

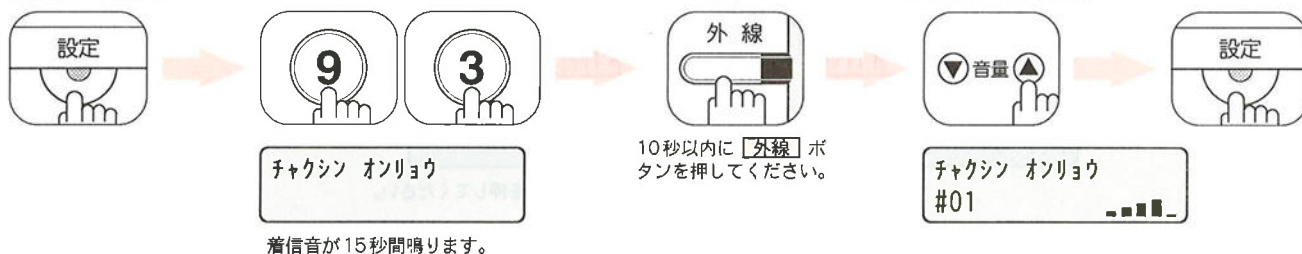


音量調節

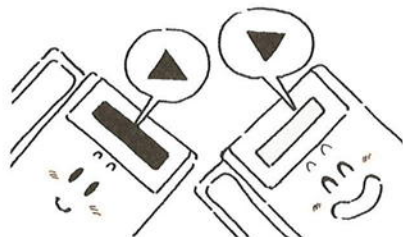
▼/▲ ボタンを押すことによって着信音、受話音、スピーカ音の音量が調節できます。着信音は着信ベルが鳴っている間に、受話音は通話中に、スピーカ音はスピーカ受話中に調節します。音量を上げるときは ▲ を、音量を下げるときは ▼ を押してください。

着信していないときに着信音量を調節する（着信音量調節）

●受話器を置いたまま



ディスプレイの濃さを調節する



LCD 表示濃度調節

ディスプレイの濃さが6段階に調節できます。濃くするときには ▲ を、薄くするときには ▼ を押してください。

●受話器を置いたまま



ボタンを押すと音が鳴る

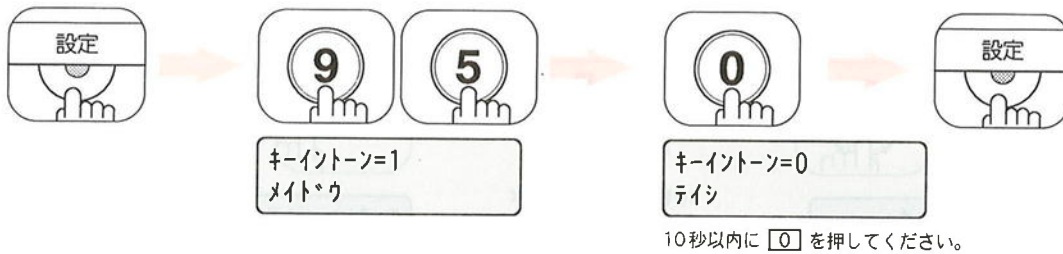
キーイントーン



専用電話機のボタンを押したとき「ピッ」という音を鳴らします。これをキーイントーンと呼びます。

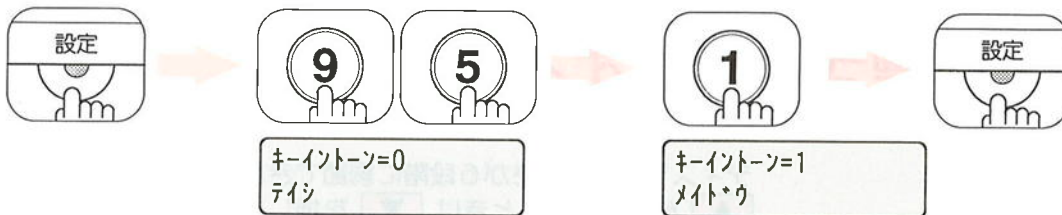
(音を鳴らしたくないとき)

●受話器を置いたまま



(音を鳴らすとき)

●受話器を置いたまま



発信できない番号を設定する

ダイヤル発信規制

データ設定



すべての電話機で特定の番号をダイヤルしても発信できないように設定できます。これにより、天気予報(177)やダイヤルQ²(0990)への発信が規制できます。また、電話機ごとに発信できない外線を設定することができます(外線別発信規制)。これにより、着信専用の外線が設定できます。ただし、データ設定が必要ですので工事保守店にご相談ください。

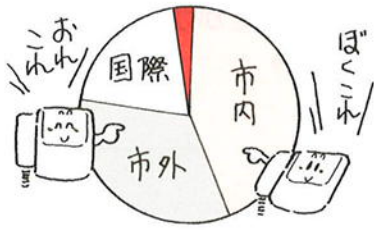


- 外線用の電話機(⇒P.8)では発信を規制した外線以外の発信テナント(⇒P.33)内の空いている外線が自動的に選択されます。

発信できる区域を設定する

サービスクラス

データ設定



電話機ごとにサービスクラス（発信可能区域）を設定して外線発信を規制することができます。

●各サービスクラスを設定したときの規制は以下のようになります。

サービスクラス表

○：発信可能 ×：発信規制

サービスクラス	システム共通短縮ダイヤル	内線通話	PBX内線通話	市内通話	特定の市外通話	市外通話	国際電話
00	○	○	○	○	○	○	○
10	○	○	○	○	○	○	×
11	×	○	○	○	○	○	×
20	○	○	○	○	○	×	×
21	×	○	○	○	○	×	×
30	○	○	○	○	×	×	×
31	×	○	○	○	×	×	×
40	○	○	○	×	×	×	×
41	×	○	○	×	×	×	×
50	○	○	×	×	×	×	×
51	×	○	×	×	×	×	×



- サービスクラスが00の内線でも、ダイヤル発信規制が設定されている場合は発信できません。
- サービスクラスで規制された区域に電話をかけようとする時、規制音「ツ・ツ」が鳴ります。
- サービスクラスの設定や特定市外区域の設定の詳細については工事保守店にご相談ください。

Part 4

登録と設定

サービスクラスを昼間用・夜間用に切替える

キーサイン データ設定



夜間発信 ボタンを押して、サービスクラスを昼間用または夜間用に切替えることができます。**夜間発信** ボタンのランプが点灯中は、全内線が夜間用のサービスクラスになります。あらかじめ**マスター電話機**の機能ボタンに**夜間発信** ボタンを設定してください（⇒P.88）。

電話機ごとに通話予算を設定する

予算管理発信規制



通話料金が予算額を超えたとき電話をかけられなくします。設定は、**マスター電話機**で行います。

- 1 受話器を置いたまま
- 2 **設定** ボタンを押す

セッテイ_

● 設定ランプ: 点灯
- 3 **0** **2** を押す

リョウキンヒョウシキ 内_

- 4 予算を設定する内線番号を入力する
 内線 15 の例

内15	8500円	現在の通話料金と料金集計を開始した日時が表示されます。
11/20	15:00ヨリ	
- 5 ***** ボタンを押す

内15	8500円
ヨサン	_ 0円
- 6 予算を設定する

内15	8500円	間違って入力したときは、 フック ボタンを押して入力しなおしてください。予算額は6桁まで入力できます。
ヨサン	10000円	
- 7 ***** ボタンを押す

内15	8500円	"キセイ" と表示されます。
ヨサン キセイ	10000円	
- 8 **設定** ボタンを押す

8/10 TUE	10:00	○ 設定ランプ: 消灯 確認音「ビッピー」が鳴ります。
	内11	

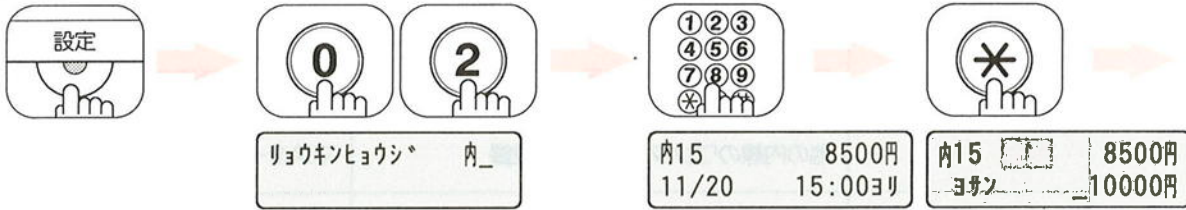


- ステップ4で内線番号00をダイヤルすると、全内線への予算設定になります。
- ステップ7の操作を省略した場合は予算設定のみで、発信規制は行いません。
- 続けて、他の内線の予算を設定する場合はステップ4~7を繰り返してください。

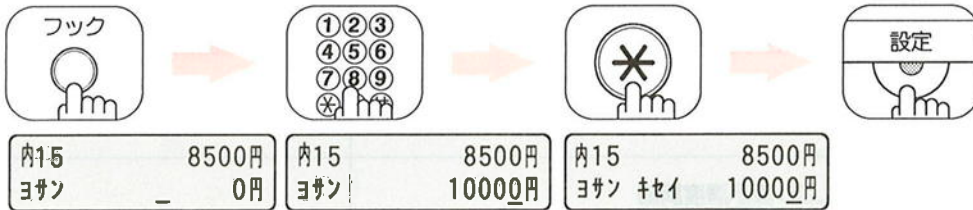
予算額を変更する

●受話器を置いたまま

変更する電話機の内線番号



予算額を入力する



設定特番一覧

特番・ボタン	機能名	備考
#	時計表示	
0 1	料金集計表示	マスター電話機のみ
0 2	内線別料金集計表示 予算管理発信規制	マスター電話機のみ
0 3	テナント別料金集計表示	マスター電話機のみ
1	他の内線のワンタッチ/短縮登録	マスター電話機のみ
2	他の内線のフレキシブルキーアサイン	マスター電話機のみ
3	内線名称表示	マスター電話機のみ
4 ~ 8	(予備)	
9 0	LCD表示濃度調節	
9 1	自己情報表示	
9 2	自己料金表示	
9 3	着信音量設定	
9 4 1 9 4 2	LCR判定基準 (3分) LCR判定基準 (1分)	
9 5 0 9 5 1	キーイントーン (なし) キーイントーン (あり)	
9 6 0 9 6 1	ハンドセット通話 ヘッドセット通話	
保留	保留メロディ選択	マスター電話機のみ
外線	着信モード個別切替	マスター電話機のみ
短縮	ワンタッチ/短縮登録 セーブダイヤル、プログラマブルキー	
電話帳	電子電話帳登録	



PART 5

着信方式と料金表示

ここでは、本システムで設定できる着信方式や着信方式の切替えについて説明します。また、通信料金の計算方法と表示方法についても説明します。



本機の通話料金計算と表示は、NTTで集計した料金内容と一致しないことがあります。集計結果に差異が生じても、NTTに異義、申立てはできません。

着信方式の種類

本システムの着信方式には、外線から着信があったときデータ設定に従って内線電話機を鳴らす通常の着信方式のほかに6つの方式があります。データ設定が必要ですので工事保守店にご相談ください。

着信モードを切替えるには、電話機ごとに個別に切替える**着信モード個別切替**（⇒P.107）、全電話機まとめてあらかじめ設定したモードに切替える**夜間／休日切替**（⇒P.108）、曜日・時間帯で自動的に切替える**週間自動着信モード切替**（⇒P.109）の3つの方法があります。

集中着信

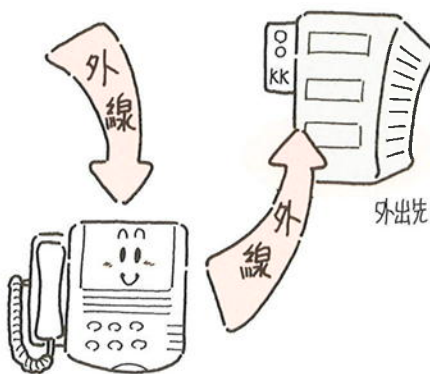


すべての外線からの電話を1台の電話機で集中して受けるようにします。夜間・休日で外線電話を留守所だけで受けたいときなどに便利です。

NOTE

- 集中着信する電話機では、不在設定および不在転送の登録は無視されます。
- 集中着信する電話機は、内線グループ（⇒P.33）に関係なく外線ごとに1台設定することもできます。
- 集中着信する電話機が話し中または着信中のときは **外線** ボタンのランプが点滅するだけで鳴動しません。
- 集中着信先の内線と同一着信テナント内（⇒P.33）の電話機であれば **外線** ボタンで応答できます。

自動転送電話



外線からの着信を、あらかじめ設定した外線に自動的に転送します。外出するときは**着信モード個別切替**（⇒P.107）で「自動転送電話」に設定してください。

外出からもどったときは着信モードをもどしてください。

NOTE

- 転送先の電話番号は、あらかじめシステム短縮ダイヤル（00～89）に登録しておく必要があります。
- この機能による通話は30分で切れます。通話が切れる30秒前に警告音「ピー」が鳴ります。
- 転送中はかかってきた外線と発信した外線の2つの **外線** ボタンが赤く点灯します。
- 転送先が話し中のときは、かかってきた外線に対して自動応答しません。
- 転送先は外線ごとに設定できます。

DIL 着信



特定の外線を特定の内線電話機1台でのみ受けるようにします。内線グループ(⇒P.33)に関係なく、外線ごとに電話機を1台設定することができます。



- 他の電話機では「外線」ボタンを押しても応答できません。内線代理応答(⇒P.32)はできます。
- 不在転送(⇒P.46)を設定しているときは、転送先にDIL着信が行われます。また、不在設定(⇒P.45)は無視され、通常の着信となります。
- 指定した電話機が20秒たっても応答しないときは、DIL着信から通常の着信になるように設定できます。

DID 着信



外線から、PB信号で直接内線を呼出します。外線から電話をかけると、主装置が確認音を出します。このとき続けてPB信号で内線番号をダイヤルすることにより、特定の内線を呼出することができます。



- 確認音が聞こえてから5秒以内に内線番号をダイヤルしないと、通常の着信となります。
- 着信後1分以内に応答しないと電話は切れます。話し中のときは、相手先に話中音「ツー・ツー・ツー」を出し、10秒で自動的に電話を切ります。
- PB信号で内線代表(⇒P.27)を呼出すこともできます。
- 着信音は設定に関係なく、鳴動パターン3で鳴ります。また、着信音が鳴っている電話機と同じ内線グループから内線代理応答(⇒P.32)ができます。

スライド着信

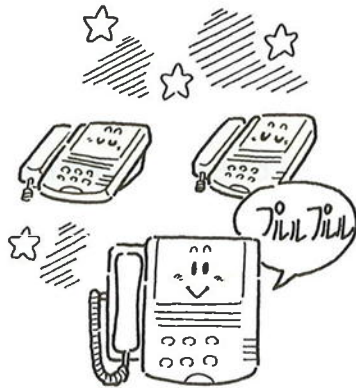


外線からの着信に一定時間（最長1分）応答がないとき、自動的に指定した内線へ着信させます。



- スライド先の内線は集中着信先と同じです。
- スライド先の内線が話し中のときはスライドしません。

夜間着信



夜間などに、かかってきた外線の着信音を鳴らす電話機を指定することができます。



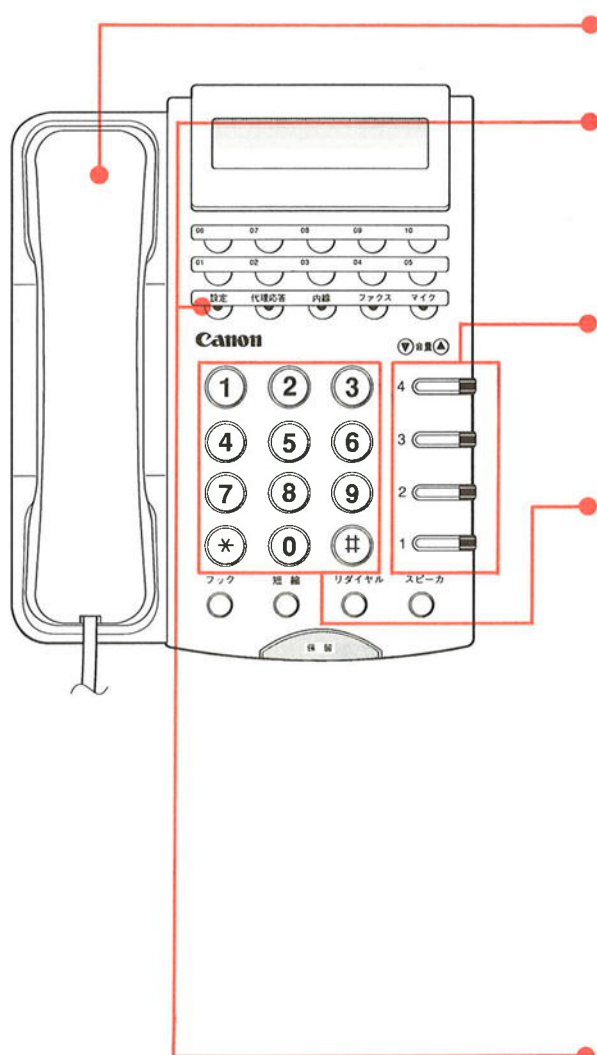
- 着信音が鳴っている電話機では、受話器をとるだけで応答できます。**外線** ボタンを押す必要はありません。
- データ設定で着信音を鳴らさなくすることができます。また、着信音が鳴っていても応答できないようにすることもできます。

着信モードを一時的に切替える

着信モード個別切替

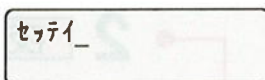


手動によって着信モードを外線ごとに一時的に切替えることができます。夜間などで、守衛所に集中着信するように設定されている場合、1つの外線だけを通常着信に設定したいときに便利です。



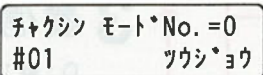
1 受話器を置いたまま

2 **設定** ボタンを押す



● 設定ランプ: 点灯

3 設定したい **外線** ボタンを押す

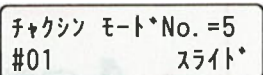


外線番号と現在設定されているモードが表示されます。

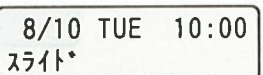
4 着信モード番号を入力する

- 0: 通常着信
- 1: 集中着信
- 2: 自動転送電話
- 3: DIL 着信
- 4: DID 着信
- 5: スライド着信
- 6: 夜間着信

5 を押したときの例



5 **設定** ボタンを押す



○ 設定ランプ: 消灯



NOTE

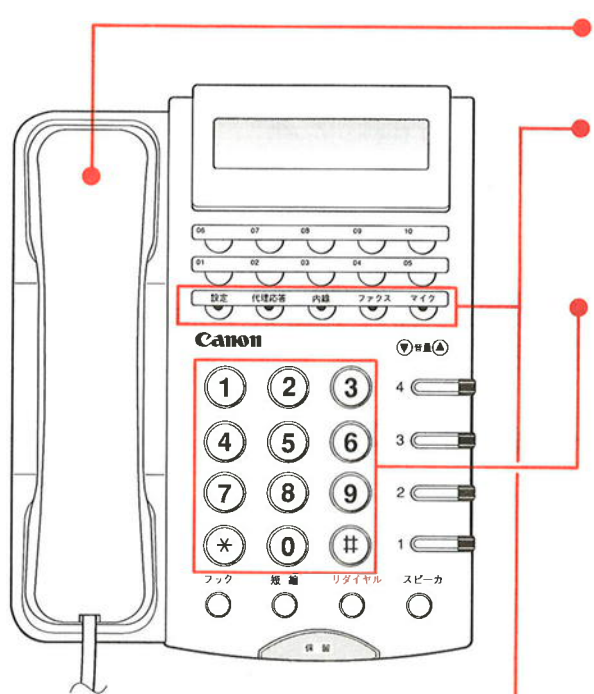
- 切替えは**マスター電話機**で行います。
- 週間自動着信モード切替 (⇒P.109) が設定されている場合は、切替時刻になると着信モードが自動的に切替わります。

夜間/休日用に着信モードを切替える 夜間/休日切替

キーサイン データ設定

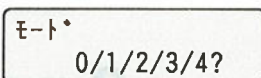


全外線の着信モードを手動によって昼1、昼2、夜1、夜2、休日のいずれかのモードに切替えることができます。夜間切替を行う時刻が不規則なときや臨時に休日切替をするときなどに、この操作を行います。データ設定が必要ですので工事保守店にご相談ください。



1 受話器を置いたまま

2 夜間/休日 ボタンを押す



3 着信モード番号を入力する

- 0: 昼1
- 1: 昼2
- 2: 夜1
- 3: 夜2
- 4: 休日

選択した着信モードが集中着信のときの例



注意

- 5秒以内に着信モード番号を入力しないと、自動的に夜1が選択されます。

4 自動切替にもどすときは 夜間/休日 ボタンを押す



- 切替は**マスター電話機**で行います。あらかじめマスター電話機の機能ボタンに 夜間/休日 ボタンを設定しておく必要があります (⇒P.88)。
- 夜間/休日 ボタンのランプが点灯中は、週間自動着信モード切替 (⇒次ページ) は作動しません。
- この操作で、着信モードが通常着信以外に設定された場合、マスター電話機の 外線 ボタンのランプが赤色で周期的に点灯し、該当する外線の中で最も若い外線の着信モードが表示されます。

曜日、時刻によって全外線の着信モードを自動的に切替える

週間自動着信モード切替

データ設定



あらかじめそれぞれの外線に対して曜日と時間帯ごとの着信モードを設定しておくことにより自動的に切替えます。データ設定が必要ですので工事保守店にご相談ください。

(表1) 外線ごとに昼1、昼2、夜1、夜2、休日の着信モードを設定する例

時間帯 外線	昼1	昼2	夜1	夜2	休日
外線1	通常	スライド	DIL	スライド	集中
外線2	通常	スライド	DIL	DID	集中
外線3	通常	スライド	スライド	自動転送電話	集中
外線4	通常	スライド	スライド	自動転送電話	集中

(表2) 曜日、時間帯ごとに全外線の着信モードを設定する例

切替時刻	曜日	日	月～金	土
AM 9:00	休日	昼1	昼2	休日
PM 12:00	休日	昼2	休日	休日
PM 1:00	休日	昼1	休日	休日
PM 5:00	休日	夜1	休日	休日
PM 10:00	休日	夜2	休日	休日

土曜日の午前9時から12時までは全外線がスライド着信になります。



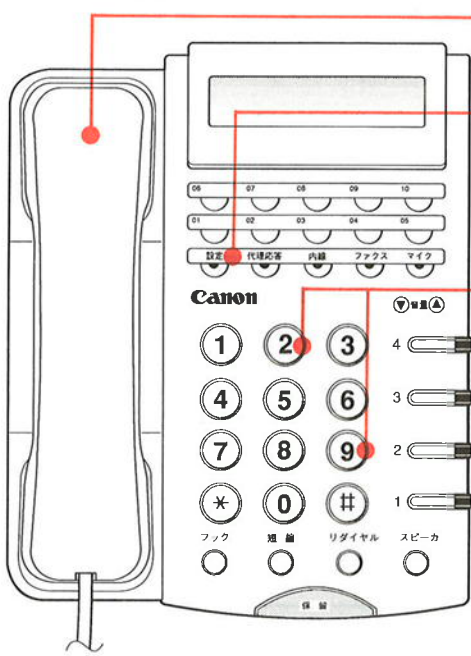
- 着信モードは以下の中から選択できます。また、着信モードの切替時刻は1日5回まで設定できます。
 - ・通常着信
 - ・集中着信
 - ・自動転送電話
 - ・DID着信
 - ・DIL着信
 - ・スライド着信
 - ・夜間着信
- マスター電話機の、通常着信以外の着信モードが設定されている **外線** ボタンのランプは赤色で周期的に点灯し、ディスプレイには外線番号の最も若い外線の着信モードが表示されます。他の外線の着信モードは、**設定** ボタンを押して **外線** ボタンを押すと表示されます。
- **夜間/休日** ボタンのランプが点灯中は、この機能は作動しません。

自分の電話機の集計料金を表示する

自己通話料金表示



自分の電話機の通話料金の集計額と予算を表示します。予算の設定方法は100ページをご覧ください。



1 受話器を置いたまま

2 **設定** ボタンを押す



3 **9** **2** を押す

(漢字表示用の場合)

ジッセキ	8500円	実績	8500円
ヨサン	10000円	予算	10000円

これまでの通話料金(ジッセキ)と予算(ヨサン)が10秒間表示されます。

4 **設定** ボタンを押す



通話料金表示

データ設定

外線に電話をかけたときに通話時間と料金が表示されます。

通話時間	料金	(漢字表示用の場合)
0'10"	10円	0分10秒 10円
#01 3348 2121		キヤノン株式会社
↑ 自局番号		



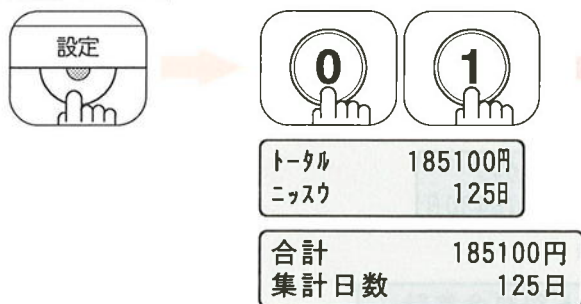
- 通話料金は最大99990円まで表示します。
- 通話料金を表示させるには、データ設定が必要ですので工事保守店にご相談ください。
- 通話を保留しているときは、料金表示はされませんが料金はカウントされます。保留を解除し通話を始めると再び料金が表示されます。
- 自分から外線に電話をかけ、それを他の内線に転送したときでも、通話料金は自分の電話機でカウントされます。
- 会議通話で他の二者に自分から電話をかけた場合、電話料金は両方の合計が表示されます。
- 国際電話、番号案内(104)や電報(115)などの100番ダイヤルサービス、ダイヤルQ²(0990)、フリーダイヤル(0120)やPBX内線への通話などは料金の表示ができません。料金の表示ができないときは、*を表示します。
- 外線がPBXやNCCアダプタに接続されているときは、ダイヤルしてから10秒後に料金計算を開始します。

注意 ● 料金は電話会社からの請求額とは一致しません。目安として使用してください。

すべての電話機の集計料金を表示する

料金集計表示

● 受話器を置いたまま

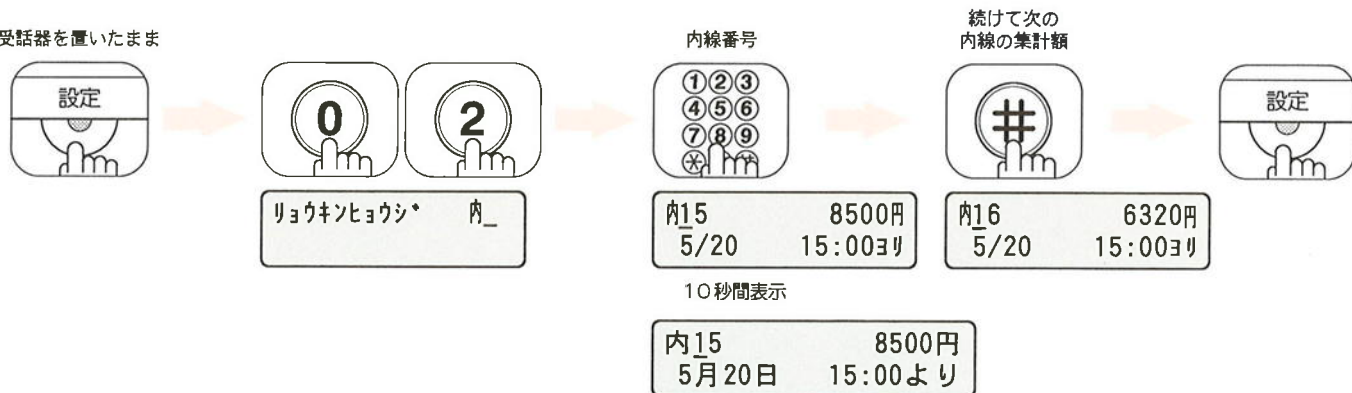


- 操作はマスター電話機で行います。
- 料金を表示している間に、**フック** ボタンを押すと集計額がクリアできます。
- 最長999日分の集計ができます。

内線ごとの集計料金を表示する

内線別料金集計表示

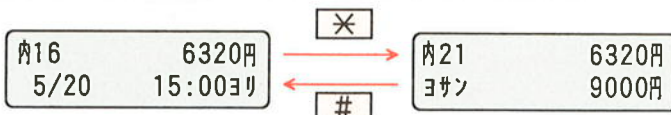
● 受話器を置いたまま



- 操作はマスター電話機で行います。
- 料金を表示している間に **▼/▲** ボタンを押して料金の1桁目にカーソルを置き **フック** ボタンを押すと集計額がクリアできます。料金は0円になり課金開始日時を現在の日時にします。



- 料金を表示している間に ***** ボタンを押すと、設定した予算額 (⇒P.100) が表示できます。 **#** ボタンを押すと料金表示にもどります。



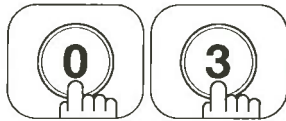
Part 5

着信方式と料金表示

発信テナントごとの集計料金を表示する

テナント別料金集計表示

● 受話器を置いたまま



テナントハツ リョウキン
テナント_

発信テナントの番号 (0~4)



テナントハツ リョウキン
テナント1 178430円

10秒間表示

テナント別料金集計
テナント1 178430円



- 操作は **マスター電話機**で行います。
- 料金を表示している間に **#** ボタンを押すと次の発信テナントの料金を表示します。

PART 6

こんなときには



使用上のご注意

設置場所について

- 直射日光のあたる場所やホコリ、振動の多い場所、高温、高湿な場所、本機が落下するおそれのある場所に置かないでください。
- 冷・暖房器、高周波ウェルダ、電気溶接機の近くに置かないでください。
- テレビ・ラジオなどからは2m以上離してご使用ください。
- 主装置の上に物を置かないでください。
- 主装置の前面をカーテンなどでおおわないでください。



電源について

- 交流 100V の家庭用電源コンセントにつないでご使用ください。本機は国内用ですので海外ではご使用になれません。



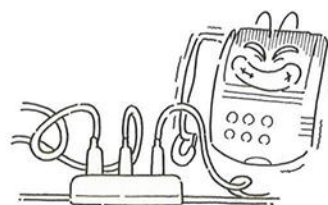
- 電源プラグは接触不良がないように、コンセントに確実に差込んでください。また、プラグを抜くときには、コードを引っばらずに必ずプラグを持って抜いてください。



- 電源ノイズの大きい系統（たとえば空調機、電動タライヤイターなど）と電源コンセントの共用は避けてください。



- タコ足配線は危険ですので絶対にしないでください。



お手入れについて

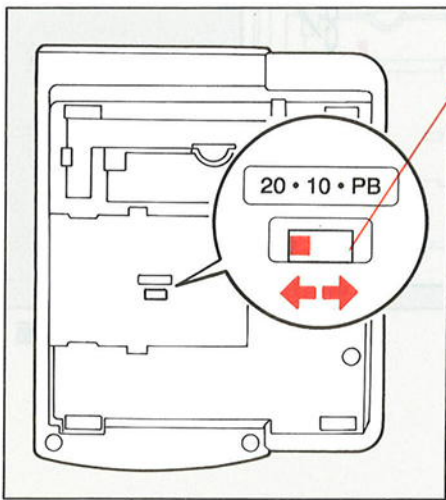
- 柔らかい布を水またはうすい中性洗剤溶液でしめらせ、軽くふきとってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色、故障の原因となりますので使わないでください。



停電のとき

停電時は、停電用に設定されたディスプレイ付き専用電話機でのみ外線の発信と着信ができます。その際、ダイヤルボタン以外の機能ボタンは使用できません。

停電用の電話機は設置時に工事保守店が設定しますので、特別な操作は必要ありませんが、回線種別切替スイッチが契約している回線と合っているかどうか確かめてください。



回線種別切替スイッチ

- 設定を誤ると電話がかかってきたときは通話できますが、電話をかけることはできません。
- 回線種別が不明の場合は、最寄りのNTTの支店・営業所にお問い合わせください。

自分で回線の種類を確かめるには

操 作	回線の種類	操 作	スイッチの設定位置
“10”にして、 20・10・PB ☎117（時報）に ダイヤルしてみる	ダイヤル回線	“20”にして、 20・10・PB ☎117（時報）に ダイヤルしてみる	かける → “20” に かからない → “10” に
	プッシュ回線	かからない	“PB” に ☎117（時報）に電 話がかかることを確 かめてください。

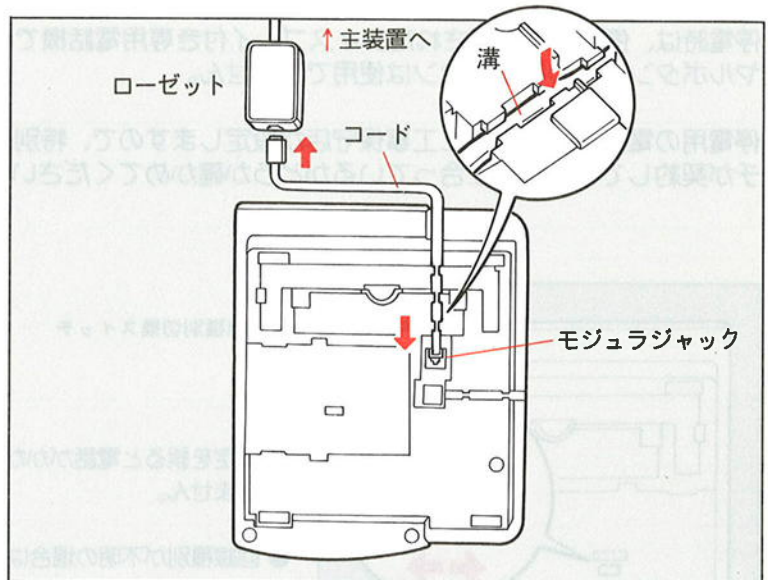


- ☎117（時報）に電話をかけると、通話料金がかかります。
- 通話中に停電になったとき、および停電が復旧したとき電話は切れます。

接続のしかた

電話機とローゼットの接続

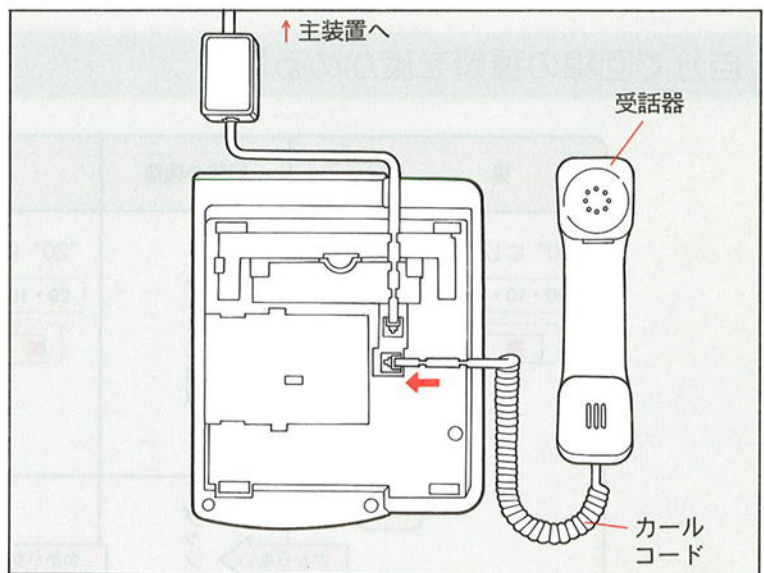
傾斜足 (⇒P.119) を外し、モジュラジャックを電話機に接続したら、コードを電話機底面の溝に差込みます。そして、もう一方のモジュラジャックをローゼットに接続してください。そのあと傾斜足をもどしてください。



電話機底面

電話機と受話器の接続

カールコードのモジュラジャックを本体に接続してから、コードを電話機底面の溝に差込んでください。



電話機底面

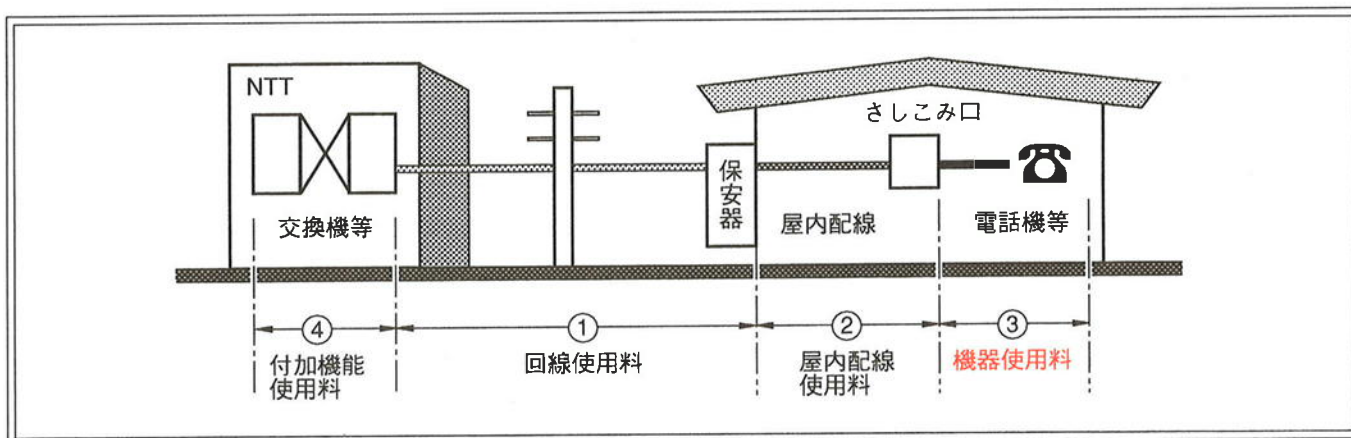
ご使用にあたってのお願い

本製品をご使用にあたって、NTTのレンタル電話機が不要となる場合は、NTTへご連絡ください。
 ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。
 詳しくは、**局番なしの116番（無料）**へお問い合わせください。

〔電話料金の内訳〕

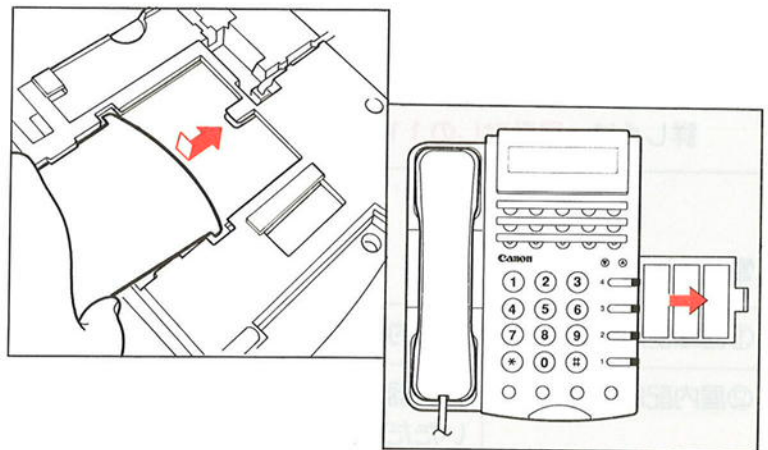
①回線使用料	ご契約者名義などにより住宅用と事務用に区分され、回線使用料が異なります。
②屋内配線使用料	保安器から屋内の電話機のさしこみ口までの屋内配線をNTTからレンタルでご利用いただいている場合の料金です。
③ 機器使用料	NTTの電話機などをレンタルでご利用いただいている場合の料金です。
④付加機能使用料	プッシュ回線、キャッチホン、クレジット通話などをご利用いただいている場合の付加機能の使用料金です。

〔NTTの基本料などのしくみ〕

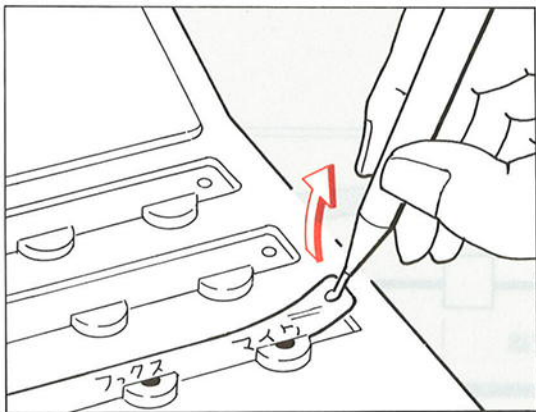


短縮シートの取付けかた

短縮シートは図のように軽く曲げて、電話機底面に取付けてからご利用ください。



ワンタッチシート、ファンクションシートの取外しかた



プラスチックシートの穴に差込み、そのまま持ち上げてください。

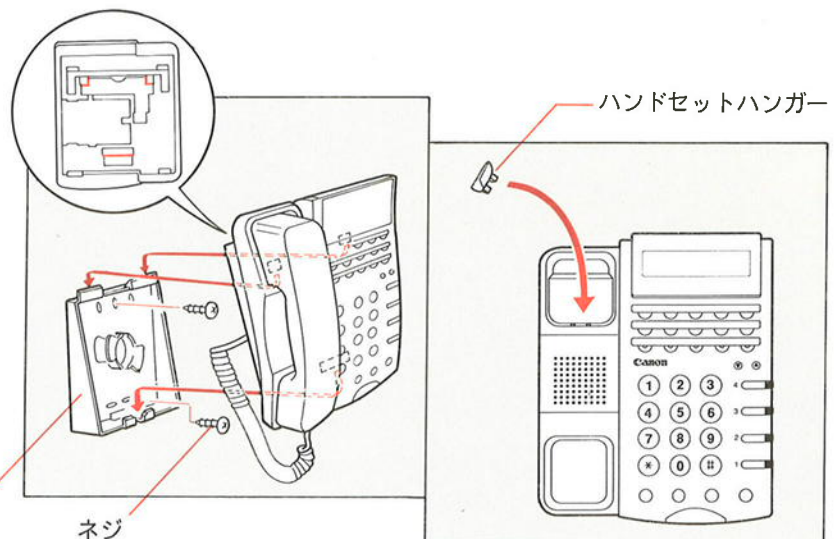
壁かけ用アクセサリーの取付けかた

壁かけにする場合は、別売の壁かけ用アクセサリーをお買い求めください。

壁かけ用アクセサリー

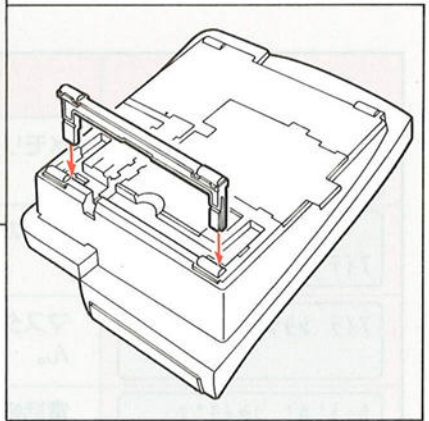
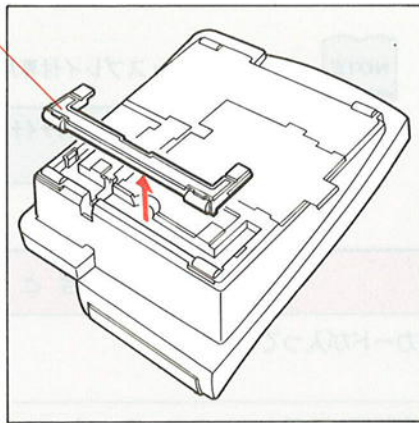
ネジ

ハンドセットハンガー

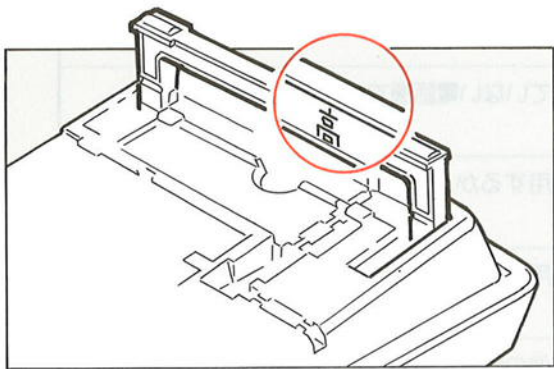


電話機の角度を調節する

傾斜足



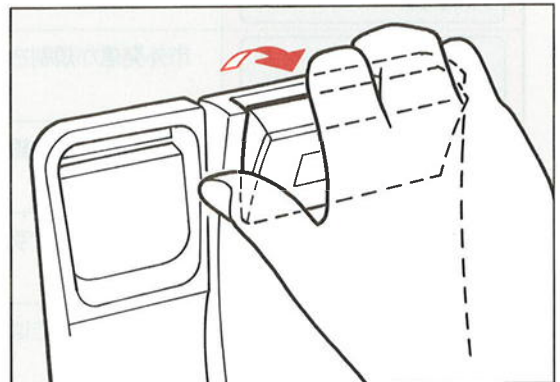
電話機底面にある傾斜足を取外し、付け替えることで、電話機の角度は3段階に調節できます。



傾斜足収納時が1段目、「低」の文字が見えるように取付けると2段目、「高」の文字が見えるように取付けると3段目になります。

ディスプレイの角度を調節する

ディスプレイの溝に指をひっかけ、持ち上げるようにすると、角度は4段階に調節できます（チルト機構）。



エラーメッセージ



● 大型ディスプレイ付専用電話機では、メッセージは漢字で表示されます。

タノテソクキテセッテイチュウ

他の電話機で設定中

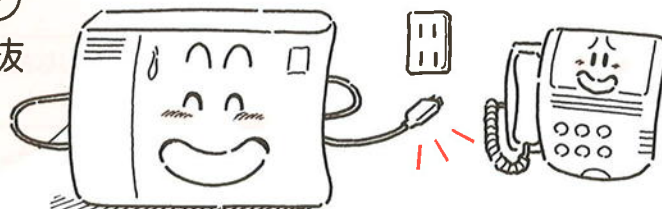
エラーメッセージ	内容と処置
ICカード ナシ	メモリカードが入っていません。
アイテ ショウチュウ	相手の電話機が使用中ですので、スーパーユーザは設定できません。
アイテ ショウチュウ	マスター電話機で機能ボタンを設定中、指定した電話機は使用中ですので設定はできません。
カードカガ フセイトス	電話帳用以外のメモリカードが入っています。メモリカードを調べてください。
カクイセン ハッシン フカ	外線への発信が規制されています。規制されていない電話機でかけてください。
カクイセンチャクシン アリ	使いたい外線は着信中です。他の外線を使用するか、外線ランプが消えるまでお待ちください。
カクイセンホソクテキマセン	使いたい外線は着信中です。他の外線を使用するか、外線ランプが消えるまでお待ちください。
カクイトウ ナシ	入力した読み該当する漢字がありません。他の読みで入力してください。
コクサイ ハッシン フカ	国際発信が規制されています。規制されていない電話機でかけてください。
ショウチュウ	使いたい外線は使用中です。他の外線を使用するか、外線ランプが消えるまでお待ちください。
シカクイ ハッシン フカ	市外発信が規制されています。規制されていない電話機でかけてください。
シユウキ ヲ オイテクダサイ	ダイヤルした内線番号はありません。または受話器が外れたままになっています。
ステニトウロクアリ	すでに予約中です。別の予約はできません。
ソウチ ナシ	ドアホン、または放送のための装置がありません。
タイフ フィッチ	電話機のタイプが異なりますのでスーパーユーザの設定はできません。
タノテソクキテセッテイチュウ	他の電話機で設定操作中です。終了するまでお待ちください。

エラーメッセージ	内容と処置
ダイヤルカ*アリマセン	ダイヤル番号を入力するか、名称を消去してください。
テンワチョウ アキナシ	電話帳に空きスペースがありませんので、登録できません。
トウロクチュウノカキカエ	機能ボタンを消去してから、設定をやりなおしてください。
トウロクナシ	ダイヤルした短縮番号は登録されていません。
トウロクフカ	外線予約、および内線予約はできません。
トウロクテ*タナシ	登録データが1件もありませんので、検索できません。
ドアホンチャクシン ナシ	ドアホンからの着信はありません。
ニシ*ユウトウロク	設定しようとしている機能は、すでに他のボタンに設定されています。
ハッシン フカ	外線への発信が規制されていますので、発信できません。規制されていない電話機でかけてください。
ハッシン フカ カ*イセン	外線への発信が規制されていますので、発信できません。規制されていない外線で発信してください。
ハッシン フカ タ*イヤル	ダイヤルした番号は発信が規制されていますので、発信できません。
ハンコ ウ アヤマリ	登録しようとした短縮番号は、規定の範囲を越えています。
フセイナテ*タアリ	登録中の内容に不正なデータがあります。メモリカードを調べてください。
ホウソウ ナシ	放送はされていません。
ホリュウナシ	パーク保留はされていません。
ヨサン オーバー	設定した予算額を超えています。

故障かなと思ったら

下記のことを確認して販売店にご相談ください。

1. 主装置の電源プラグがコンセントから抜けていませんか？



2. 電話機のコードが抜けていませんか？

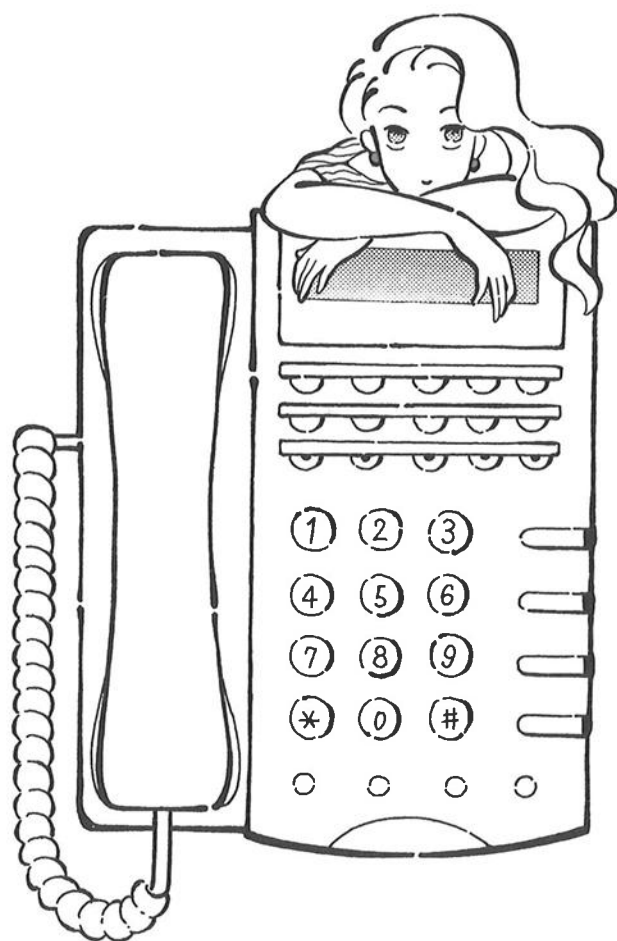
3. ローゼットから接続コードが抜けていませんか？



4. 操作は正しく行われましたか？

PART 7

仕様・その他



主な仕様

主装置

外 線	外線数	最大4本
	収容回線	NTT加入電話回線・PBX内線・CES回線*
	ダイヤル方式	DP・PBのいずれも可 混合使用も可
内 線	専用電話機配線方式	2線1対スター配線
	内線通話路	時分割PCM方式（ノンブロッキング方式）**
	専用電話機容量	8台（内4台はオプション）
	ファクシミリまたは 一般電話機容量	2台（内1台はオプション）
	ドアホン容量	2個（オプションにて増設）
	構内放送/ベル拡声容量	1個（オプション） アンプコントロール付
	短縮ダイヤル容量	共通使用90個 各専用電話機別10個
ワンタッチダイヤル 容量	各専用電話機ごと10個	
寸 法	420 (W) × 86 (D) × 315 (H) mm	
重 量	3.2kg	
消費電力	50W（最大）	
使用電源	AC100V ± 10%（仕向地 国内）	

* CES：事務所集団電話用交換機

** 以下の場合を除く

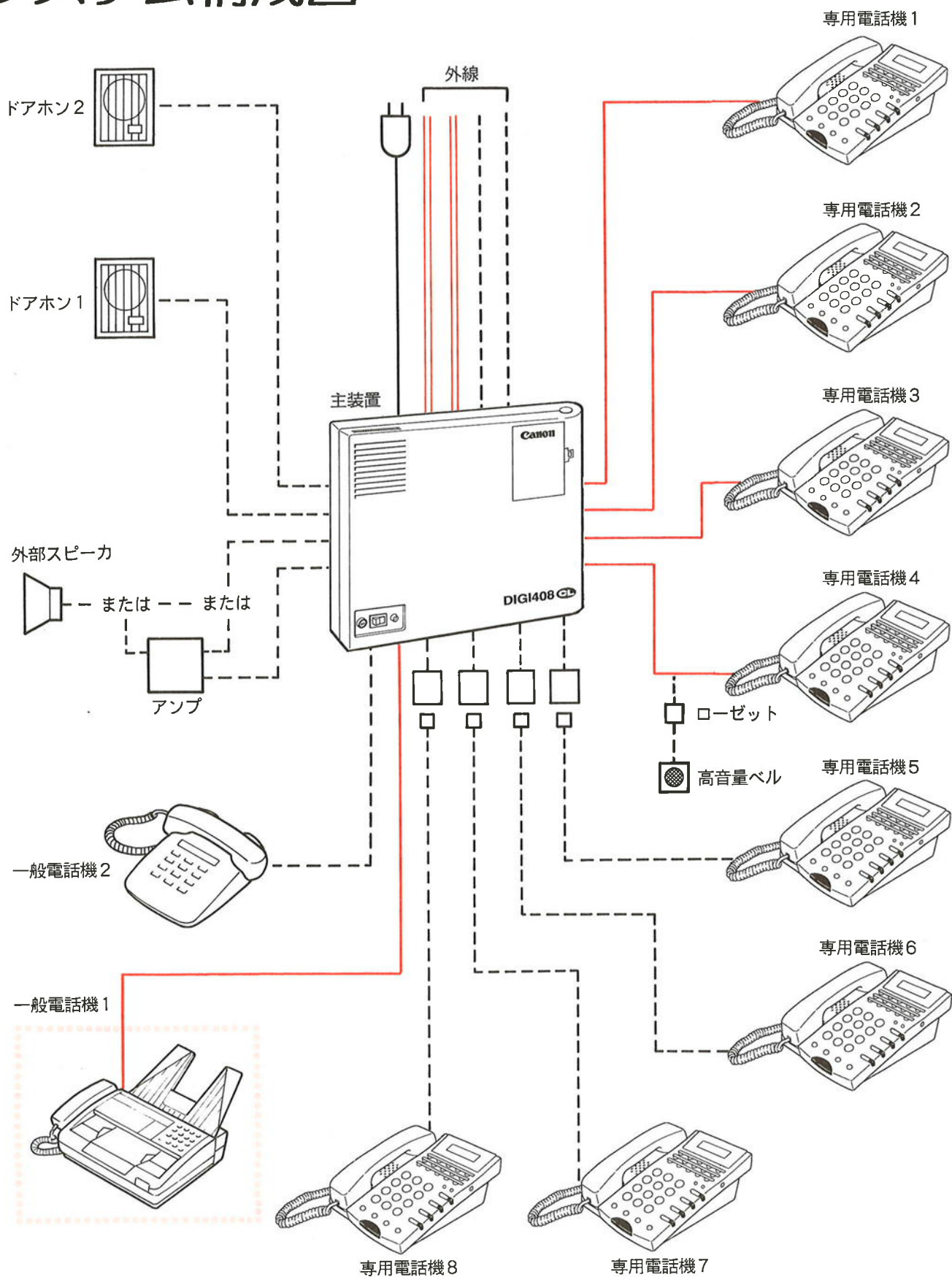
▲ PB単独電話によるダイヤル中での、
PB単独電話の発信、転送時。

▲ 外線・外線転送時のPB単独電話の発
信、転送時。

専用電話機

標準電話機 (Aタイプ)	大きさ	180 (W) × 228 (D) × 89 (H) mm
	重 量	920g
	その他	ディスプレイなし
標準電話機 (Bタイプ)	大きさ	180 (W) × 227 (D) × 89 (H) mm
	重 量	960g
	その他	英、数、カナ16文字×2行 チルト機構（4段切替）
停電用電話機 (Dタイプ)	大きさ	180 (W) × 227 (D) × 89 (H) mm
	重 量	1,030g
	その他	英、数、カナ16文字×2行 チルト機構（4段切替）
漢字表示用電話機 (Kタイプ)	大きさ	180 (W) × 227 (D) × 89 (H) mm
	重 量	1,020g
	その他	漢字10文字×2行 チルト機構（4段切替）

システム構成図



--- はオプションです。

一般電話機で使える機能

機能名	操作手順	備考
電話をかける・受ける	外線発信 (内線発信状態から) → 0 → (外線番号) (内線発信状態から) → 8 → (外線ボタンの番号) → (外線番号) (外線発信状態から) → (外線番号)	
	システム短縮ダイヤル (内線発信状態から) → 0 → * → (→短縮番号) (外線発信状態から) → * → (短縮番号)	PB信号が発信できる電話機のみ
	内線発信 (内線発信状態から) → (内線番号) (外線発信状態から) → (フッキング) → (内線番号)	
	内線代表 (内線発信状態から) → (内線番号の頭1桁) → * (外線発信状態から) → (フッキング) → (内線番号の頭1桁) → *	PB信号が発信できる電話機のみ
	内線ステップコール (話し中・呼出中) → #	PB信号が発信できる電話機のみ
	任意外線応答 (内線発信状態で) → 8 → (外線ボタンの番号)	
話し中・応答がない	内線音声呼出 (内線呼出中に) → 1	
	グループ斉呼出 呼出:(内線発信状態で) → 7 → (グループ番号) 応答:(内線発信状態で) → 7 → *	データ設定
	話中呼出 呼出:(話中音) → 3	
	メッセージウェイト (話中音・呼出音) → 2 → (受話器を置く)	
保留・転送	保留 (通話中に) → (フッキング)・・・再び話すとき(フッキング)	外線を保留するにはデータ設定が必要です(⇒P.49)。
	パーク保留 保留:(外線と通話中に) → (フッキング) → (保留番号) → (受話器を置く) 応答:(内線発信状態で) → (同じ保留番号)	
	簡易転送 (通話中に) → (フッキング) → (声をかける)	
	保留転送 (通話中に) → (フッキング) → (内線番号) → (相手応答) → (受話器を置く)	
	外線転送 (外線と通話中に) → (フッキング) → 0 → (外線番号) → (相手応答) → (受話器を置く)	
その他	会議通話 (内線着信音) → (受話器をとる)	
	ドアホン 応答:(内線発信状態で) → 9 0 呼出:(内線発信状態で) → 9 1 または 9 2	オプション
	構内放送 (内線発信状態で) → 9 3	オプション
	フッキング送出 (外線と通話中に) → (フッキング)	データ設定



- 一般電話機に装備のオートダイヤル、リダイヤル、保留などの機能も使える場合があります。工事保守店にご相談ください。
- 外線発信状態「ツー」でフッキング(⇒P.49)すると内線発信状態「ツーツー」になります。

読み	漢字	読み	漢字	読み	漢字	読み	漢字	読み	漢字
けん	券劍喧圈堅 嫌建憲懸拳 捲檢權牽犬 獻研硯絹梟 肩見謙賢軒 遣鍵險頭驗 驗	さ さい	鎖裝叉些 債催再最寒 妻宰彩才採 裁歲濟災采 碎砦祭齋細 菜裁載際哉 犀	しゅう	臯舟菟衆襲 讐讎輯週酋 酬集醜	じゅう	柔汁波獸縱 銃戎什	せん	詮賤踐選選 錢銑閃鮮
げい げき げつ げん	芸迎鯨 劇戟擊激隙 月 元原嚴幻弦 滅源玄現絃 炫言諺限	さえ さか さかい さかえ さかき さかな ささき さく	冴坂 坂阪 榮 柳 肴 咲崎埼碕 鷺 作削咋榨咋 朔柵策索	しゅく しゅつ しゅん	叔夙宿淑祝 縮肅 出 俊峻春瞬竣 舜駿	じゅく じゅつ じゅん	塾塾 術述 順淳準潤眉 純旬巡准楯 殉循遵醇 助女序除徐 恕鋤叙	せんち ぜい ぜい ぜつ ぜん	糧 是 稅脆 絶舌 前善漸然全 禪緒膳
こ									
こ	子小乎個古 呼固姑孤己 庫弧戸故枯 湖狐糊袴股 胡葫虎誇跨 鈷屋顧鼓 乞鯉	さくら さけ ささ さじ さつ	桜 蛙酒 笹 匙 冊刷察撈撮 擦札殺薩	しょう	傷傷勝匠升 召哨尚唱嘗 獎妄娼宵將 小少尚庄床 廠彰承抄招 掌捷昇昌昭 晶松梢樟樵 沼沼涉湘燒 焦照症省硝 礁祥称章笑 粧紹肖莒蔣 蕉衛裳訟証 詔詳象賞譽 鉦鐘鐘障鞘 囁埴飾拭植 殖燭織職色 蝕食蝕 塩潮汐 鹿 式識 嶋 穴 雫 下 七 叱執失嫉室 悉湿漆疾質 部 品科 篠 偲 柴芝 屨 澁 藁 島嶋縞 下霜 尻 白城 信進伸侵審 心慎振新晉 森浸深申真 神紳臣志親 診身辛唇娠 寢針震薪秦 疹榛 車耳自時次 示兒字寺持 辞滋治磁而 時侍慈似 爾璽 蛇邪 若寂弱惹 儒受呪寿授 樹綬需 重住充十從	じょく じく じつ じん	筍諷須醉 水吹垂推炊 唾粹翠衰遂 醉帥錐錘 崇嵩數板趨 雛 据 姿 杉梶 菅 頗 鈴 雀 裾 砂 墨隅澄 摺 寸 厨逗 隨瑞髓	そ そう	哨塑岨措曾 曾楚狙疏疎 礎祖粗素 組蘇訴阻迺 鼠 送僧創双叢 倉喪壯奏爽 宋屠匿愆想 搜掃挿搔操 早曹巢槍槽 漕燥爭瘦相 窓糴綜綜唼 草莊葬蒼藻 裝走遭鎗霜 騷 促則則即息 捉束測足速 卒 袖 外 園 其 揃 存孫尊損村 遜 像憎憎臧藏 贈造 俗属賊族統
こい こう	交高倭侯候 倅光公功效 勾厚口向后 喉坑垢好孔 孝宏工巧巷 幸広庚康弘 恒慌抗拘控 攻昂晃更杭 校梗構江洪 浩港溝甲皇 硬稿糠紅絃 絞綱耕考肯 肱腔膏航荒 行衡誨貢購 郊醇鉞礦鋼 閤降項香鴻 趨	なつ なと なば なび なま なめ なさら なさらし なさん	臯 里 鯖 捌 樣 鮫 樣 鮫 皿 晒 猿 沢 三參山産算 贊酸散棧蚤 慘讚珊傘撒 餐纂燦 坐座挫 剂在材罪財 雜 斬暫殘	しよく	しお しか しき しぎ しし しづく した しち しつ	す すい すう すえ すがた すぎ すげ すこぶる すず すずめ すそ すな すみ すり すん ず ずい	そく そつ そで そと その それ そろい そん ぞう ぞく	た	田他多太汰 詔 体堆対耐岱 帶待怠態戴 替泰滯胎腿 袋袋貸退速 隊黛鯛 高鷹 宝 滝瀧 卓啄宅托挾 拓拓濯琢託 鐸 竹武茸 凧蛸 叩 只 但 達辰 巽 豎 迪 棚 谷 狸
こうじ こく	克刻告國穀 酷鶴黒 漉腰 甌 忽惚骨 琴 駒狗 込 込 込 込 込 込 込 込	な ざい ざつ ざん	仕私糸紙使 刺司史齒嗣 四士始姉姿 子市師志思 指支孜斯施 旨枝止死氏 祉紫肢脂至 視詞詩試誌 諮資陽雌飼 獅仔伺屍 舍写射捨赦 斜煮社社者 謝車遮 借勺尺杓灼 爵酌鞣錫 主取守手朱 殊狩殊種腫 趣酒首 囚収周宗就 州修愁拾洲 秀秋終繡習	しとみ しな しの しのび しば しばしば しぶ しべ しま しも しり しろ しん	せ せい	世瀬畝 生制西勢姓 征青靜斉性 成政整星晴 正清性盛精 聖声製誠誓 請逝醒棲栖 凄 関隻席借戚 斥昔析石積 籍績脊賁赤 跡蹟碩 切拙接撰折 設窃節説雪 蟬 仙先千占宣 專尖川戰扇 撰栓梅泉淺 洗染潜煎煽 旋穿箭線織 羨腺外船薦	せき せつ せみ せん	たか たから たき たく たけ たこ たき ただ ただし たつ たつみ たて たどり たな たに たぬき	
さ	佐俊嵯左差 查沙礎砂詐	しゅう	囚収周宗就 州修愁拾洲 秀秋終繡習	じゅう	重住充十從				

索引

《英数字》

○発信	13
CES回線	124
DID着信	105
DIL着信	105
LCD表示濃度調節	97
LCR	60
LCRオフ	60
LCR判定基準時間	61
NCC回線が混んでいる	13
PB信号送出	70

《あ行》

アラーム	95
一般電話機で使える機能	126
英文字入力モード	83
エラーメッセージ	120
オートダイヤラ発信	71
オートリピートダイヤル	36
応答	30
音声呼出	37
音量調節	97

《か行》

カーソル表示	82
コールコード	116
会議通話	66
回線種別切替スイッチ	115
外線自己保留	51
外線転送	55
外線乗り換え	12
外線発信	10, 12
外線発信状態	8
外線別着信音色	30
外線別発信規制	98
外線ボタン割付	92
外線用の電話機	8
外線予約	34
角度調節	119
各部の名称とはたらき	2
カタカナ文字入力モード	85
カナ文字入力モード	83
壁かけ用アクセサリーの取付けかた	118
簡易転送	52
漢字一覧	127
漢字の入力	84

キーイントーン	98
機能コード一覧	89
キャッチホンサービス	70
キャンブオン	34, 40
強制転送	54
クイック発信	11
グループ斉呼出	38
傾斜足	119
高音量ベル	70
構内放送	69
故障かなと思ったら	122

《さ行》

サービスクラス	99
システム構成図	125
システム短縮ダイヤル	16
システム保留	48
指定外線捕捉	13
仕様	124
使用上のご注意	114
主装置	2
週間自動着信モード切替	109
集中着信	104
自己情報表示	74
自己通話料金表示	110
自己保留	51
自動転送電話	104
スーパーLCR	60
スーパーユーザ	64
スピーカ受話	3
スライド着信	106
セーブダイヤル	86
接続のしかた	116
設定特番一覧	102
専用電話機	3

《た行》

短縮検索発信	17
短縮シートの取付けかた	118
短縮ダイヤル	16
短縮ダイヤルの登録	79
端末設備接続(変更)請求書	117
ダイヤル発信規制	98
代理応答	32
チルト機構	119
着信音識別	30

着信音量調節	87
着信テナント	33
着信方式の種類	104
着信鳴動指定	30
着信モード個別切替	107
長時間通話警報	11
長時間保留警報	48
通話料金表示	110
停電のとき	115
テナント別料金集計表示	112
転送先指定	46
転送元指定	47
ディスプレイの角度調節	119
ディスプレイ表示濃度調節	97
伝言	44
電子電話帳	22
電話機のタイプ	8
電話機の角度調節	119
電話機の種類	2
電話帳の登録	24
電話機別短縮ダイヤル	16
電話帳メモリカード	2, 22
トーン信号	70
時計表示	94
ドアホン	68

《 な 行 》

内線音声呼出	37
内線グループ	33
内線状態表示	29
内線ステップコール	28
内線代表	27
内線代理応答	32
内線ダイレクトコール	28
内線特番一覧	73
内線発信	25
内線発信状態	8
内線別料金集計表示	111
内線名称表示	96
内線用の電話機	8
内線呼出	29
内線予約	40
ナンバリングフリー	73
日時合わせ	94
入力文字と入力モード	83, 85
任意外線応答	31

《 は 行 》

発信テナント	33
ハンズフリー応答・通話	65

ハンドセット通話	72
パーク保留	50
ひらがな文字入力モード	85
秘話解除	67
不在設定	45
不在転送	46
ファクス通信終了通報	57
ファクス転送	56
ファンクションシートの取外しかた	118
フッキング	49
フッキング送付	70
フラッシュ機能	21
フレキシブルキーアサイン	88
プリセット発信	11
プログラマブルキー	90
ヘッドセット通話	72
保留	48
保留転送	54
保留番号	50
保留メモディ選択	49
ポーズ	77

《 ま 行 》

マイクボタン	65
マスターコール	73
メッセージウェイト	44
メモダイヤル	20
メモリカード	2, 22
モジュラージャック	116

《 や 行 》

夜間/休日切替	108
夜間着信	106
夜間発信	99
予算管理発信規制	100

《 ら 行 》

リダイヤル	18
略称の入力	82
料金集計表示	111
ローゼット	116

《 わ 行 》

話中着信	30
話中呼出	42
ワンタッチオートダイヤル	14
ワンタッチオートダイヤルの登録	76
ワンタッチシートの取外しかた	118